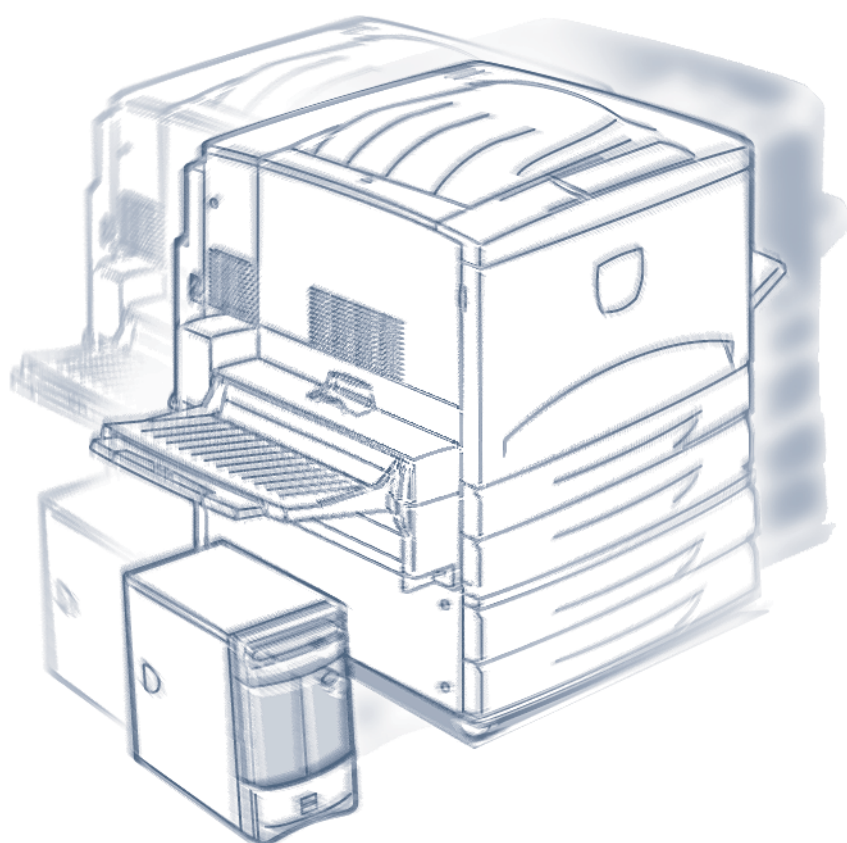
カラーレーザープリンター

DocuPrint CG835

ドキュプリント

取扱説明書

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

はじめに

このたびは、本プリンターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、本プリンターをはじめてご使用になるかたを対象に、機械の設置と日常の管理方法、使用上の注意事項について記載しています。製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、本プリンターをご使用になる前に必ず本書をお読みください。
また、本書を読んだあとも大切に保管してください。機械をご使用中に、操作上でわからないことや機械に不具合が生じたときに、読み直してご活用いただけます。

富士ゼロックス株式会社

この取扱説明書のなかで⚠と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。
また、本書の「安全にご利用いただくために」をご一読ください。

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

本機は、社団法人電子情報技術産業協会が定めた家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

この装置は、危険なレーザー光を出さない「クラス 1 のレーザーシステム」です。本書に従って操作してください。本書に書かれた以外の操作は行わないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

受信障害について
ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響だと思われましたら、この商品の電源スイッチを一旦切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

目　次

付　録

マニュアル体系について

本製品では、次のマニュアルを用意しています。使用目的に合わせてご利用ください。

■お使いいただくために

同梱品のご案内と、箱を開けてから、印刷できるまでのプリンターの設置手順の概要を説明しています。まず、このマニュアルを見て、同梱品を確認してください。
そのあと、以下の取扱説明書と合わせて参照しながら、プリンターを設置してください。

■取扱説明書（プリンター編）　＜本書＞

プリンター本体の設置手順を説明しています。
また、プリンター本体の電源の入 / 切、用紙のセット方法、紙づまりの処置、消耗品の交換など、日常プリンターを使用するときに必要なことがらについて説明しています。

■取扱説明書（サーバー編）

Print Server Series のパッケージに同梱されているハードウエアの接続方法、プリントサーバーとして使用するためのシステムのセットアップ方法、および Print Server Series の操作方法について説明しています。

本書の読み方

ここでは、本書の読み方について説明します。

本書の構成

各章の内容を簡単に紹介します。

第 1 章　プリンター本体の設置

設置場所を決め、同梱品を確認し、設置場所にプリンターを移動させてから実際に設置するまでの手順について説明しています。

第 2 章　プリンターの基本操作

用紙の補給や清掃など、日常プリンターをご使用になるときに必要な作業について説明しています。

第 3 章　使用できる用紙とセットの仕方

使用できる用紙の種類や、用紙のセットの仕方、用紙トレイをオプションのトレイと交換するときの手順について説明しています。

第 4 章　故障かなと思ったら

プリンターをご使用になるときに起こりやすいトラブルについて、対処方法を説明しています。トラブルが起きたときには、プリンターの故障と判断される前に、この章をお読みください。

第 5 章　用紙が詰まったときには

用紙が詰まったときの対処方法について説明しています。

第 6 章　消耗品の交換と日常の取り扱い

プリンターに必要な消耗品について、取り扱いの注意事項、および交換手順を説明しています。また、プリンターの清掃方法、長時間使用しない場合に必要な作業、プリンターを移動するときの方法について説明しています。

付録

オプション品と消耗品の紹介、本プリンターの主な仕様、消耗品の寿命などを説明しています。

本書の表記

① 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューター、Macintosh、ワークステーションの総称です。

② 本文中では、説明する内容によって、以下のマークを使用しています。

注記 注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。

補足 補足事項を記述しています。

参照 参照先を記述しています。

③ 本文中では、以下の記号を使用しています。

参照「　　　」：参照先は、本書内です。

参照『　　　』：参照先は、本書内ではなく、ほかの説明書です。

安全にご利用いただくために

機械を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」のページを最後までお読みください。

各図記号は以下のような意味を表しています

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。

高温注意

発火注意

感電注意

指はさみ注意

⃠記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

禁　止

火気禁止

分解禁止

接触禁止

●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

指　示

プラグを抜け

アース線を接続せよ

設置および移動時の注意

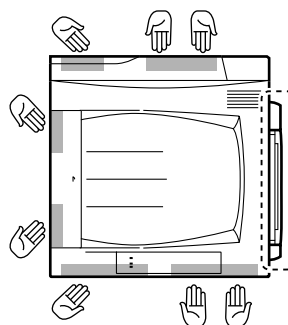
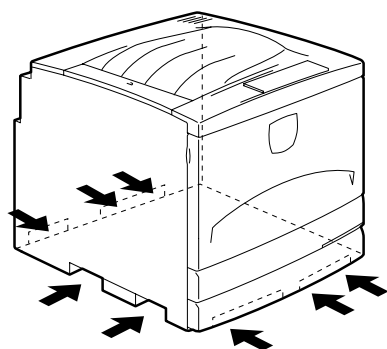
⚠注意

高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所には機械を設置しないでください。発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

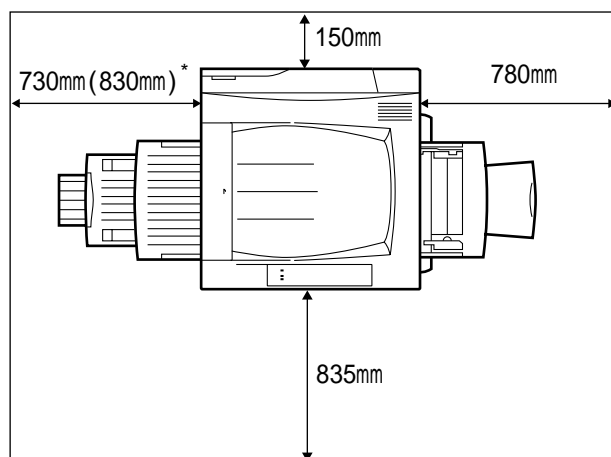
ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には機械を設置しないでください。発火の原因となるおそれがあります。

機械は、重さに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

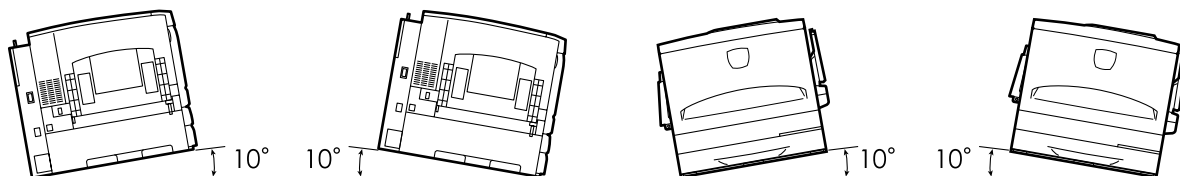
機械の重さは、消耗品、用紙カセット(用紙を含む)がセットされている状態で75.8kgです。
このプリンターは重量物であるため、持ち運びは重量物運搬取り扱い業者に、必ず依頼してください。やむをえずプリンターを持ち運ぶ場合は、必ず4人以上で行ってください。

このプリンターは重量物であるため、持ち運びは重量物運搬取り扱い業者に、必ず依頼してください。やむをえず機械を持ち上げるときは、機械正面に向かって、前後両側と左側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。このくぼみ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。落下によるケガの原因となるおそれがあります。

このプリンターは重量物であるため、持ち運びは重量物運搬取り扱い業者に、必ず依頼してください。やむをえず機械を持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。

機械の側面および背面には通気口があります。機械は壁から 150㎜ 以上離して設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

また、機械の操作および消耗品類の交換、日常の点検など、機械を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

* ( ) 内は、オプションの両面印刷モジュールを取り付けた場合です。

機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードが傷つき、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

機械を移動する場合は、機械を下図に示す角度以上に傾けないでください。
転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。

オプションのトレイモジュールを設置した後は、トレイモジュールのキャスターについている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。
ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動きケガの原因となるおそれがあります。

その他

- **いつも良い状態でご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。**
  温度 10 〜 32 ℃　湿度 15 〜 85%（結露がないこと）
  温度が 32 ℃のときは湿度 65% 以下、湿度が 85% のときは温度 28 ℃以下でお使いください。

  補足

  冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し、部分的に印刷できない場合があります。

- **直射日光の当たる場所には機械を置かないでください。故障の原因となることがあります。**

- **機械を前後方向 5㎜、左右方向 10㎜ 以上傾けないでください。機械内部の消耗品がこぼれるなど故障の原因となります。**

- **機械を移動するときに、ドラムカートリッジやトナー回収カートリッジを取り外し、再度取り付けることはしないでください。内部のトナーがこぼれるなど故障の原因となります。**

- **エアコン、ヒーターの風が直接当たる場所に設置しないでください。機械内部の温度条件が変わり、故障の原因となります。**

電源およびアース接続時の注意

⚠警告

電源プラグは、定格電圧 100V で、定格電流 15A 以上のコンセントに差し込んでください。なお、本機の定格電源は、プリンターが 100V 、11A、プロセッサーが 100V、2A、そして、ディスプレイが 100V、1.5A となっております。

プリンター、プロセッサー、ディスプレイを同時にテーブルタップでご使用になれます。その場合、それぞれの電源プラグは、定格が125V、15Aで最大1,500Wまでのテーブルタップに差し込んでください。
また、テーブルタップには、プリンター、プロセッサーおよびディスプレイ以外の機器を接続しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災のおそれがあります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。発熱による火災のおそれがあります。なお、延長コードが必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電のおそれがあります。

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

次のようなときには直ちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。そのまま使用を続けると火災のおそれがあります。

- 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 機械の内部に水が入ったとき

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 650㎜ 以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D 種）を行っている接地端子

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクにご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。
- ガス管 (引火や爆発の危険があります。)
- 電話専用アース線および避雷針 (落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。)
- 水道管や蛇口 (配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

電源コードが傷んだら (芯線の露出、断線) 、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクに交換をご依頼ください(有償)。 そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

⚠注意

機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

機械の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

1 か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。
なお、異常がある場合はお買い求めの販売店までご連絡ください。
- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
- 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。
- 電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
- 電源コードにき裂や擦り傷などはありませんか。

連休などで長期間、機械をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。

インターフェイスケーブルおよびオプション製品を接続するときは、必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。

その他

- ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなどの電波障害が発生し、電波障害の原因が本機であると考えられる場合は、本機の電源を切って電波障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波障害がなくなるようであれ、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
  - ・機械とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
  - ・機械とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
  - ・機械とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
  - ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。
    (アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
  - ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

機械使用上の注意

⚠警告

機械の上に花瓶、植木鉢、コップなど水の入った容器を置かないでください。水がこぼれた場合、火災や感電のおそれがあります。

機械の上に金属類を置かないでください。すき間から内部に、クリップやホチキスの針のような金属類や燃えやすいものが入り込むと、機械内部がショートし、火災や感電のおそれがあります。

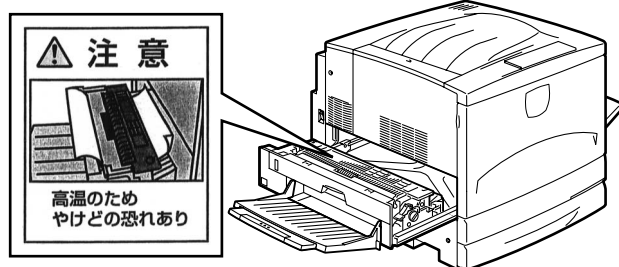
万一、異物(金属片、水、液体)が内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災のおそれがあります。

この装置は、レーザーの国際規格 IEC60825 に適合しています。このことはレーザー被爆の危険がないことを意味しています。レーザーは装置内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。従って、お客様が使用される場合はレーザーは被爆しません。取扱説明書に書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被爆の原因になることがあります。

⚠注意

「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。
なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。

機械の上に重いものを載せないでください。機械のバランスが崩れて倒れたり、重いものが落下してケガの原因となるおそれがあります。

機械の近くまたは内部で強燃性スプレーや引火性溶剤を使用しないでください。引火による火災の原因となるおそれがあります。

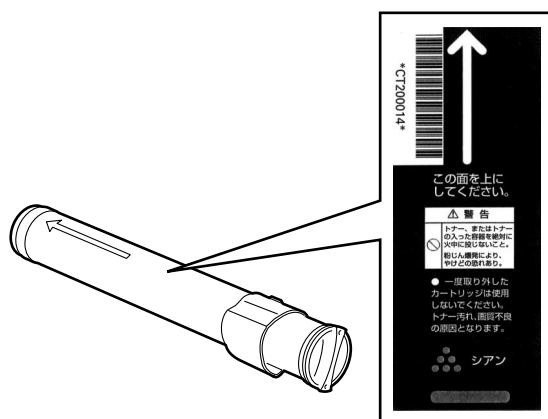
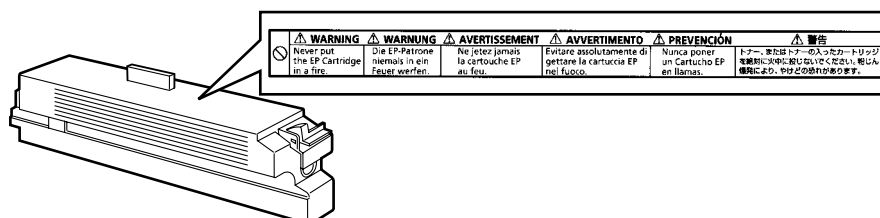
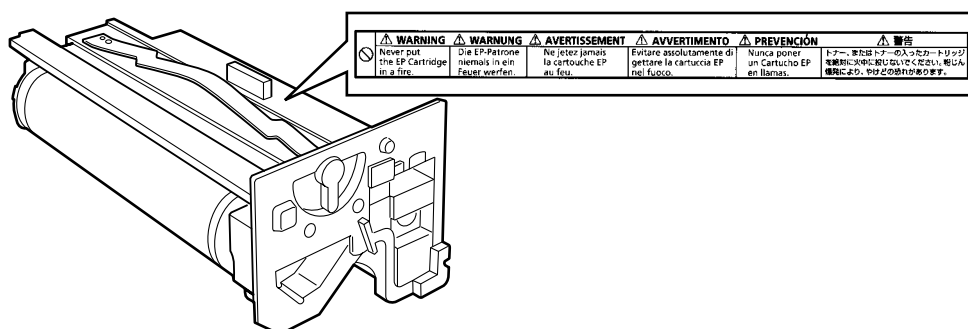
つまった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。
なお、紙片や用紙がヒーター部の見えない部分およびローラーに巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクに連絡してください。

その他

- 紙づまりや故障の処置を行うときは、取扱説明書をよくお読みください。

消耗品取り扱い上の注意

⚠警告

トナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

トナー回収カートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

ドラムカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

その他

- 消耗品は、ご使用になるまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。
  - 高温、多湿の場所
  - 火気のある場所
  - 直射日光の当たる場所
  - ホコリが多い場所
  - 消耗品を使用するときは、消耗品の箱や容器に記載された「取り扱い上の注意」をよく読んでから使用してください。

- 以下の事項に従って、応急措置を行ってください。
  - トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
  - トナーが皮膚に付着した場合は、せっけんを使ってよく洗い流してください。
  - トナーを吸引した場合は、暴露環境から離れて、多量の水でよくうがいをしてください。
  - トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだ物を吐き出し、すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

- トナーがいっぱいになって取り出したトナー回収カートリッジは、再度ドラムカートリッジ内に戻して使用しないでください。内部のトナーがこぼれるなど故障の原因となります。

- 使用中のドラムカートリッジやトナー回収カートリッジを一時的に取り出して、傾けたり振ったりしないでください。内部のトナーがこぼれるなど故障の原因となります。

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
   - □ 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証書、地方債証書、郵便為替証書、郵便切手、印紙。これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
   - □ 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン件、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。

2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
   - □ 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図面。
   - □ 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
   - □ 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
   - □ 役所または公務員の印影、署名、記名。
   - □ 私人の印影または署名。

3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、図面、地図、写真、映像、映画、音楽、コンピュータープログラムなどの著作物は、権利者の許諾なく、次の行為はできません。
   - (1)複製　紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、磁気テープに記録した映像や音楽をダビングすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。
   - (2)改変　紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。
   - (3)送信　電子的に読み取った著作物のデータを、公衆の電気通信回線（インターネットを含む）を通じてファクシミリや電子メールで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを搭載することなど。

   権利者の許諾なく複製・改変・送信したときは、使用の差止、損害賠償の請求、刑事罰を受けることがあります。ただし、次の場合は例外的に権利者の許諾なく著作物を複製することができます。
   - □ 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とした複製。
   - □ 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等における複製。
   - □ 公正な慣行に合致し、報道・批評・研究など、目的に照らして、正当な範囲内での引用。
   - □ 国または地方公共団体が発行する公報資料・調査統計資料・報告書の新聞・雑誌・その他刊行物への転載。ただし、複製禁止の表示がある著作物は除かれます。
   - □ 学校教科書への掲載。ただし、権利者への補償金が必要です。
   - □ 学校その他教育機関における複製。ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。
   - □ 試験問題としての複製。ただし、権利者への補償金が必要です。

1章

プリンター本体の設置

1.1 各部のテープとスペーサーを取り外す

梱包箱から取り出したプリンターは、輸送時の振動や衝撃から守るために、カバーの開閉部分などをテープで留めたり、各部にスペーサーを取り付けています。プリンターの据え置きが終了したら、まず、各部のテープとスペーサーを取り外します。

注記

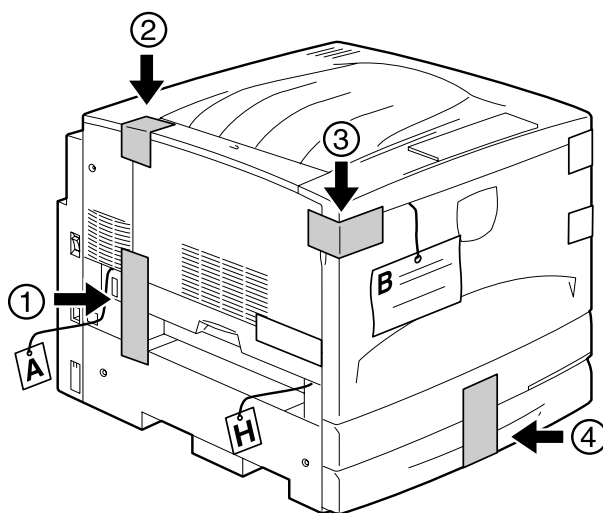
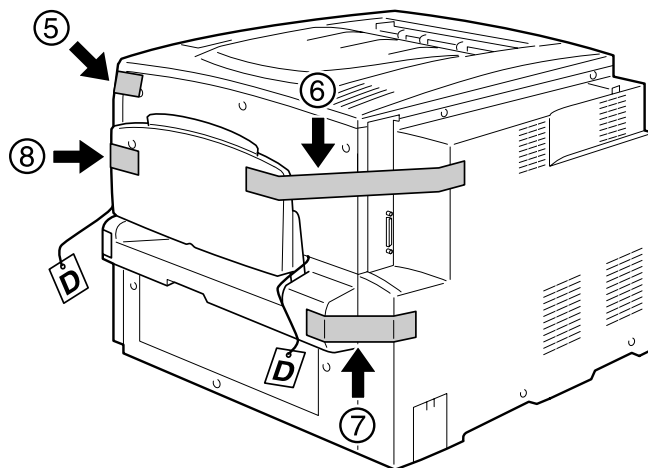
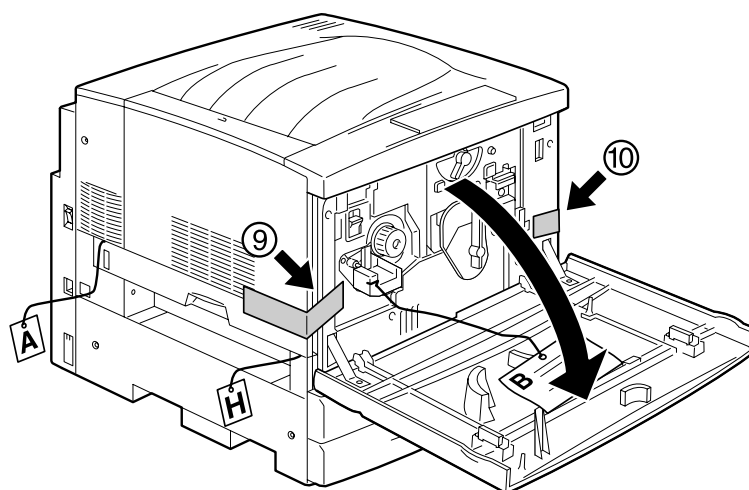
- プリンターを購入した場合は、プリンターの開梱と、お客様が指定した位置までの運搬は搬入業者が行います。プリンターの持ち運びは、搬入業者にお任せください。
- テープやスペーサーが残ったままプリンターを使用すると、紙づまりや故障の原因になることがあります。必ず、次の手順に従って、すべてのスペーサーを取り外してください。

補足

プリンターの梱包に使用されていたダンボール箱や取っ手、発泡スチロール、スペーサーは、プリンターを長距離移動するときに必要です。なくさずに保管しておいてください。

1.1.1 各部のテープを取り外す

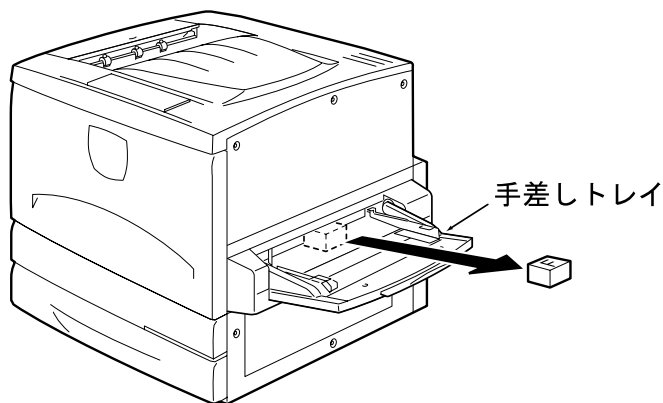
梱包箱から取り出したプリンターには、テープで留められている箇所が 10 か所あります。
下の図を参照して、すべてのテープをはがしてください。

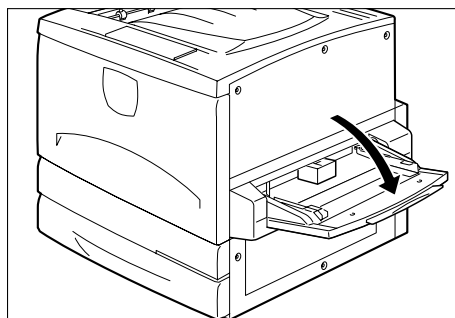
プリンター本体左側 (4 か所)

プリンター本体右側 (4 か所)

フロントカバー内部 (2 か所)

1.1.2　各部のスペーサーを取り外す

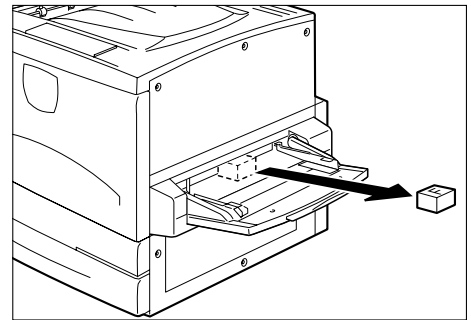
**プリンターには、輸送時の振動や衝動による影響を抑えるために 7 種類 8 個のスペーサーと 4 個のトナーカバーが取り付けられています。
すべてのスペーサーとカバーを取り外してください。**

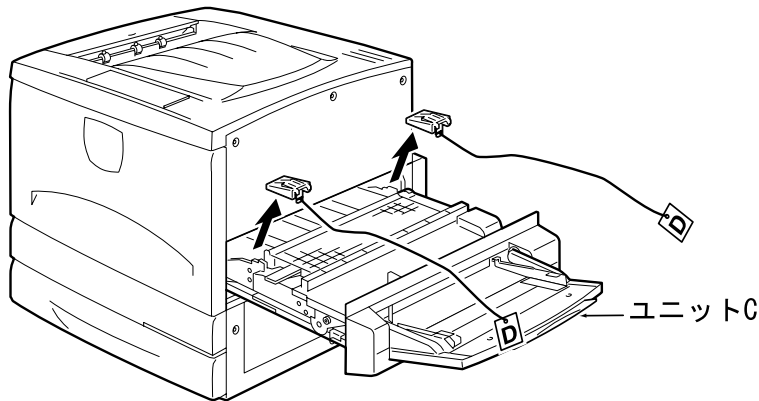
注記
B、C、D、E、F と書かれたスペーサーは、プリンターを長距離移動させるときに必要です。なくさずに保管しておいてください。

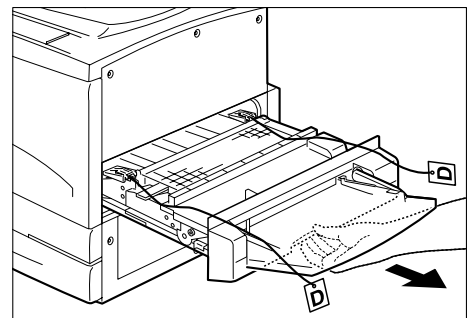
手差しトレイのスペーサーを取り外す

次の手順に従って、手差しトレイのスペーサーを取り外します。

操作手順

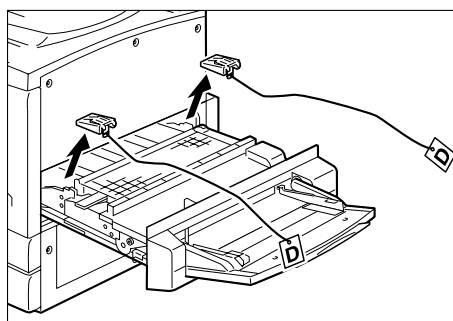
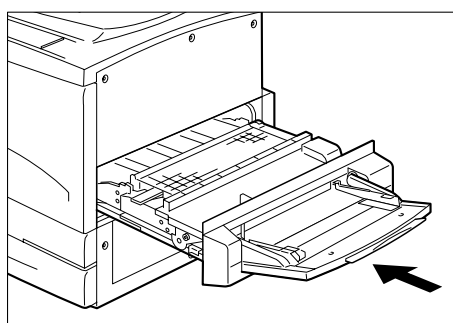
1 **手差しトレイを開けます。**

2 **図の位置にあるスペーサー (F と書かれています) を取り外します。**

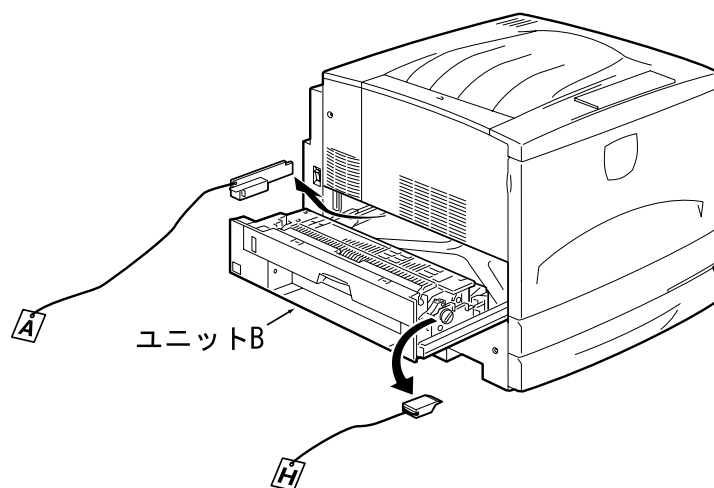
補足
移転などプリンターを長距離移動する可能性がある場合は、F のスペーサーを保管しておいてください。

ユニット C のスペーサーを取り外す

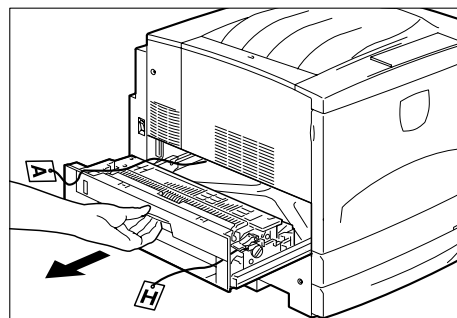
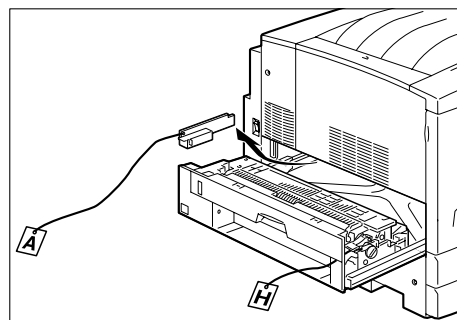
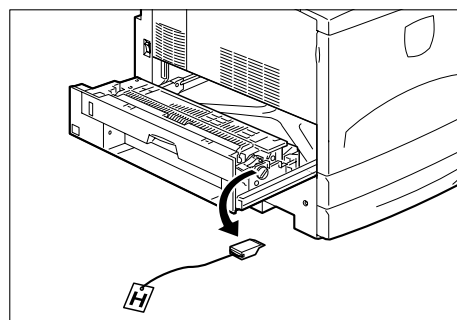
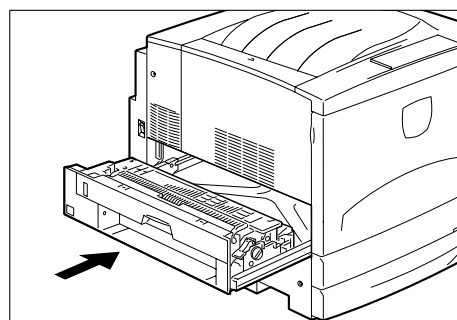
次の手順に従って、ユニット C のスペーサーを取り外します。

操作手順

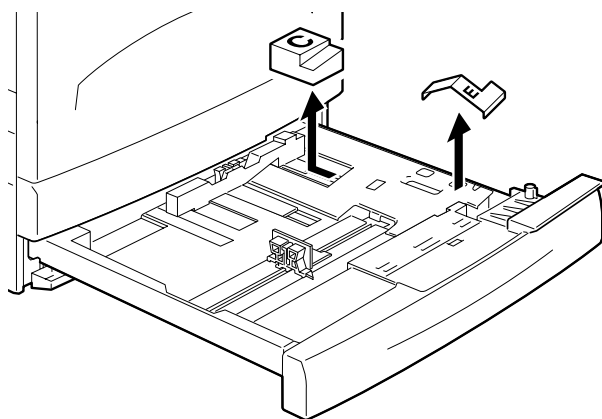
1 **ユニット C を、止まるまでゆっくり引き出します。**

2 **図の位置にあるオレンジ色のスペーサー(Dと書かれたタグが付いています)を引いて外します。**

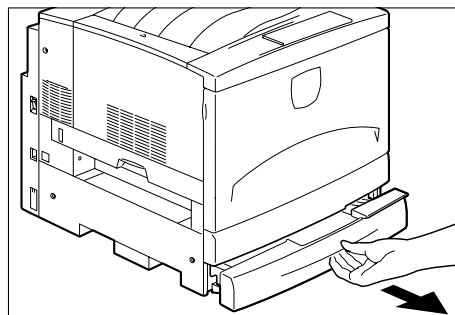
補足

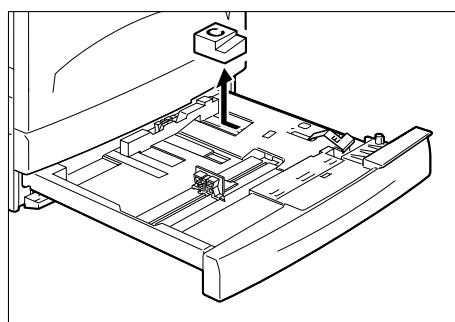
移転などプリンターを長距離移動する可能性がある場合は、Dのスペーサーを保管しておいてください。

3 **ユニットCを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。**

ユニットBのスペーサーを取り外す

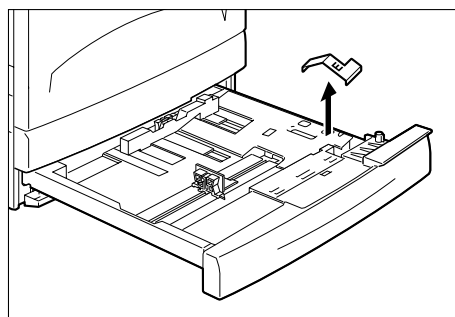
次の手順に従って、ユニットBのスペーサーを取り外します。

操作手順

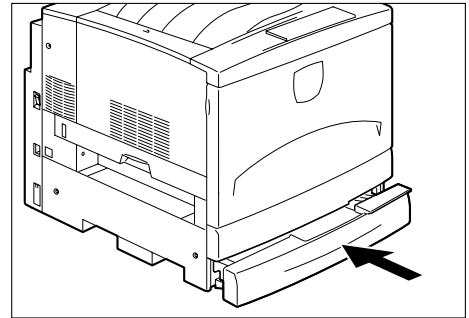
1 ユニット B を、止まるまで引き出します。

2 ユニット B の奥にあるスペーサー (A と書かれたタグが付いています) を、スペーサーに付いている紐を引いて取り外します。

3 図の位置にあるスペーサー (H と書かれたタグが付いています) を、スペーサーに付いている紐を引いて取り外します。

4 ユニット B を、プリンターの奥までしっかり押し込みます。

用紙トレイのスペーサーを取り外す

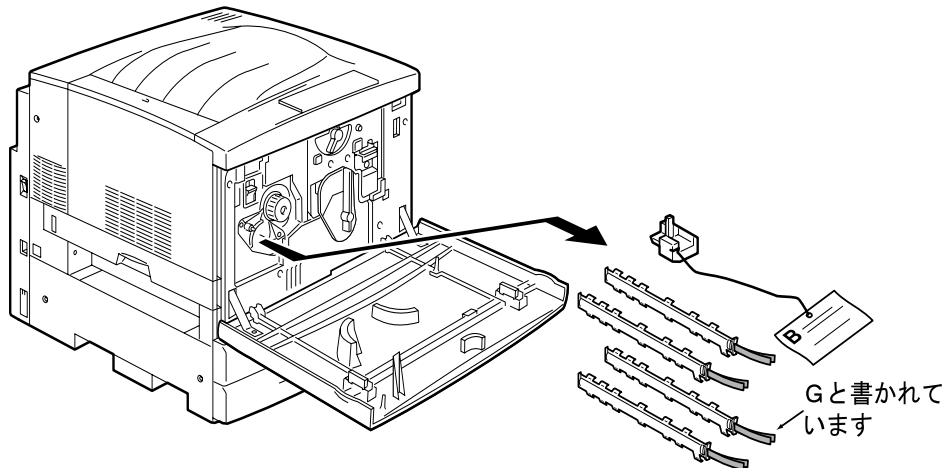
次の手順に従って、用紙トレイのスペーサーを取り外します。

操作手順

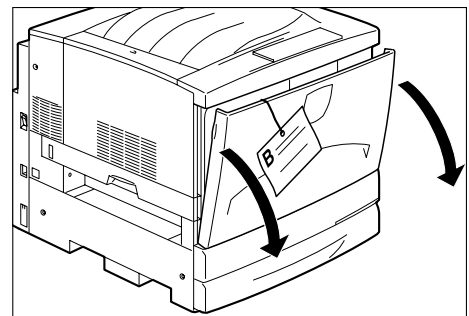
1 **用紙トレイを、止まるまで手前に引き出します。**

2 **図の位置にあるスペーサー(C と書かれています) を取り除きます。**

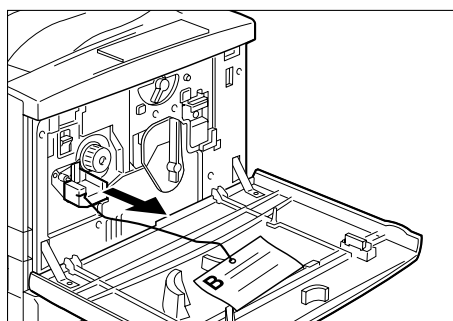
このスペーサーは、コの字の形をしているので、いったんプリンターの奥側にずらしてから、上に持ち上げてください。

3 **図の位置にあるスペーサー(E と書かれています) を取り除きます。**

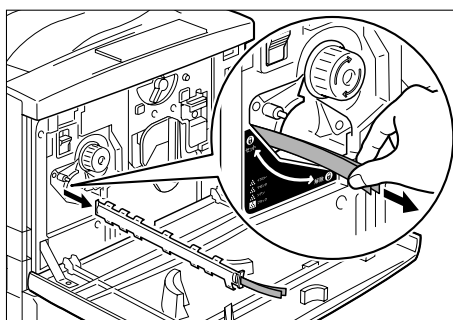
補足
移転などでプリンターを長距離移動する可能性がある場合は、C および E のスペーサーを保管しておいてください。

4 **用紙トレイを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。**

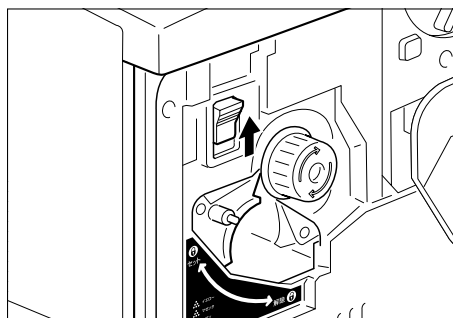
注記
用紙トレイを、無理な力で勢いよく押し込みすぎないようにしてください。

トナーカートリッジ取り付け口のスペーサーとトナーカバーを取り外す

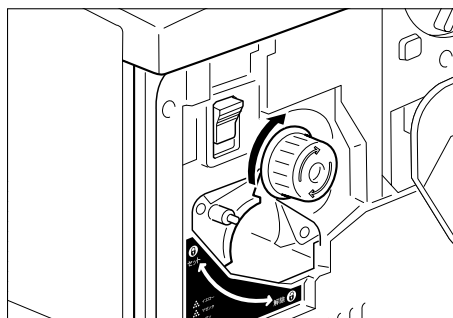
次の手順に従って、トナーカートリッジ取り付け口のスペーサーとトナーカバーを取り外します。

操作手順

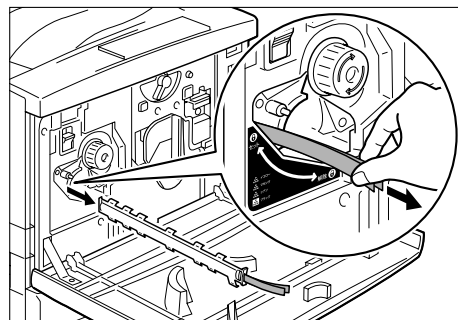
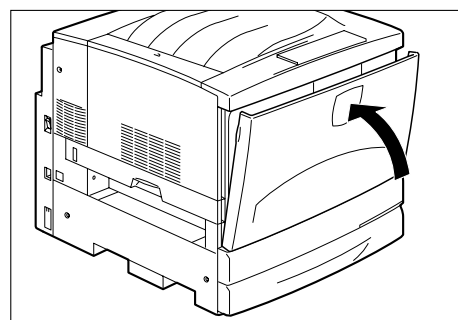
1 **フロントカバーを開けます。**

2 **図の位置にある回転止めスペーサー（Bと書かれたタグが付いています）を引き抜いて外します。**

補足
移転などプリンターを長距離移動する可能性がある場合は、Bのスペーサーを保管しておいてください。

3 **トナーカートリッジ取り付け口にあるトナーカバーを、先端の取っ手（Gと書かれています）を引っ張って外します。**

補足
このトナーカバーは、4つのトナーカートリッジ取り付け口にそれぞれ取り付けられています。次の手順で残りの3個も取り外します。

4 **回転防止スイッチを「カチッ」と音がするまで押し上げ、手を離します。**

注記
回転防止スイッチを押し上げたら、手を離してください。回転防止スイッチは、次の手順でノブを回すと自動的に下がるしくみになっています。

5 **ノブを矢印の方向に止まるまで回し、次のカートリッジを取り付け口に移動させます。**

補足
ノブを回すと、「カチッ」と音がして回転防止スイッチが下がります。

6 正面に移動してきたトナーカバーを、先端の取っ手を引っ張って外します。

7 手順 4 ～ 6 の操作を繰り返します。4 個のトナーカバーがすべて取り外されていることを確認してください。

8 フロントカバーを閉じます。

9 プリンター本体に同梱されていた保守連絡先カードを、機械前面に貼ってください。

1.2 トレイモジュールと両面印刷モジュールを取り付ける

オプションのトレイモジュールや、両面印刷モジュールを購入している場合は、ここでプリンター本体に取り付けます。
取り付け方は、次に示す項、またはマニュアルを参照してください。

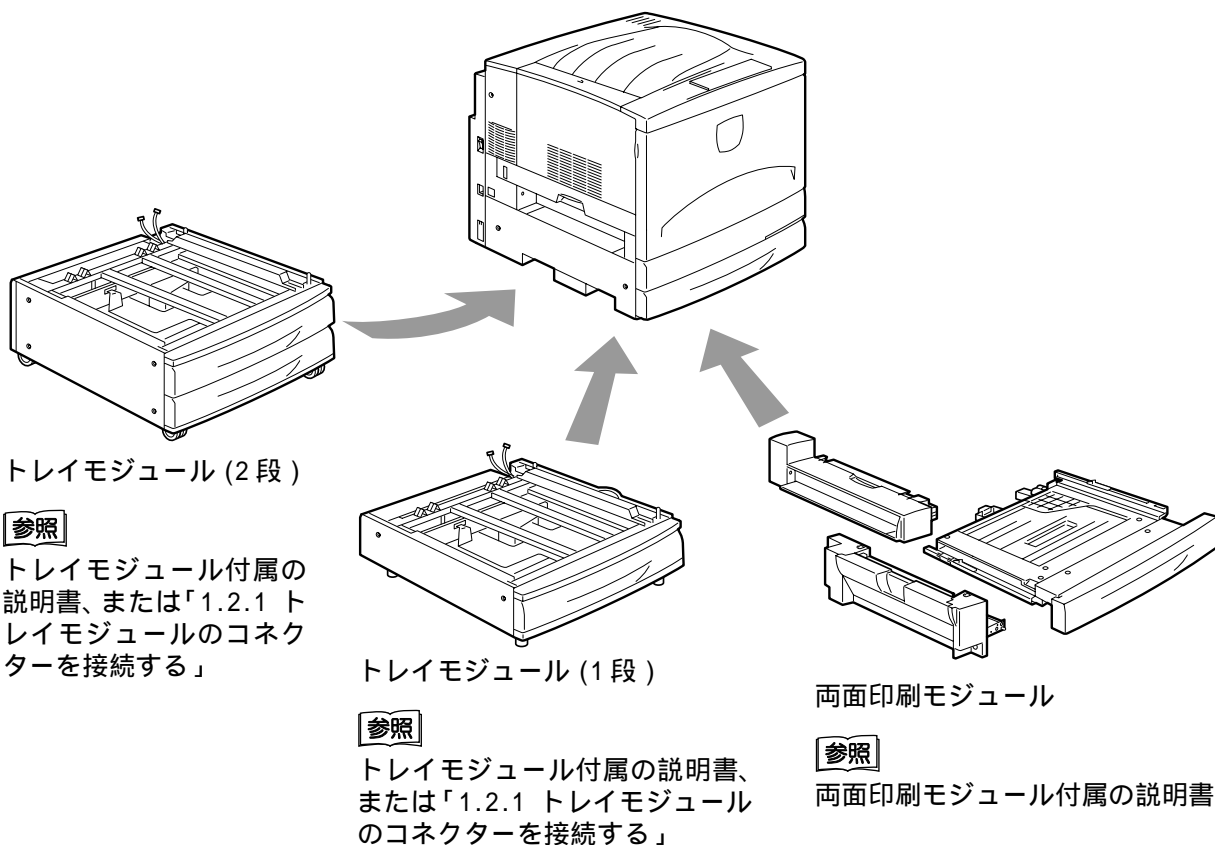
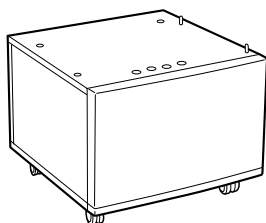
トレイモジュール (2 段)

参照
トレイモジュール付属の説明書、または「1.2.1 トレイモジュールのコネクターを接続する」

トレイモジュール (1 段)

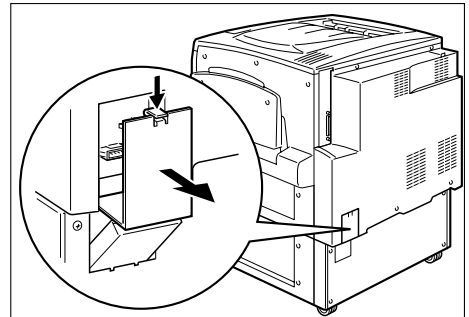
参照
トレイモジュール付属の説明書、または「1.2.1 トレイモジュールのコネクターを接続する」

両面印刷モジュール

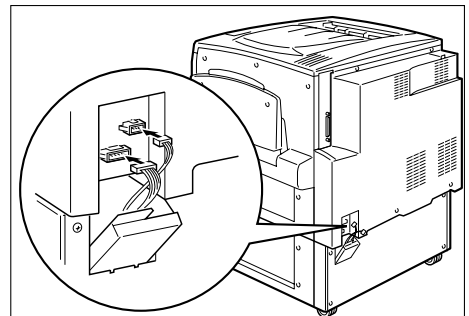
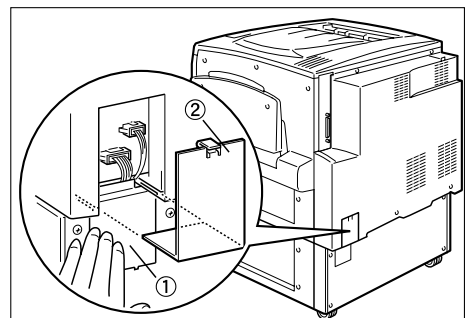
参照
両面印刷モジュール付属の説明書

補足
専用キャビネットを購入している場合も、ここでプリンター本体に取り付けます。
取り付け方は、専用キャビネットに付属の説明書を参照してください。

1.2.1 トレイモジュールのコネクターを接続する

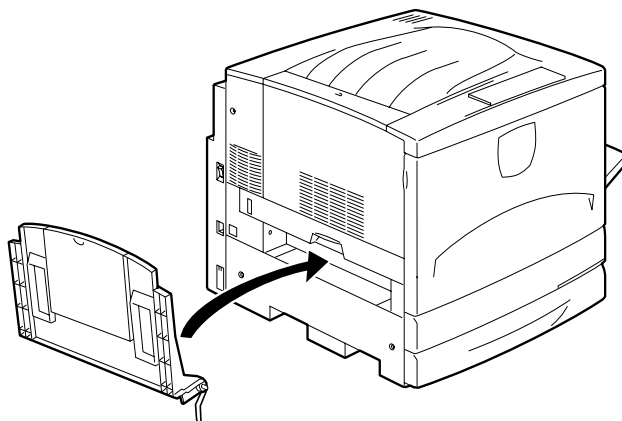
トレイモジュールを購入した場合、搬入業者が設置作業をしますが、コネクターが接続されていない場合があります。
トレイモジュールから出ている 2 本のコネクターケーブルが、プリンター本体に接続されているかどうかを確認し、接続されていない場合は、次の手順に従って作業してください。ここではトレイモジュール (2 段) の例で説明します。

操作手順

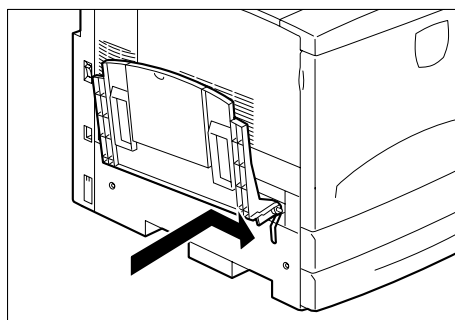
1 **プリンター背面にあるコネクターカバーを、上部のツメを押しながら手前に引いて外します。**

2 **トレイモジュールから出ている 2 本のコネクターケーブルを、プリンター本体の 2 か所のコネクター差し込み口に、外側の枠とコネクターの高さが同じになるまで押し込んで接続します。**

注記

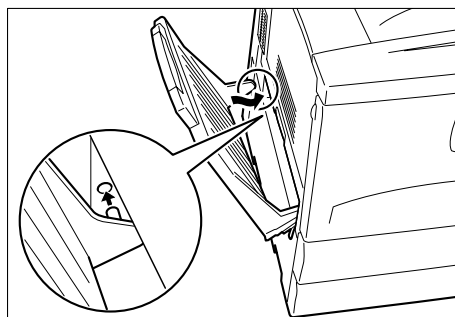
- 2 つのコネクターは、大きさが異なります。図のように大きさが合うコネクターを接続してください。
- コネクターは強い力で押し込まないでください。指や爪を傷つけるおそれがあります。

3 **トレイモジュール側のコネクターカバー (①) を押さえながら、プリンター側のコネクターカバー (②) を、ガイドに沿って取り付けます。**

1.3 サイドトレイを取り付ける

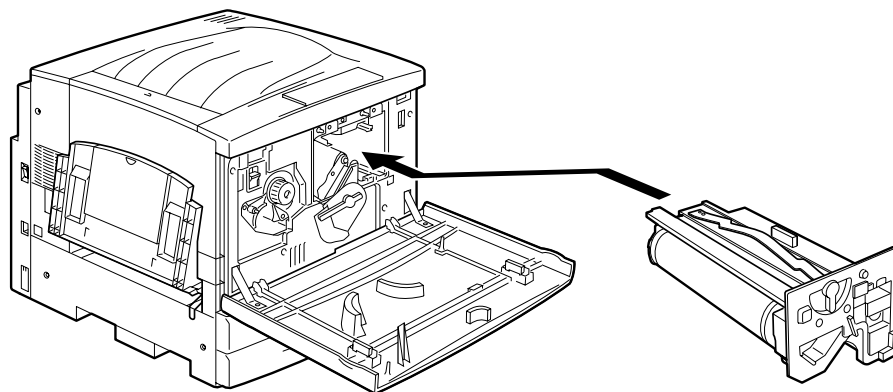
次の手順に従って、サイドトレイを取り付けます。

操作手順

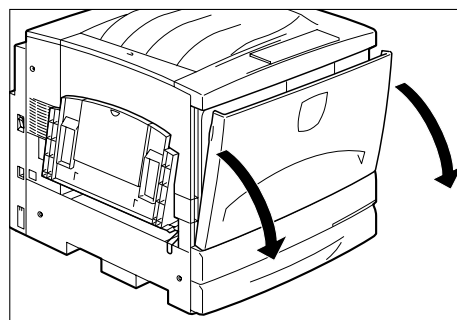
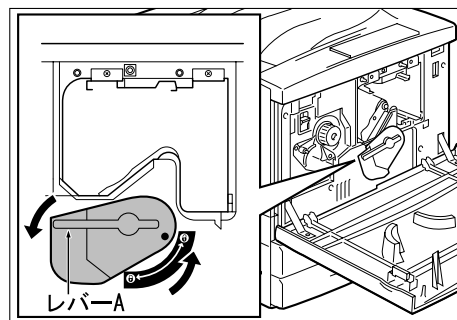
1 **サイドトレイを立てるように持ち、トレイの右側の突起部をプリンター側の穴にはめ込みます。**

このとき、金属部分をプリンターの中に入れないで、トレイの下側に出すようにしてください。

2 **サイドトレイの左側の突起部をプリンター側の穴にはめ込みます。**

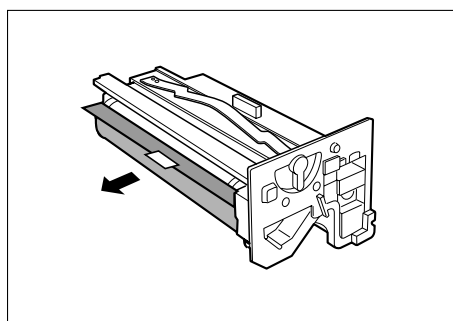
注記

サイドトレイの突起部は、破損しやすいので注意してください。

1.4 ドラムカートリッジを取り付ける

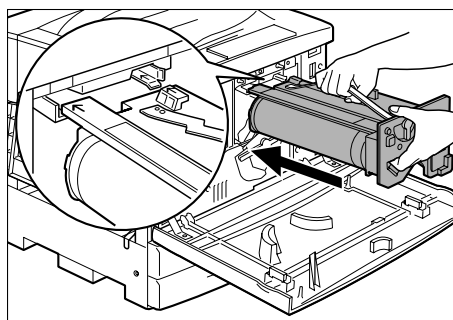
次の手順に従って、ドラムカートリッジを取り付けます。

操作手順

1 フロントカバーを開けます。

2 オレンジ色のレバー A を図の矢印の方向に回し、「●」印を解除位置（🔓）に合わせます。

3 新しいドラムカートリッジを梱包箱から取り出し、カートリッジを覆っている保護シートを、紙テープの部分をはがしてから取ります。

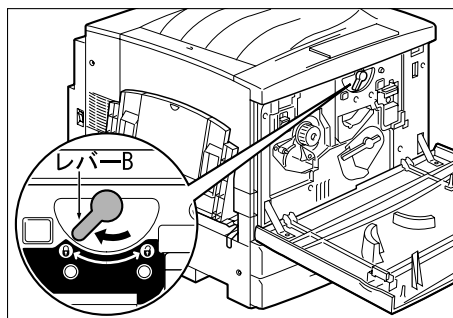
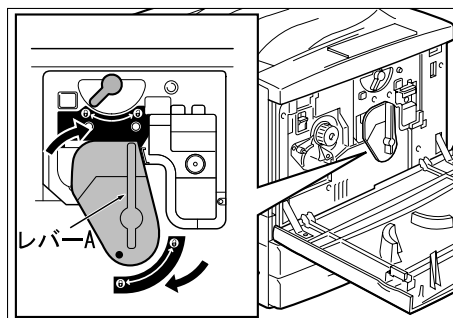
注記

- ドラムの表面(青色)は手で触らないでください。ドラムの表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。ドラムの表面に傷や手の脂、汚れなどが付くと、印刷写りが悪くなります。
- 保護シートは、ドラムカートリッジを水平にした状態ではがしてください。

4 ドラムカートリッジの取っ手を持ち、左右のガイドをプリンター本体のレールに載せて、プリンターの奥までしっかり押し込みます。

注記

- ドラムカートリッジのガイドがきちんとレールに載っていない状態で挿入すると、カートリッジの破損の原因になります。
- ドラムの表面(青色)が、ほかの部品に接触しないように注意してください。

5 レバーB を図の矢印の方向に回し、セット位置 (🔒) に合わせます。

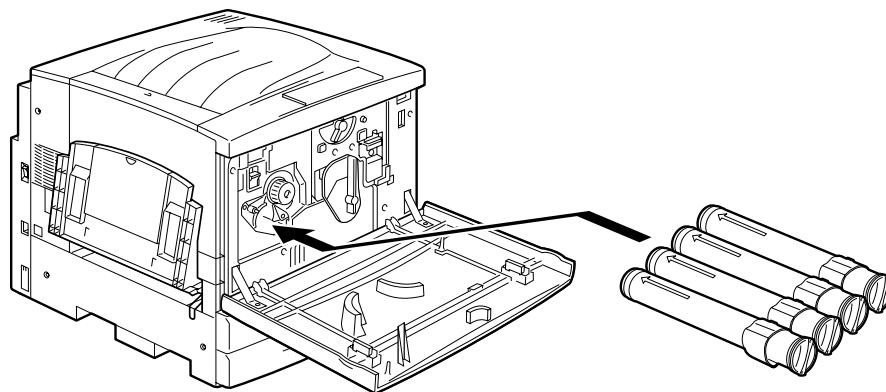
注記

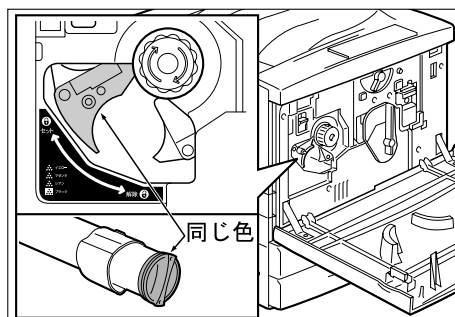
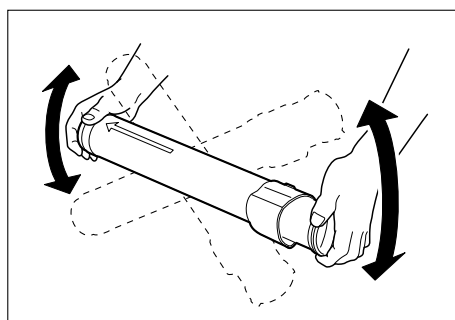
ドラムカートリッジが奥まで押し込まれていないと、レバーは回りません。

6 レバーA を図の矢印の方向に回し、「●」印をセット位置 (🔒) に合わせます。

これでドラムカートリッジのセットは終了です。

続けて、トナーカートリッジを取り付けます。フロントカバーは開けたまま、次の手順に進んでください。

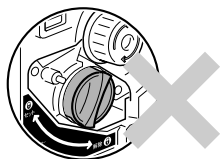
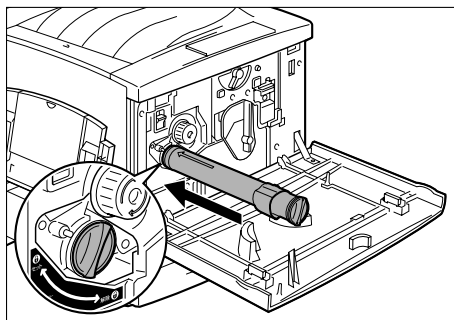
1.5 トナーカートリッジを取り付ける

次の手順に従って、トナーカートリッジを取り付けます。

注記
トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗い流してください。

操作手順

1 **差し込み位置の色と同じ色の新しいトナーカートリッジを梱包箱から取り出します。**

2 **図のように 7 ～ 8 回振り、中のトナーを均一にします。**

3 トナーカートリッジの先端部の矢印を上にして、プリンターの奥に突き当たるまでしっかり差し込みます。

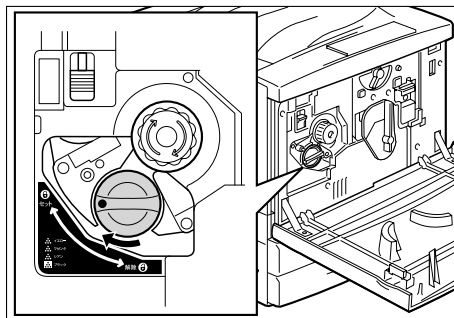
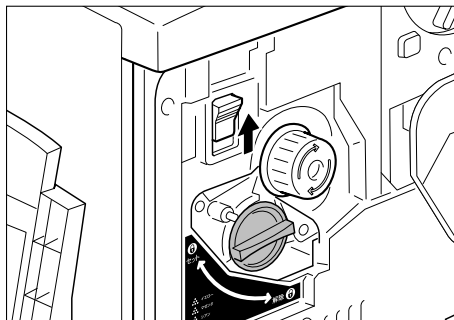
注記

トナーカートリッジは、必ず突き当たるまで差し込んでください。しっかり差し込まないで操作すると、故障の原因になります。

4 トナーカートリッジを押しながら図の矢印の方向に止まるまで回し、トナーカートリッジ側の「●」印をプリンター側の「セット」( ) に合わせます。

注記

トナーカートリッジを最後までしっかり回さないと、トナーがこぼれることがあります。

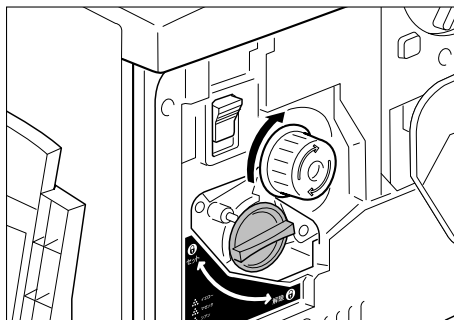
5 回転防止スイッチを「カチッ」と音がするまで押し上げ、手を離します。

注記

回転防止スイッチを押し上げたら、手を離してください。回転防止スイッチは、次の手順でノブを回すと自動的に下がるしくみになっています。

6 ノブを図の矢印の方向に止まるまで回し、セットしたトナーカートリッジを移動させます。

注記

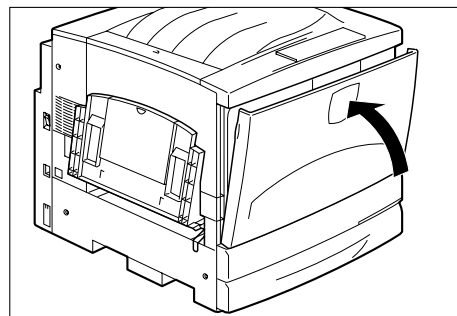
トナーカートリッジが正しくセットされていないとノブは回りません。
ノブが動かない場合は、トナーカートリッジが正しくセットされているかどうかを確認してください。

補足

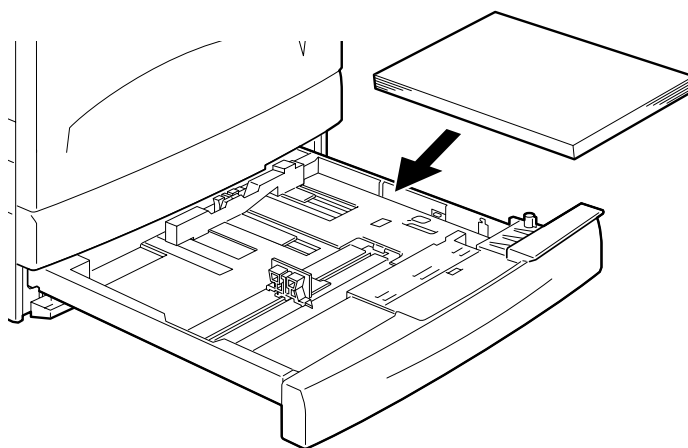
ノブを回すと、「カチッ」と音がして回転防止スイッチが下がります。

7 残りの 3 つのトナーカートリッジについても同様に、手順 1 〜 6 の操作を行います。最後のトナーカートリッジについては、手順 5、6 は不要です。

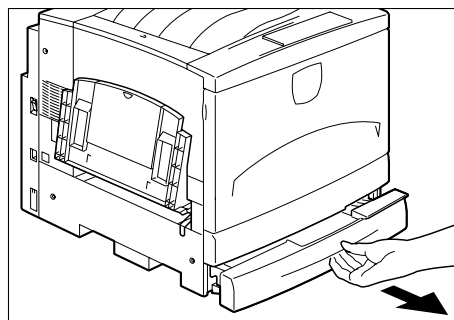
8 フロントカバーを閉じます。

注記

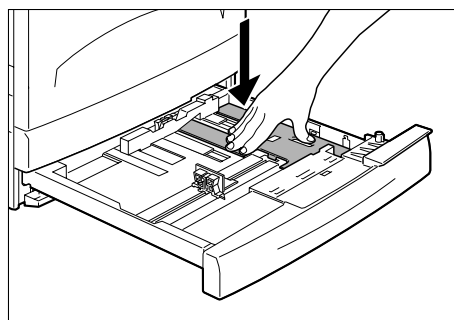
ドラムカートリッジの取り付け口にある、レバーA、Bが正しいセット位置に合っていないと、フロントカバーを閉じることができません。フロントカバーを閉じることができない場合は、レバーA、Bがセット位置に合っているかどうかを確認してください。

1.6 用紙をセットする

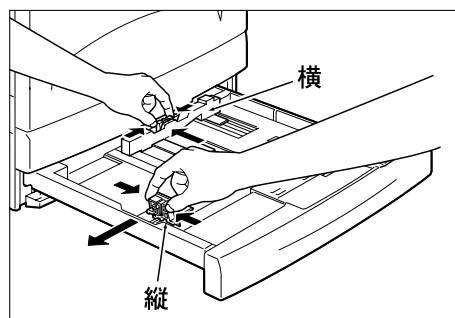
次の手順に従って、用紙トレイに用紙をセットします。

参照
使用できる用紙や、手差しトレイに用紙をセットする方法は「第 3 章 使用できる用紙とセットの仕方」を参照してください。

トレイ 1 に用紙をセットする

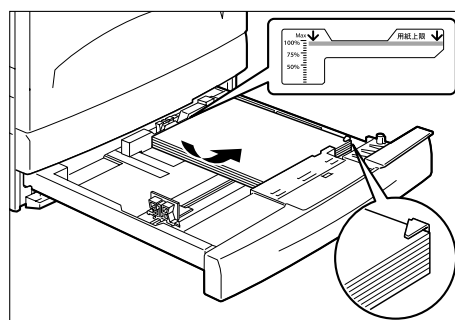
ここでは、トレイ 1 に A4 サイズの用紙を縦置きにセットする例で説明します。

操作手順

1 **用紙トレイを、止まるまで手前に引き出します。**

2 **用紙トレイの、金属の底板を手で下げて、上に浮き上がらないように固定します。**

3 縦、横の用紙ガイドクリップを指でつまみながら、ガイドを外側にずらします。

縦の用紙ガイドは、左側いっぱいまでずらしてください。

4 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にして、右手前側にあるツメの下に用紙をセットします。

注記

- 折りめやシワが入った用紙、反りが大きい（カールしている）用紙は使用しないでください。
- 最大収容枚数(用紙上限)を超えて、用紙をセットしないでください。
- 用紙はツメの下にセットし、ツメの上に載せないようにしてください。
- 用紙ガイドを外側にずらさないで用紙をセットすると、ツメが変形し、紙づまりの原因になることがあります。

5 横の用紙ガイドを紙の幅に合わせます。

注記

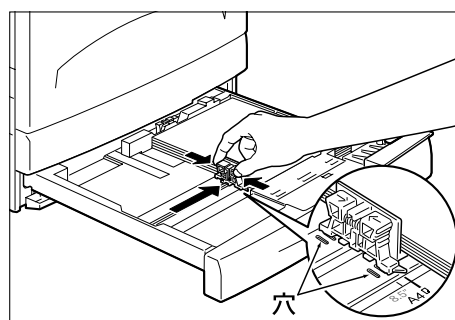
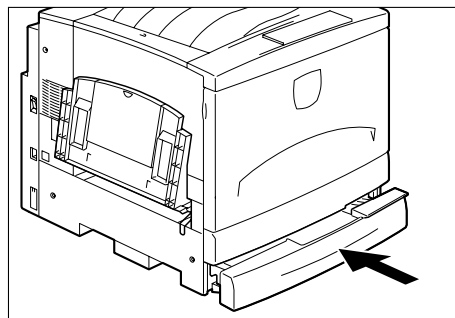
用紙ガイドを用紙に強く押しつけすぎると、紙づまりの原因になります。逆にゆるすぎると、紙のねじれの原因になります。

6 用紙の端をそろえたあと、縦の用紙ガイドの先端（▽）を用紙サイズ目盛りに合わせます。

注記

- 縦の用紙ガイドのストッパーが目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。
- 縦の用紙ガイドが目盛りに合っていないと、用紙サイズを自動検知できない場合があります。このときは、いったん縦の用紙ガイドを左端までずらし、再度目盛りに合わせてください。

7 **用紙トレイを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。**

注記
用紙トレイを、無理な力で勢いよく押し込みすぎないようにしてください。

トレイ 2、3 に用紙をセットする

オプションのトレイモジュールを取り付けている場合は、次の手順でトレイ 2 と 3 に、用紙をセットします。ここでは、トレイ 2 に A4 サイズの用紙を縦置きにセットする例で説明します。

補足
同様の手順で、トレイ 3 にも用紙をセットできます。

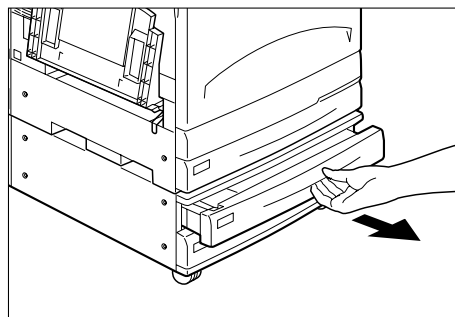
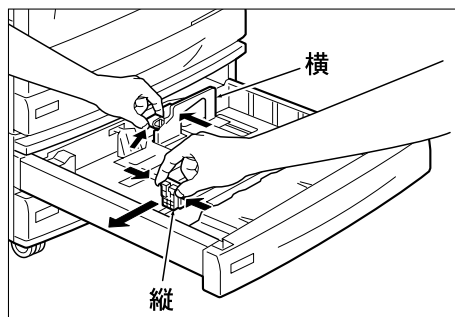
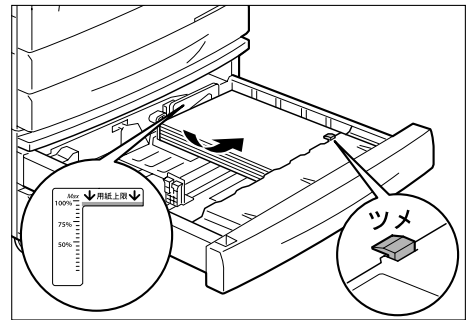
操作手順

1 **用紙トレイを、止まるまで手前に引き出します。**

2 **縦、横の用紙ガイドクリップを指でつまみながら、ガイドを外側にずらします。**

縦の用紙ガイドは、左側いっぱいまでずらしてください。

3 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にしてセットします。

注記

- 折りめやシワが入った用紙、反りが大きい（カールしている）用紙は使用しないでください。
- 最大収容枚数(用紙上限)を超えて、用紙をセットしないでください。
- 図の灰色のツメは、用紙が斜めに送られるのを防ぐためのものです。このツメの高さまで、用紙をセットしないでください。

4 横の用紙ガイドを紙の幅に合わせ、「カチッ」と固定されるまでずらします。

注記

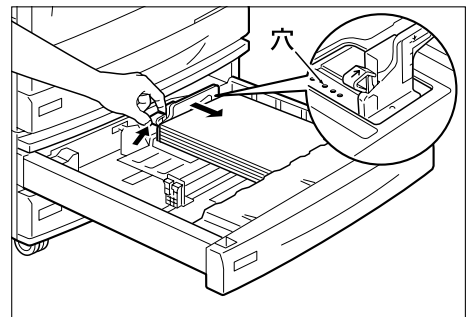
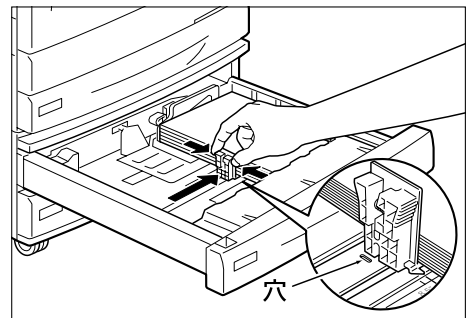
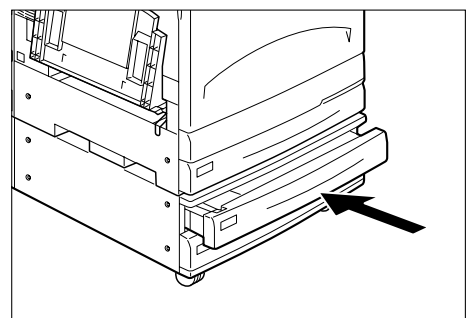
- 横の用紙ガイドのストッパーが、目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。
- 横の用紙ガイドのストッパーが目盛りに合っていないと、用紙サイズを自動検知できない場合があります。このときはいったん横の用紙ガイドを奥までずらし、再度目盛りに合わせてください。

5 用紙の端をそろえたあと、縦の用紙ガイドの先端（▽）を用紙サイズ目盛りに合わせます。

注記

- 縦の用紙ガイドのストッパーが、目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。
- 縦の用紙ガイドが目盛りに合っていないと、用紙サイズを自動検知できない場合があります。このときはいったん縦の用紙ガイドを左端までずらし、再度目盛りに合わせてください。

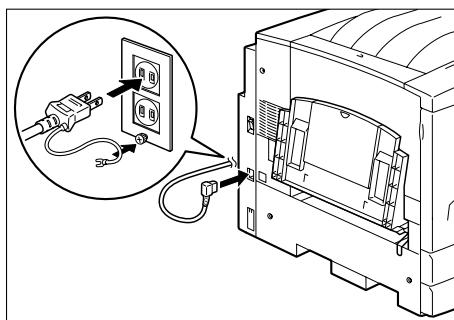
6 用紙トレイを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。

注記

用紙トレイを、無理な力で勢いよく押し込みすぎないようにしてください。

1.7 電源コードを接続する

次の手順に従って、電源コードを接続します。

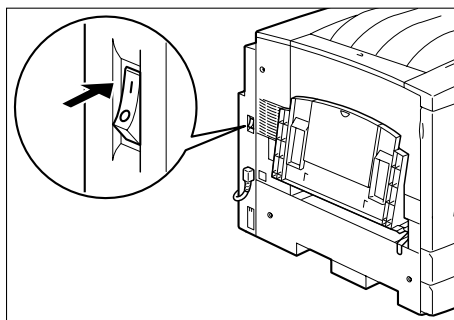
> ⚠警告
> **電源プラグは、定格電圧 100V で、定格電流 15A 以上のコンセントに差し込んでください。なお、本機の定格電源は、プリンターが 100V，11A、プロセッサーが 100V，2A、そしてディスプレイが 100V，1.5A となっております。**
>
> **プリンター、プロセッサー、ディスプレイを同時にテーブルタップでご使用になれます。その場合、それぞれの電源プラグは、定格が 125V,15A で最大 1,500W までのテーブルタップに差し込んでください。また、テーブルタップには、プリンター、プロセッサーおよびディスプレイ以外の機器を接続しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。**
>
> ⚠警告
> **万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。**
> - **電源コンセントのアース端子**
> - **銅片などを 650㎜ 以上地中に埋めたもの**
> - **接地工事（D 種）を行っている接地端子**

操作手順

1 電源コードを、プリンター本体左側面にある電源コードコネクターに接続します。

2 電源コードの他方を、電源コンセントに差し込みます。

電源コンセントにアースが付いている場合は、アースも接続します。

3 プリンター本体左側面にある電源スイッチの「|」側を押します。

これで、電源が入ります。

以上で、プリンター本体の設置は完了です。
続いて、『取扱説明書（サーバー編）』の「ネットワーク設定とサーバーの管理（管理者向け）」の章にある「サーバーのセットアップ」を参照して、サーバーの設置を行ってください。

プリンターの基本操作

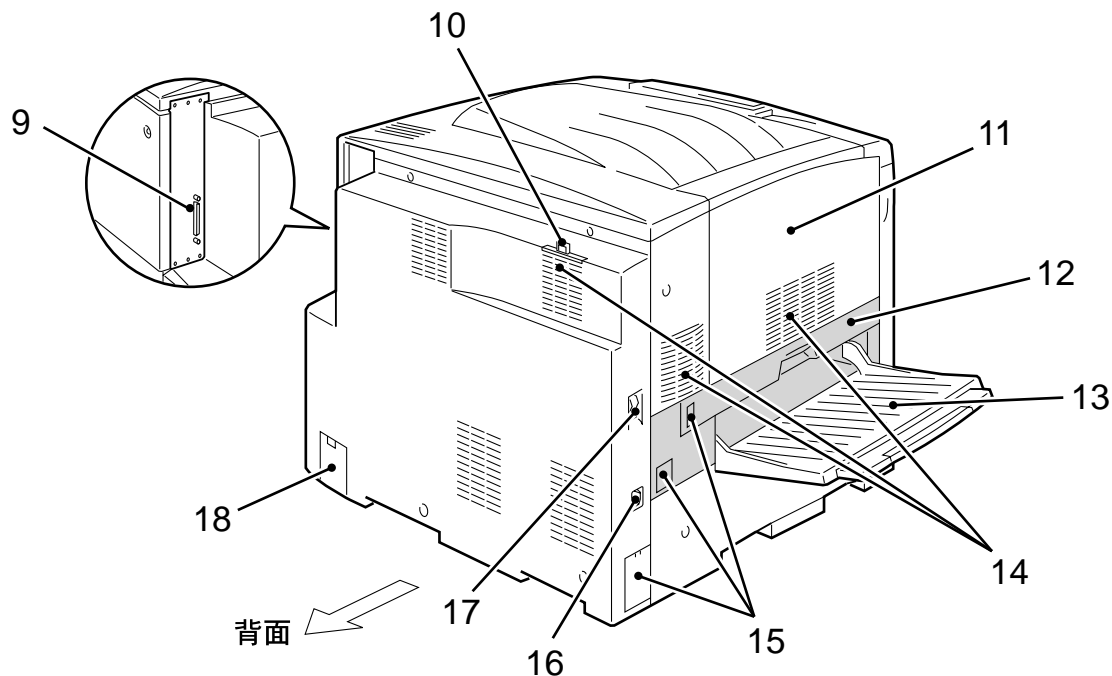
2章

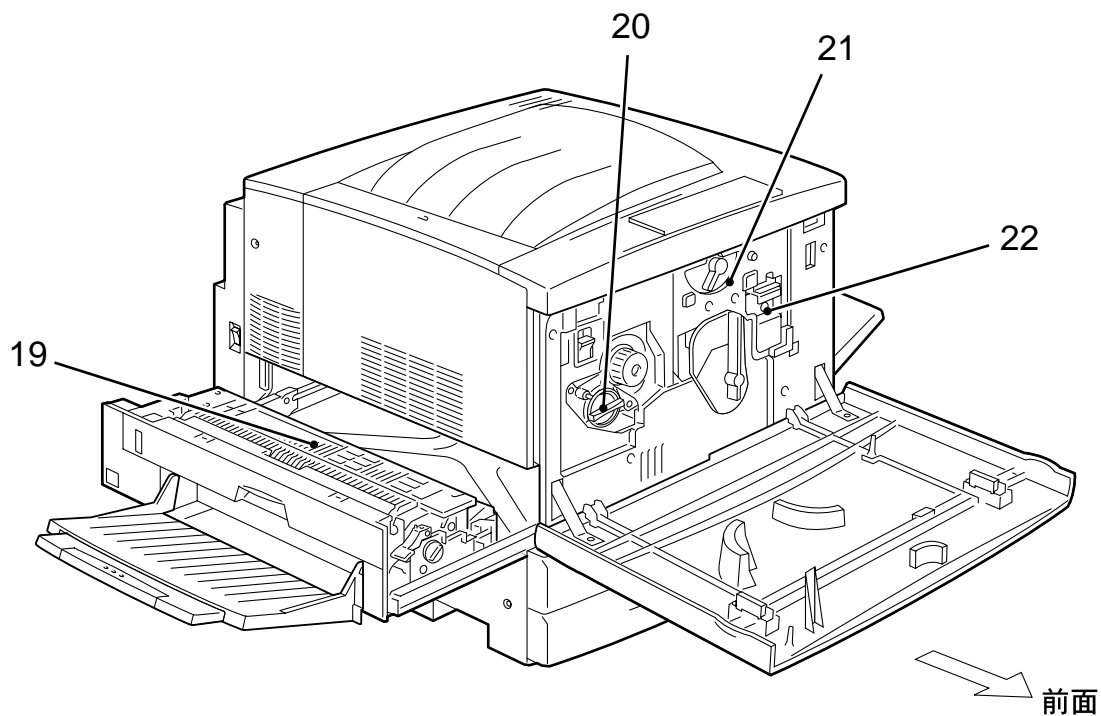
2.1 各部の名称と働き

プリンター本体の各部の名称と働きは、次のとおりです。

前面の図

番号	名称	働き
1	用紙トレイ	用紙をセットします。
2	フロントカバー	プリンター正面のカバーです。トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換するときに開けます。
3	プリント可 LED 節電中 LED エラー LED	3 つの LED によって、プリンターの状態を表示します。 プリント可　緑色でプリント可 / 動作中の動作を表示します。待機中、およびプリント中は点灯しています。 節電中　緑色で節電状態を表示します。節電モード中は点灯しています。 エラー　赤色でプリンターの異常を表示します。点灯している場合は、紙づまりなど、お客様自身で対処可能なエラーが発生していることを表します。点滅している場合は、お客様自身では対処できないエラーが発生しています。お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。
4	センタートレイ	印刷された用紙が、印刷面を下にして排出されます。
5	右上カバー	プリンター右側面上のカバーです。
6	手差しトレイ	用紙をセットします。はがきや封筒などに印刷するときは、このトレイを使用します。
7	ユニット C	プリンター右側面の引き出し型ユニットです。詰まった用紙を取り除くときに開けます。上の図では、ユニット部分に色をつけています。
8	カバー D	プリンター右側面下のカバーです。詰まった用紙を取り除くときに開けます。

背面の図

番号	名称	働き
9	インターフェイスコネクター	サーバーと接続するためのインターフェイスケーブルを差し込みます。
10	フィルター	トナーが外部に飛散するのを防いでいます。フィルターは、外さないでください。
11	カバー A	プリンター左側面のカバーです。詰まった用紙を取り除くときに開けます。
12	ユニット B	プリンター左側面の引き出し型ユニットです。詰まった用紙を取り除くときに開けます。上の図では、ユニット部分に色をつけています。
13	サイドトレイ	印刷された用紙が、印刷面を上にして排出されます。
14	通気口	プリンター内部の加熱を防ぐため、熱を放出します。設置時には通気口をふさがないようにしてください。
15	両面印刷モジュール用コネクターカバー	オプションの両面印刷モジュールを取り付けるときに接続するコネクターのカバーです。
16	電源コードコネクター	電源コードを差し込みます。
17	電源スイッチ	電源を入 / 切にするスイッチです。「|」側に押すと電源が入り、「O」側に押すと電源が切れます。
18	トレイモジュール用コネクターカバー	オプションのトレイモジュールを取り付けるときに接続するコネクターのカバーです。

内部の図

番号	名称	働き
19	フューザー	用紙にトナーを定着させます。 プリンター使用時には高温になっています。手を触れないように注意してください。
20	トナーカートリッジ	ブラック、イエロー、マゼンタ、シアンの 4 色のトナーが収容されています。
21	ドラムカートリッジ	ドラム（ 感光体 ）、ドラムクリーナー、トナー回収カートリッジで構成されています。このドラム面に電荷を与えて、像をつくります。
22	トナー回収カートリッジ	使用済みのトナーを回収します。ドラムカートリッジに付属していますが、単品で交換することもできます。

2.2 電源を入れる / 切る

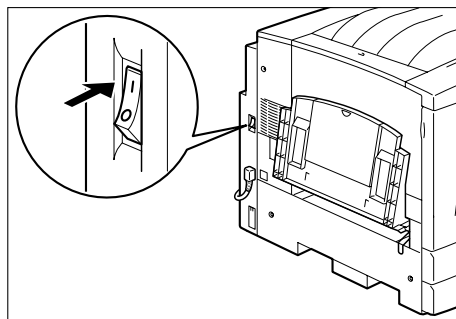
プリンターを使用するときは、電源を入れます。
また、1 日の印刷作業の終わりや、長期間プリンターを使用しないときには、電源を切ります。

2.2.1 電源を入れる

手順は次のとおりです。

操作手順

1 プリンター本体左側面にある電源スイッチの「|」側を押します。

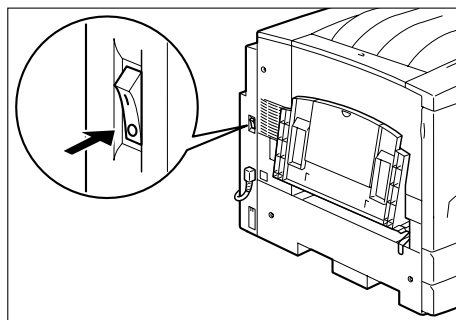
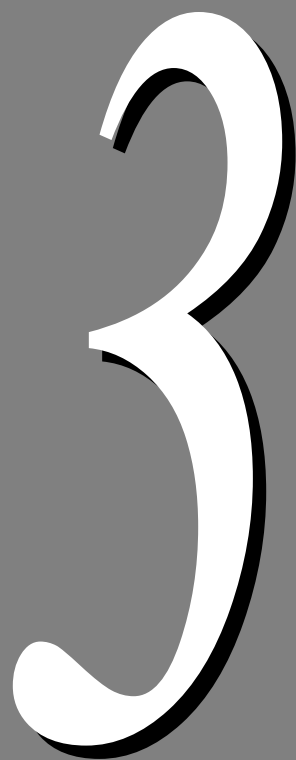
これで、電源が入ります。

2.2.2 電源を切る

手順は次のとおりです。

操作手順

1 プリンター本体左側面にある電源スイッチの「O」側を押します。

これで、電源が切れます。

3章

使用できる用紙とセットの仕方

3.1 用紙について

プリンターの性能を効果的に活用するためには、ここで紹介する用紙を使用されることをお勧めします。

注記
適切でない用紙を使用した場合、紙づまりや印字品質低下の原因になることがあります。

3.1.1 使用できる用紙

用紙の種類

■普通紙（一般紙）

一般に市販されている用紙（一般紙と呼びます）に印刷する場合は､規格に合った用紙を使用してください。ただし、より鮮明に印刷するためには、標準紙の使用をお勧めします。

規格
メートル坪量：64 ～ 98g/m^2

補足
メートル坪量とは、1m^2 の用紙 1 枚の質量をいいます。

■普通紙（標準紙）

本プリンターの標準紙は次のとおりです。

用紙名	規格
J 紙 （カラー・片面印刷用）	メートル坪量：82g/m^2
JD 紙 （カラー・両面印刷用）	メートル坪量：98g/m^2

■特殊紙

本プリンターでは、普通紙のほかに、次の用紙に印刷することができます。これらの用紙を特殊紙と呼びます。

- **OHPフィルム(白黒プリンター用の枠なしOHPフィルム(XEROX FILM <枠なし>商品コード :V516))**
- **ラベル用紙(全面シールで、カットされていないもの)**
- **封筒(洋形 2/3/4 号、洋長形 3 号)**
- **官製はがき**
- **厚紙(メートル坪量:98 ～ 210g/㎡)**
- **コート紙**
- **専用光沢紙(ミラーコートプラチナ 157g/㎡)**
- **マット紙**

注記

- 硬い厚紙に印刷すると、イメージがずれることがあります。
- インクジェットプリンター用のコート紙は、使用できません。
- コート紙 / 専用光沢紙 / マット紙を多数枚セットして使用すると、用紙が湿気をおびて重なって機械に入り、故障の原因になります。コート紙 / 専用光沢紙 / マット紙は、1 枚ずつセットしてください。
- 封筒は、のりづけ部分にテープが付いていないものを使用してください。あらかじめのりづけされている封筒は、のりづけ部分の状態によっては印刷できないことがあります。
- すでにおもて面に印刷されているはがきのうら面に印刷するとき、少しでもはがきが反っていると、紙づまりの原因になることがあります。手で平らな状態に戻してから、はがきをセットしてください。なお、かもめーるなど多色刷りのはがきには印刷しないでください。
- 封筒の洋長形 3 号は、プリンタードライバーなどでは「洋長 3 号」と表示されます。

各トレイと使用できる用紙の種類 / サイズ

それぞれのトレイでセットできる用紙の種類と最大収容枚数、および使用できる用紙サイズを次に示します。

給紙方法	用紙の種類	最大収容枚数	使用できる用紙サイズ
手差しトレイ	普通紙 1(フルカラー用) 普通紙 2 厚紙 1(98 ～ 210g/㎡) 厚紙 2(98 ～ 210g/㎡) はがき 封筒 ラベル用紙 OHP フィルム	150 枚または厚さ16㎜まで	B5L、B5、B4、 A5L、A5、A4L、A4、A3、 8.5 × 11"(レター)L、 8.5 × 11"(レター)、 8.5 × 13"、 8.5 × 14"(リーガル)、 11 × 17"、 12 × 18"、 SRA3、328 × 453㎜、 13 × 18"、 はがき、 往復はがき L、往復はがき、 4 連はがき L、4 連はがき、 封筒(洋形 2/3/4 号、洋長形 3 号)、 カスタムサイズ (幅:90 ～ 330.2㎜、 長さ:139.7 ～ 457.2㎜)
	コート紙 専用光沢紙 マット紙	1 枚	
トレイ 1 250 枚ユニバーサルトレイ (同梱品 / オプション)	普通紙 1(フルカラー用) 普通紙 2	250 枚または厚さ26㎜まで	B5L、B4、A4L、A4、A3、 8.5 × 11"(レター)L、 8.5 × 14"(リーガル)、 11 × 17"、 12 × 18"
特A3 トレイ(オプション)	普通紙 1(フルカラー用) 普通紙 2	250枚、または厚さ26㎜まで	12 × 18"、 SRA3、 328 × 453㎜、 カスタムサイズ (幅:304.8 ～ 328㎜、 長さ:420 ～ 457.2㎜)
トレイ 2、3 トレイモジュール (オプション)	普通紙 1(フルカラー用) 普通紙 2	各トレイ 500枚、または厚さ53㎜まで	B5L、B4、A4L、A4、A3、 8.5 × 11"(レター)L、 8.5 × 11"(レター)、 8.5 × 14"(リーガル)、 11 × 17"

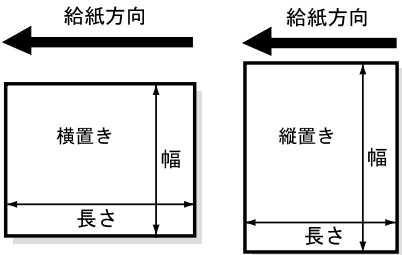
注記

- 用紙の厚さによって、一度にセットできる枚数が異なります。
- プリンタードライバーでは、用紙サイズとして A2 または B3 を選択できますが、その場合、1 ページ分のイメージが A3 または B4 用紙 2 枚に分割されて印刷されます。A2 や B3 サイズの用紙をサポートしているわけではありません。詳細は、『取扱説明書(サーバー編)』を参照してください。

補足

厚紙に印刷する場合、用紙の種類は「厚紙 1(98 ～ 210g/㎡)」を選択してください。
トナーの定着が悪くてはがれるような場合、用紙によっては、「厚紙 2(98 ～ 210g/㎡)」を選択して印刷すると、定着性を改善できることがあります。

補足

表中の用紙サイズのあとの「L」は、用紙を縦置きにセットすることを表します。たとえば、A4 サイズの用紙を縦置きにする場合は A4L、横置きにする場合は A4 となります。
また、表中の「幅」、「長さ」と、用紙の置き方との関係は、下図のとおりです。

両面印刷ができる用紙

本プリンターでは、両面印刷ができます。

補足

画像密度が高い文書をカラーで両面印刷する場合は、JD 紙を使用してください。

■両面印刷モジュールを使用した自動両面印刷

両面印刷モジュール（ オプション ）を使用して両面印刷ができる用紙の種類とサイズは、次のとおりです。

用紙の種類	用紙サイズ
普通紙 1(フルカラー用) 普通紙 2 厚紙 1(98 ～ 210g/㎡)(*1) コート紙 (*1) マット紙 (*1)	B5L、B4、 A4L、A4、A3、 8.5 × 11"(レター)L、8.5 × 11"(レター)、 8.5 × 14"(リーガル)、 11 × 17"、 12 × 18"(*2)

(*1)：普通紙以外の用紙に両面印刷をする場合は、手差しトレイにセットしてください。

(*2)：特 A3 トレイの用紙は使用できません。両面印刷モジュールを使って、12 × 18" 用紙に両面印刷をする場合は、手差しトレイにセットしてください。

■手差しトレイを使用した手動両面印刷

特殊紙に両面印刷をする場合や、両面印刷モジュールを取り付けていない場合で両面印刷をする場合は、片面を印刷した用紙を手差しトレイにセットすることで、そのうら面に印刷できます。
手差しトレイを使用して両面印刷ができる用紙の種類とサイズは、次のとおりです。

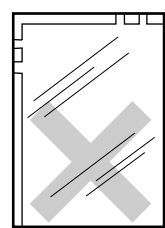
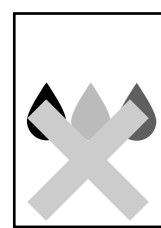
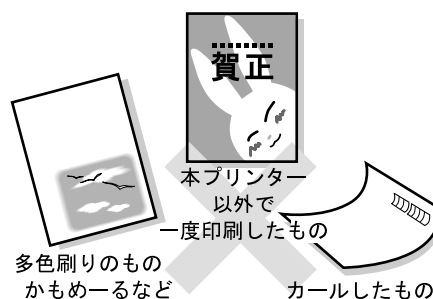
注記

手差しトレイを使用して手動両面印刷ができるのは、本プリンターで片面を印刷した用紙だけです。

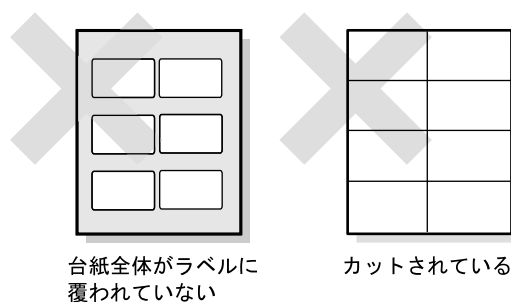
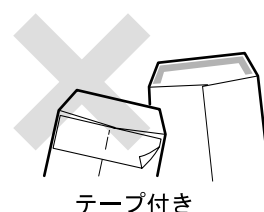
用紙の種類	用紙サイズ
普通紙 1(フルカラー用) 普通紙 2 厚紙 1(98 ～ 210g/㎡) 厚紙 2(98 ～ 210g/㎡) はがき コート紙 専用光沢紙 マット紙	B5L、B5、B4、 A5L、A5、A4L、A4、A3、 8.5 × 11"(レター)L、8.5 × 11"(レター)、 8.5 × 13"、 8.5 × 14"(リーガル)、 11 × 17"、 12 × 18"、 SRA3、 328 × 453㎜、 13 × 18"、 はがき、 往復はがき L、往復はがき、 4 連はがき L、4 連はがき、 カスタムサイズ (幅：90 ～ 330.2㎜、長さ：139.7 ～ 457.2㎜)

3.1.2 使用できない用紙

次のような用紙は、紙づまりや故障、および装置破損の原因になります。使用しないでください。

- フルカラー用 OHP フィルムなど、弊社が推奨している OHP フィルム以外のもの
- インクジェット専用紙
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- 他のプリンターやコピー機で印刷された用紙
- シワや折れ、破れのある用紙
- 湿っている用紙、ぬれている用紙
- 反っている (カールしている) 用紙
- 静電気で密着している用紙
- 貼り合わせた用紙、のりが付いた用紙
- 紙の表面が特殊コーティングされた用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 155 ℃の熱で変質するインクを使った用紙
- 感熱紙
- カーボン紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- 酸性紙を使用した場合は、文字ボケが出ることがあります。そのときは中性紙に替えてください。
- 凹凸や留め金のある封筒

フルカラー用
OHPフィルム

インクジェット
専用紙

- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- のりづけ部分がのりでベタついている封筒
- 台紙全体がラベルなどで覆われていないものや、
  カットされているラベル用紙

台紙全体がラベルに
覆われていない

カットされている

- 布地転写紙
- 水転写紙
- 電飾紙
- デジタルコート紙の艶ありタイプ
- タックフィルム（透明 / 無色）
- 穴あき用紙

3.1.3 用紙の保管方法

適切な用紙でも、保管状態が悪い場合には変質し、紙づまりや印字品質の低下、故障の原因になります。用紙は、次のように保管してください。

- 温度　　　10 ～ 30 ℃
- 相対湿度　30 ～ 65%
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 開封後、残りの用紙は包装してあった紙に包み、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙は立てかけずに、平らな場所に保管してください。
- シワ、折れ、カールなどが付かないように保管してください。
- 直射日光の当たらない場所に保管してください。

使用できる用紙とセットの仕方

3

3.2 用紙のセット

次の順で、用紙トレイや手差しトレイに用紙をセットする方法を説明します。

- **用紙トレイに用紙をセットする**
- **手差しトレイに用紙をセットする**
- **手差しトレイに OHP フィルムをセットする**
- **手差しトレイにはがきをセットする**
- **手差しトレイに封筒をセットする**

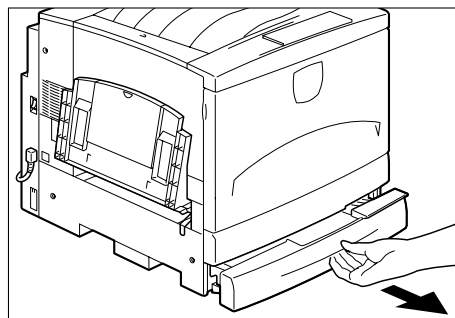
参照

それぞれ使用できる用紙については、「3.1 用紙について」を参照してください。

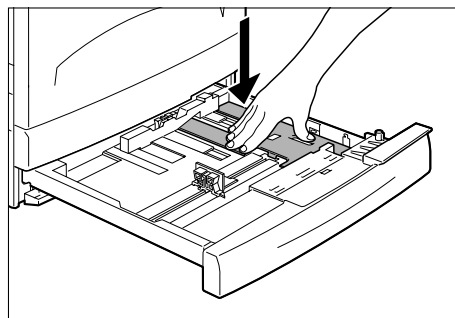
3.2.1 用紙トレイに用紙をセットする

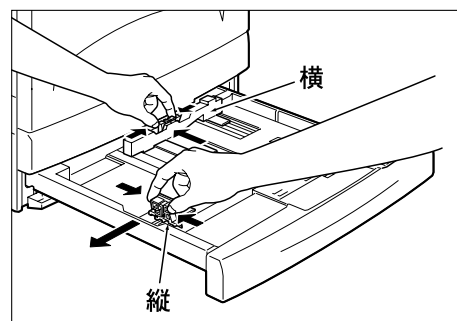
用紙トレイへの用紙のセットの仕方について説明します。

トレイ 1 に用紙をセットする

次の手順に従って、トレイ 1 に用紙をセットします。ここでは、A4 サイズの用紙を縦置きにセットする例で説明します。

操作手順

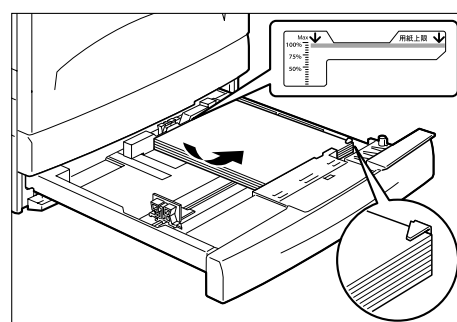
1 **用紙トレイを、止まるまで手前に引き出します。**

2 **用紙トレイの、金属の底板を手で下げて、上に浮き上がらないように固定します。**

3 縦、横の用紙ガイドクリップを指でつまみながら、ガイドを外側にずらします。

縦の用紙ガイドは、左側いっぱいまでずらしてください。

4 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にしてセットします。

右手前側にあるツメの下に用紙をセットしてください。

注記

- 折りめやシワが入った用紙、反りが大きい（カールしている）用紙は使用しないでください。
- 最大収容枚数(用紙上限)を超えて、用紙をセットしないでください。
- 用紙はツメの下にセットし、ツメの上には載せないようにしてください。
- 用紙ガイドを外側にずらさないで用紙をセットすると、ツメが変形し、紙づまりの原因になることがあります。

5 横の用紙ガイドを紙の幅に合わせます。

注記

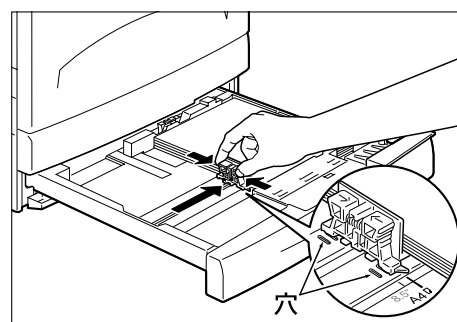
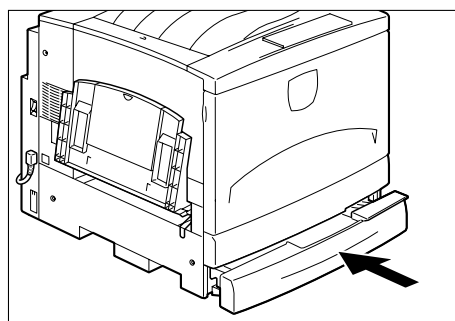
用紙ガイドを用紙に強く押しつけすぎると、紙づまりの原因になります。逆にゆるすぎると、紙のねじれの原因になります。

6 用紙の端をそろえたあと、縦の用紙ガイドの先端（▽）を用紙サイズ目盛りに合わせます。

注記

- 縦の用紙ガイドのストッパーが、目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。
- 縦の用紙ガイドが目盛りに合っていないと、用紙サイズを自動検知できない場合があります。このときはいったん縦の用紙ガイドを左端までずらし、再度目盛りに合わせてください。

7 **用紙トレイを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。**

注記

用紙トレイを、無理な力で勢いよく押し込みすぎないようにしてください。

トレイ 2、3 に用紙をセットする

オプションのトレイモジュールを取り付けている場合は、次の手順に従って、トレイ 2、3 に用紙をセットします。
ここでは、トレイ 2 に A4 サイズの用紙を縦置きにセットする例で説明します。

補足

同様の手順で、トレイ 3 にも用紙をセットできます。

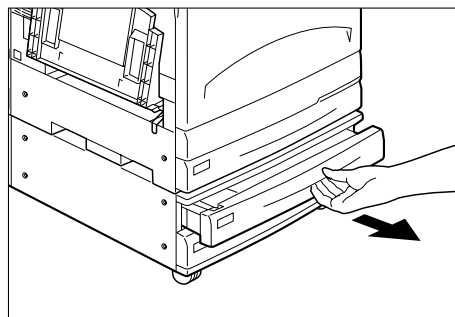
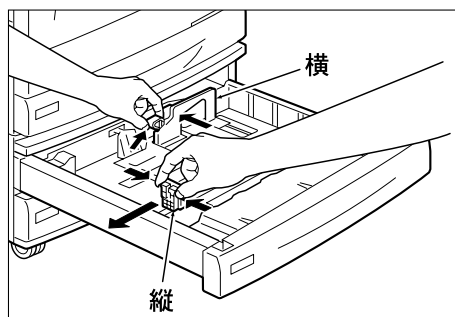
操作手順

1 **用紙トレイを、止まるまで手前に引き出します。**

2 **縦、横の用紙ガイドクリップを指でつまみながら、ガイドを外側にずらします。**

縦の用紙ガイドは、左側いっぱいまでずらしてください。

3 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にしてセットします。

注記

- 折りめやシワが入った用紙、反りが大きい（カールしている）用紙は使用しないでください。
- 最大収容枚数(用紙上限)を超えて、用紙をセットしないでください。
- 図の灰色のツメは、用紙が斜めに送られるのを防ぐためのものです。

4 横の用紙ガイドを紙の幅に合わせ、「カチッ」と固定されるまでずらします。

注記

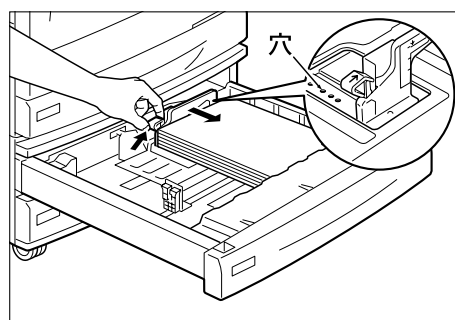
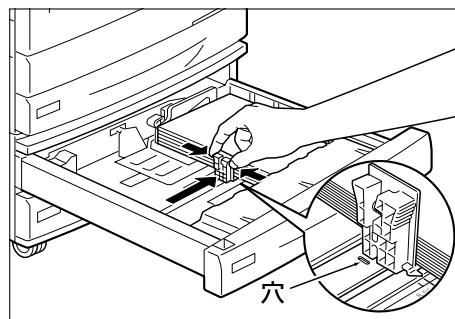
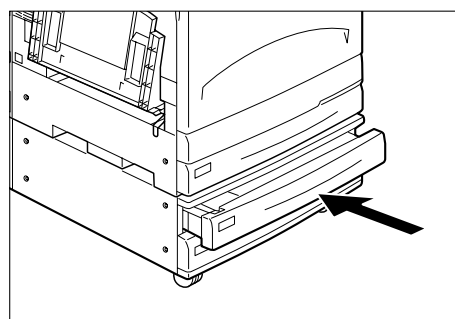
- 横の用紙ガイドのストッパーが、目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。
- 横の用紙ガイドのストッパーが目盛りに合っていないと、用紙サイズを自動検知できない場合があります。このときはいったん横の用紙ガイドを奥までずらし、再度目盛りに合わせてください。

5 用紙の端をそろえたあと、縦の用紙ガイドの先端（▽）を用紙サイズ目盛りに合わせます。

注記

- 縦の用紙ガイドのストッパーが、目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。
- 縦の用紙ガイドが目盛りに合っていないと、用紙サイズを自動検知できない場合があります。このときはいったん縦の用紙ガイドを左端までずらし、再度目盛りに合わせてください。

6 用紙トレイを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。

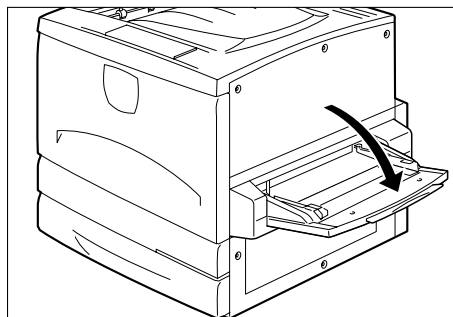
注記

用紙トレイを、無理な力で勢いよく押し込みすぎないようにしてください。

3.2.2 手差しトレイに用紙をセットする

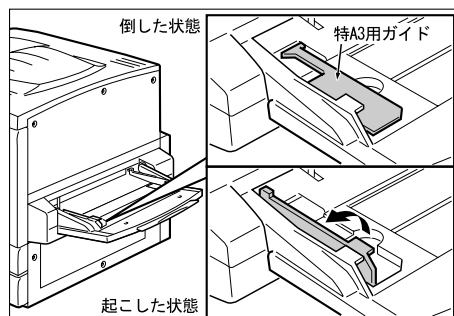
手差しトレイに用紙をセットする手順を説明します。

注記
手差しトレイには、サイズの異なる用紙を同時にセットしないでください。また、手差しトレイに用紙が残っている状態で、新しい用紙を追加しないでください。紙づまりなどの原因になることがあります。

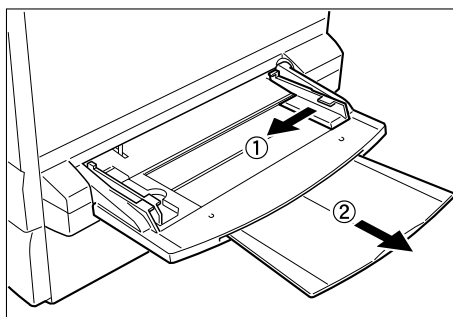
操作手順

1 手差しトレイが折りたたまれている場合は、手差しトレイを開けます。

注記
破損の原因になるので、手差しトレイには必要以上の力をかけたり、用紙以外の重いものを載せたりしないでください。

2 特 A3 用ガイドは、328 × 453㎜ サイズや幅が 12.2 インチを超える用紙をセットするとき倒します。

注記
幅が 12.2 インチ以下の用紙に印刷するとき、特 A3 用ガイドを倒して用紙をセットすると、印字位置がずれて正しく印刷できません。

3 用紙ガイドを、セットする用紙サイズの目盛りに合わせます (①)。

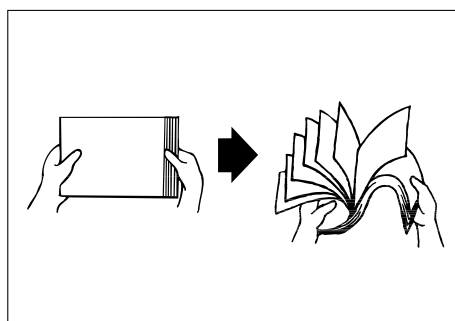
A3 サイズなど大きな用紙をセットするときは、延長トレイを引き出します (②)。

注記
A3 サイズなど大きな用紙をセットするとき、延長トレイを使用しないと、用紙が落下したり、紙送りができなくなったりすることがあります。

4 OHP フィルム、ラベル紙、封筒などの特殊紙に印刷する場合は、用紙の間に空気を入れるように、よく紙をさばいてください。

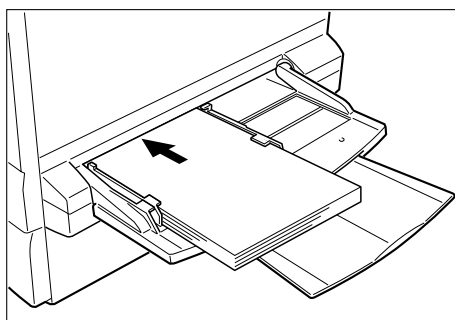
補足

用紙の間に空気を入れることによって、複数枚の紙送り（重送）や紙づまりを防ぐことができます。

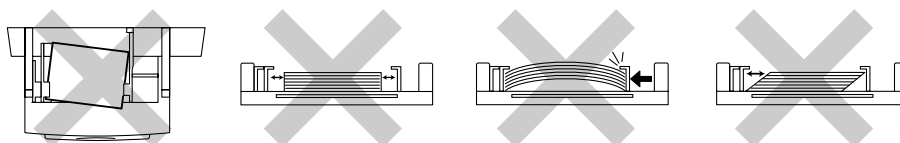
注記

- 普通紙は、さばかずにそのままセットしてください。
- コート紙、専用光沢紙、マット紙は、1 枚ずつセットしてください。多数枚をセットして使用すると、用紙が湿気を含んで複数枚が重なって機械に入り、故障の原因になります。
- 裁断が悪く、用紙くずが周囲に付いている場合は、用紙くずを取り除いてください。

5 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして、差し込み口に軽く当たるまで入れます。

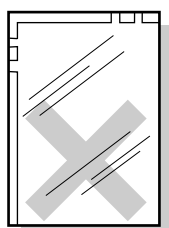
注記

- 折りめやシワが入った用紙は使用しないでください。
- 最大収容枚数を超えて、用紙をセットしないでください。

正しくない用紙のセット方法

用紙が正しくセットされていないと、印字位置がずれてしまいます。次の点を、確認してください。

- **用紙は正しくセットできましたか。**
- **用紙ガイドと用紙の間に隙間があいていたり、ガイドを強く押しすぎて用紙がゆがんだりしていませんか。**
- **用紙が斜めになっていませんか。**

3.2.3 手差しトレイにOHPフィルムをセットする

OHPフィルムに印刷するときは、手差しトレイから給紙します。
本プリンターでは、白黒プリンター用OHPフィルム（XEROX FILM<枠なし>）を使用します。

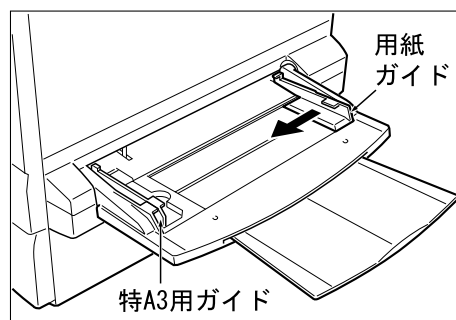
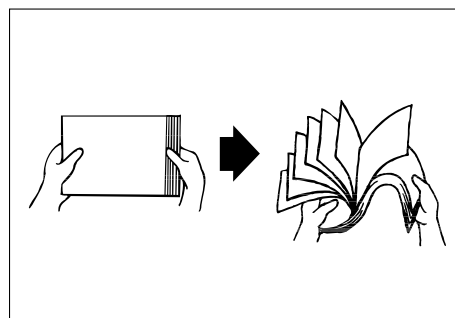
注記
FUJI XEROXフルカラーOHPフィルム（白い枠が付いています）など、フルカラー用OHPフィルムは使用できません。適切でないOHPフィルムを使用すると、プリンターの故障の原因になります。

フルカラー用
OHPフィルム

フルカラー用 OHP フィルムは、使用できません。

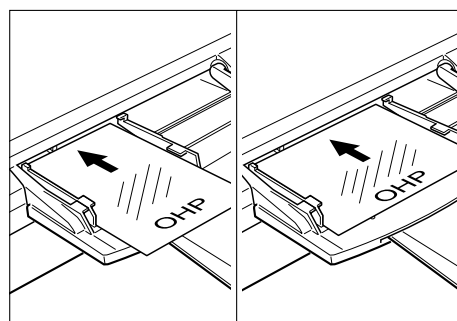
注記
排出されたOHPフィルムが排出トレイに多数重なると、静電気が発生し、紙づまりになることがあります。排出されるたびに、取り除いてください。

OHPフィルムをセットする手順は、次のとおりです。

操作手順

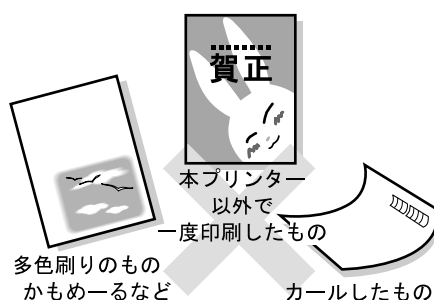
1 **特A3用ガイドを起こしてから、用紙ガイドを、セットする用紙サイズの目盛りに合わせます。**

2 **OHPフィルムを、少量ずつよくさばきます。**

3 **OHP フィルムを、差し込み口に軽くあたるまで入れます。**

注記

FUJI XEROX フルカラーOHP フィルムなど、フルカラー用 OHP フィルムは、紙づまりやフューザー (定着部) の故障の原因になります。使用しないでください。

3.2.4 手差しトレイにはがきをセットする

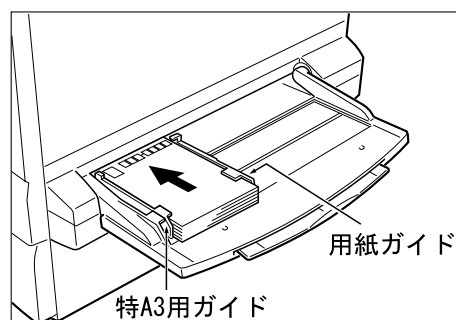
はがきに印刷するときは、手差しトレイから給紙します。

注記

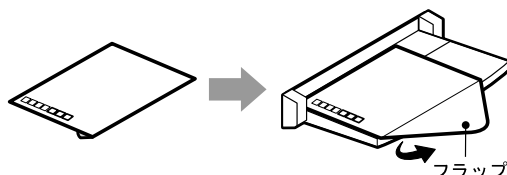
- すでにおもて面に印刷されているはがきのうら面に印刷するとき、はがきが少しでも反っていると紙づまりの原因になることがあります。手で平らな状態に戻してから、はがきをセットしてください。
- かもめーるなど多色刷りのはがきには印刷しないでください。

はがきをセットする手順は、次のとおりです。

操作手順

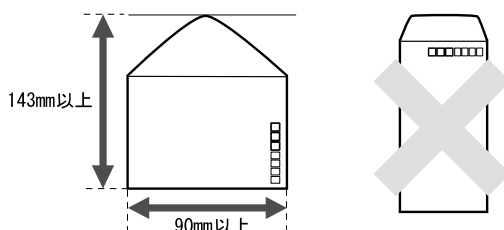
1 **特 A3 用ガイドを起こしてから、用紙ガイドを、セットする用紙サイズの目盛りに合わせます。**

2 **印刷する面を上に、郵便番号枠が奥側になるようにセットします。**

3.2.5 手差しトレイに封筒をセットする

封筒に印刷するときは、手差しトレイから給紙します。
封筒は、次のサイズのものが使用できます。必ずフラップを開き、フラップ部分が後端になるようにセットします。

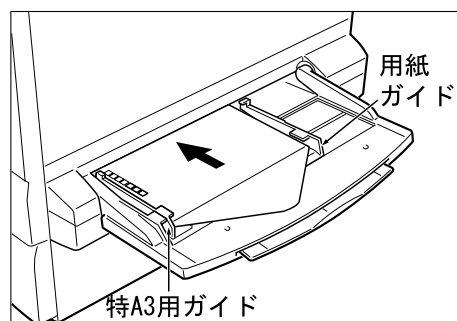
- **洋形 2 号 (162 × 114㎜)**
- **洋形 3 号 (148 × 98㎜)**
- **洋形 4 号 (235 × 105㎜)**
- **洋長形 3 号 (235 × 120㎜)**

注記

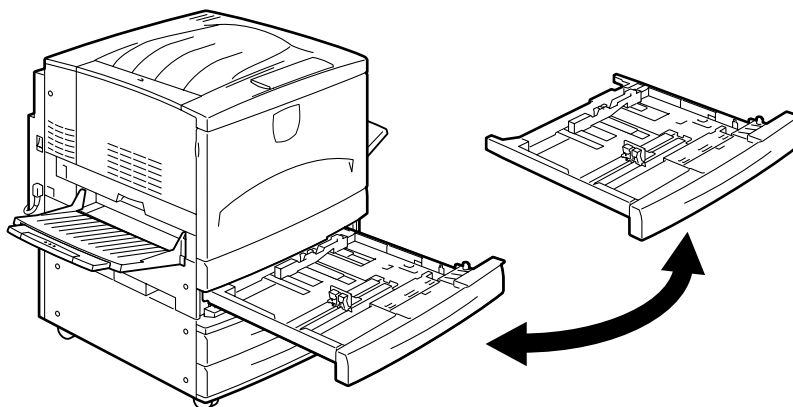
- 封筒は、のりづけ部分にテープが付いていないものを使用してください。あらかじめのりづけされている封筒は、のりづけ部分の状態によっては印刷できないことがあります。
- 封筒は横長のもの（図のように、幅が 90㎜以上でフラップを含む長さが 143㎜以上のもの）を使用してください。縦長のものは使用できません。
- 封筒の種類によっては、紙にシワがよったり印字品質が悪くなる場合もあります。
- 封筒の厚みが厚い場合や、表面がすべりやすいと、指定した位置に正しく印刷されないことがあります。薄めの封筒や表面の平滑性が低い封筒を使用してください。

- 封筒の洋長形 3 号は、プリンタードライバーなどでは「洋長 3 号」と表示されます。

封筒をセットする手順は、次のとおりです。

操作手順

1 **特 A3 用ガイドを起こしてから、用紙ガイドを、セットする用紙サイズの目盛りに合わせます。**

2 **印刷する面を上にして、フラップを開き、フラップ部分が後端になるようにセットします。**

3.3 トレイ1の取り外し/取り付け

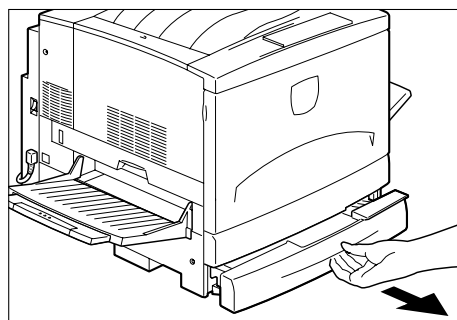
トレイ 1 には、オプションの 250 枚ユニバーサルトレイや特 A3 トレイを取り付けることができます。250 枚ユニバーサルトレイを購入している場合は、標準のトレイ 1 と異なるサイズの用紙をセットしておき、必要に応じて、トレイを入れ替えて使用できます。
ここでは、トレイ 1 をプリンターから取り外す手順と、プリンターに取り付ける手順を説明します。

参照

オプションの 250 枚ユニバーサルトレイ、特 A3 トレイについては、「付録 A オプション品と消耗品の紹介」を参照してください。

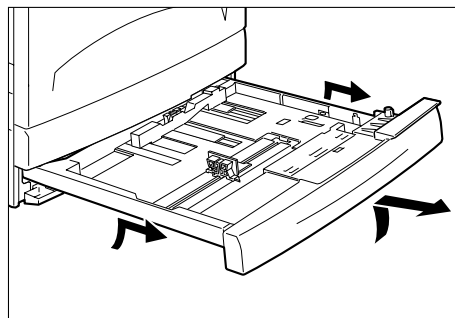
3.3.1 トレイ 1 を取り外す

手順は次のとおりです。

操作手順

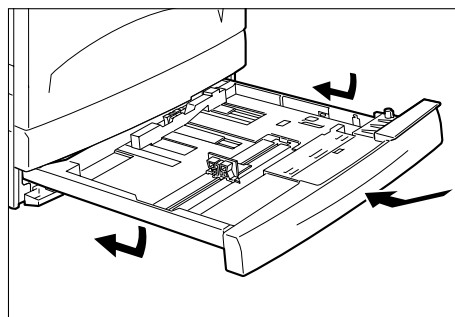
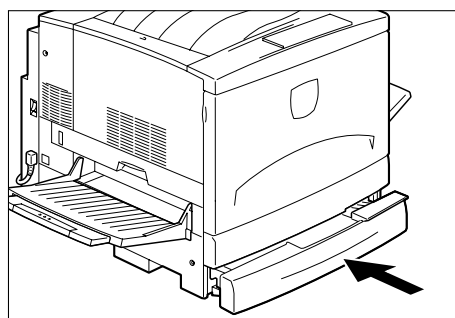
1 **用紙トレイを、手前に止まるまで引き出します。**

2 **用紙トレイを両手で持ち、トレイの手前側を押し上げるようにして引き出します。**

補足

取り外した用紙トレイは、平らな場所に置いてください。

3.3.2 トレイ 1 を取り付ける

手順は次のとおりです。

操作手順

1 **用紙トレイを両手で持ち、プリンター本体の用紙トレイ取り付け口の溝に沿って、差し込みます。**

2 **用紙トレイを、プリンターの奥までしっかり押し込みます。**

注記

用紙トレイを、無理な力で勢いよく押し込みすぎないようにしてください。

4章

故障かなと思ったら

4.1 故障かなと思ったら

プリンターを使用中に異常が起こった場合は、次の該当する項目を参照して対処してください。

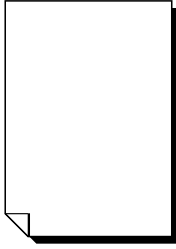
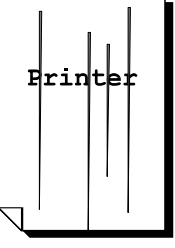
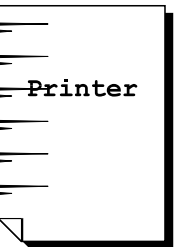
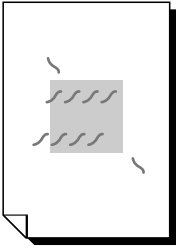
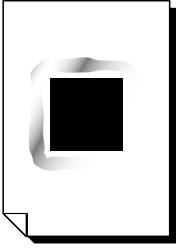
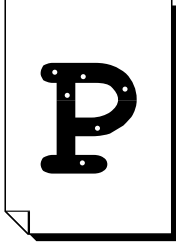
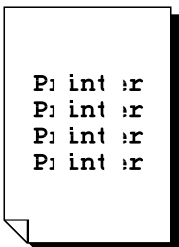
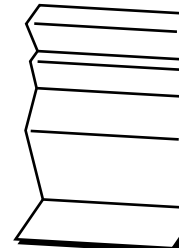
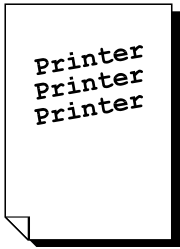
- 電源が入らない、たびたび切れる
- 印字品質が悪い
- 用紙が正しく送られない
- その他の異常

上記の各項目に該当する症状がない場合や、対処方法に従って処置しても解決できない場合は、プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。

⚠警告

機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災や感電のおそれがあります。

⚠注意

機械の保守および故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

4.2 電源が入らない、たびたび切れる

症状	チェック項目	対処方法
電源が入らない	プリンターの電源が切れていませんか。	電源スイッチの「|」側を押して電源を入れてください。
	電源コードが抜けている、またはゆるんでいませんか。	プリンターの電源を切り、電源コードを差し込み直してください。そのあとで、プリンターの電源を入れてください。
	正しい電圧（100V）のコンセントに接続していますか。	プリンターは、定格電圧 100V(ボルト) で、定格電流 15A 以上のコンセントに接続してください。 コンピューターの背面にあるコンセントには、接続できません。 参照 「安全にご利用いただくために」
たびたび電源が切れる	プリンターが故障している可能性があります。	プリンターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。
	電源コードが抜けている、またはゆるんでいませんか。	プリンターの電源を切り、電源コードを差し込み直してください。そのあとで、プリンターの電源を入れてください。

4.3 印字品質が悪い

症状	チェック項目	対処方法
何も印刷されない	一度に複数枚の用紙が搬送されていませんか。	用紙をいったん取り出し、よくさばいてください。そのあと、用紙をセットしてください。
	ドラムカートリッジが、劣化または損傷していませんか。	新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照 「6.2.2 ドラムカートリッジを交換する」
	トナーカートリッジは、正しくセットされていますか。	トナーカートリッジを正しくセットしてください。 参照 「6.1.2 トナーカートリッジを交換する」
	高圧電源の故障の可能性があります。	お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。
用紙全体が黒く印刷される	ドラムカートリッジが、劣化または損傷していませんか。	新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照 「6.2.2 ドラムカートリッジを交換する」
	高圧電源の故障の可能性があります。	お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。
印刷が薄い（かすれる） Printer	適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 参照 「3.1 用紙について」
	用紙が湿気を含んでいませんか。	新しい用紙と交換してください。 参照 「3.2 用紙のセット」
	ドラムカートリッジが、劣化または損傷していませんか。	新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照 「6.2.2 ドラムカートリッジを交換する」
	トナーカートリッジの交換時期ではないですか。	新しいトナーカートリッジに交換してください。 参照 「6.1.2 トナーカートリッジを交換する」

症状	チェック項目	対処方法
汚れの点が印刷される Printer	**適切な用紙を使用していますか。一度印刷した用紙や、インクジェット専用紙を使用していませんか。**	**使用できる用紙をセットしてください。** 参照 「3.1 用紙について」
	ドラムカートリッジが、劣化または損傷していませんか。	**新しいドラムカートリッジに交換してください。** 参照 「6.2.2 ドラムカートリッジを交換する」
黒線が印刷される Printer	**ドラムカートリッジが、劣化または損傷していませんか。**	**新しいドラムカートリッジに交換してください。** 参照 「6.2.2 ドラムカートリッジを交換する」
等間隔に汚れが起きる Printer	**用紙の搬送路に汚れが付着している可能性があります。**	**汚れを取るために数枚印刷してください。**
	ドラムカートリッジが、劣化または損傷していませんか。	**新しいドラムカートリッジに交換してください。** 参照 「6.2.2 ドラムカートリッジを交換する」

症状	チェック項目	対処方法
黒のハーフトーンの中や外にヒゲのようなものが印刷される 黒く塗りつぶされた部分の周りに影のようなものが印刷される	開封したまま長時間放置した用紙を使用していませんか(特に湿度が低い場合)。	新しい用紙と交換してください。 参照 「3.2 用紙のセット」
黒く塗りつぶされた部分に白点が現れる	適切な用紙を使用していますか。 折りめやシワが入った用紙を使用していませんか。	使用できる用紙をセットしてください。 参照 「3.1 用紙について」
	ドラムカートリッジが、劣化または損傷していませんか。	新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照 「6.2.2 ドラムカートリッジを交換する」
部分的に白抜けする	用紙が湿気を含んでいませんか。	新しい用紙と交換してください。 参照 「3.2 用紙のセット」
	適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 参照 「3.1 用紙について」

症状	チェック項目	対処方法
縦長に白抜けする	ドラムカートリッジは、正しくセットされていますか。	ドラムカートリッジを正しくセットしてください。 参照 「6.2.2 ドラムカートリッジを交換する」
	ドラムカートリッジが、劣化または損傷していませんか。	新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照 「6.2.2 ドラムカートリッジを交換する」
用紙にシワがつく	用紙が湿気を含んでいませんか。	新しい用紙と交換してください。 参照 「3.2 用紙のセット」
	適切な用紙を使用していますか。 反っている用紙を使用していませんか。	使用できる用紙をセットしてください。 参照 「3.1 用紙について」
	用紙トレイが外れていませんか。	用紙トレイを、プリンターの奥までしっかり押し込んでください。
	プリンターの内部に用紙の破片や異物が入っていませんか。	プリンターの電源を切り、プリンター内部の異物を取り除いてください。 プリンターを分解しないと取り除けない場合は、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。
	スペーサー（D）を取り外し忘れていませんか。	スペーサー（D）を取り外してください。 参照 「1.1.2 各部のスペーサーを取り外す」
文字がにじむ	用紙が湿気を含んでいませんか。	新しい用紙と交換してください。 参照 「3.2 用紙のセット」
	用紙トレイの用紙ガイドは、正しい位置にセットされていますか。	使用できる用紙をセットしてください。 参照 「3.1 用紙について」

症状	チェック項目	対処方法
斜めに印刷される **思った位置に印刷されない** Printer Printer Printer	**適切な用紙を使用していますか。**	**用紙トレイの縦の用紙ガイドと横の用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。** 参照 「3.2.1 用紙トレイに用紙をセットする」
	手差しトレイの用紙ガイドは、使用する用紙サイズの目盛りに合っていますか。	**手差しトレイの用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。** 参照 「3.2.2 手差しトレイに用紙をセットする」
	手差しトレイに幅が 12.2 インチ以下の用紙をセットしている場合、特 A3 用ガイドを起こしていますか。	**幅が 12.2 インチ以下の用紙を手差しトレイにセットするときは、特 A3 用ガイドを起こしてください。** 参照 「3.2.2 手差しトレイに用紙をセットする」

4.4 用紙が正しく送られない

症状	チェック項目	対処方法
用紙が送られない 紙づまりが起こる 用紙が重送される 用紙が斜めに送られる	**用紙を正しくセットしていますか。 特殊紙は、手差しトレイに正しくセットしていますか。**	**用紙を正しくセットしてください。 また、OHP フィルムやラベル紙、封筒などをセットする場合は、用紙の間に空気を入れるように、よく紙をさばいてください。** 参照 「3.2 用紙のセット」
	用紙が湿気を含んでいませんか。	**新しい用紙と交換してください。** 参照 「3.2 用紙のセット」
	適切な用紙を使用していますか。	**使用できる用紙をセットしてください。** 参照 「3.1 用紙について」
	用紙トレイ内の梱包材やシールを取り外し忘れていませんか。 特にスペーサー（E）を取り外し忘れていませんか。	**プリンターの電源を切り、プリンター内部を確認してください。** 参照 「1.1.1 各部のテープを取り外す」 「1.1.2 各部のスペーサーを取り外す」
	用紙トレイが外れていませんか。	**用紙トレイをプリンターの奥までしっかり押し込んでください。**
	用紙が詰まっていませんか。	**詰まった用紙を取り除いてください。 ローラーなどに付着した接着テープや、のりが原因になっていることもあります。プリンター内部をよく点検し、完全に取り除いてください。** 参照 「第 5 章　用紙が詰まったときには」
	プリンターは、水平な場所に設置していますか。	**プリンターを安定した平面の上に移動してください。** 参照 「安全にご利用いただくために」
	用紙トレイの用紙ガイドは、正しい位置にセットされていますか。	**用紙トレイの縦の用紙ガイドと横の用紙ガイドを、正しい位置にセットしてください。** 参照 「3.2.1 用紙トレイに用紙をセットする」

症状	チェック項目	対処方法
(前ページから) 用紙が送られない 紙づまりが起こる 用紙が重送される 用紙が斜めに送られる	手差しトレイに幅が 12.2 インチ以下の用紙をセットしている場合、特 A3 用ガイドを起こしていますか。	幅が 12.2 インチ以下の用紙を手差しトレイにセットするときは、特 A3 用ガイドを起こしてください。 参照 「3.2.2 手差しトレイに用紙をセットする」

4.5 その他の異常

症状	チェック項目	対処方法
異常な音がする	プリンターは、水平な場所に設置していますか。	プリンターを安定した平面の上に移動してください。 参照 「安全にご利用いただくために」
	用紙トレイが外れていませんか。	用紙トレイをプリンターの奥までしっかり押し込んでください。
	プリンターの内部に用紙の破片や異物が入っていませんか。	プリンターの電源を切り、プリンター内部の異物を取り除いてください。プリンターを分解しないと取り除けない場合は、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。

用紙が詰まったときには

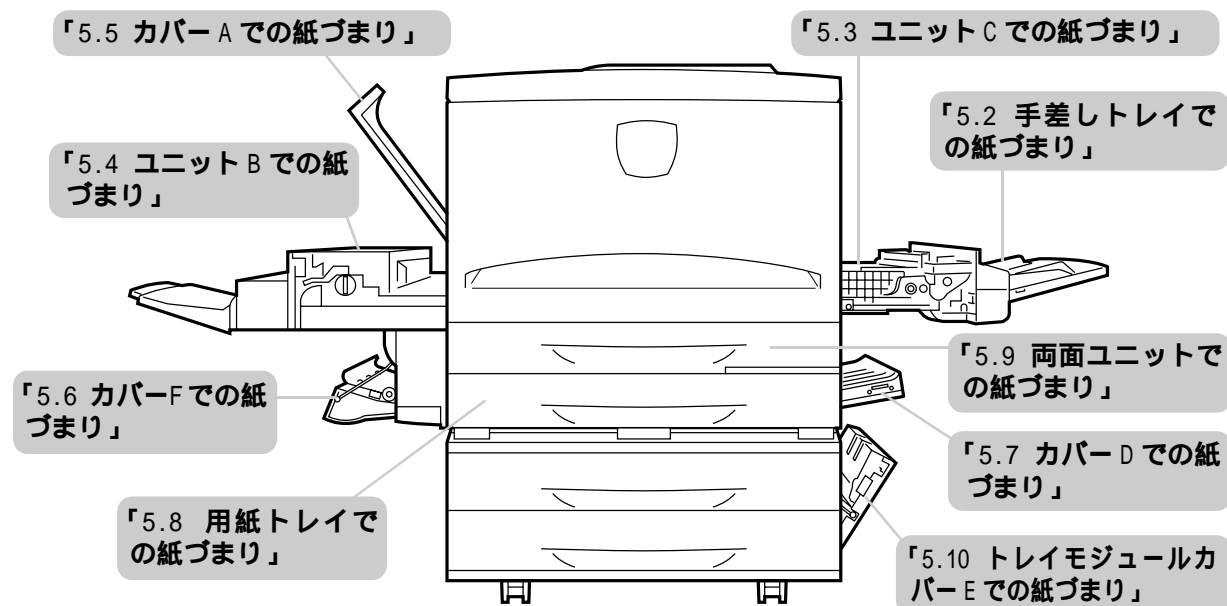
5.1 用紙が詰まったときには

プリンターに用紙が詰まったときは、以下の対処方法を参照して、すぐに用紙を取り除いてください。

注記

用紙が詰まった状態でプリンターを使用し続けると、故障の原因になります。すぐに用紙を取り除いてください。

補足

下の図は､オプションのトレイモジュール (2 段) と両面印刷モジュールを取り付けた場合を表しています。

⚠注意

- **つまった用紙を取り除くときは､機械内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください｡紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。**
  なお､紙片や用紙がヒーター部の見えない部分およびローラーに巻き付いているときは､無理に取らないでください｡ケガややけどの原因となるおそれがあります｡直ちに電源スイッチを切り､お買い求めの販売店またはプリンターサポートデスクに連絡してください。
- **「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。**

注記

- 万一、発煙をともなう紙づまりが発生したときは、カバーを開けずに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、またはプリンターサポートデスクにご連絡ください。
- 用紙を取り除くときは、用紙が破れないようにゆっくり引き抜いてください。

補足

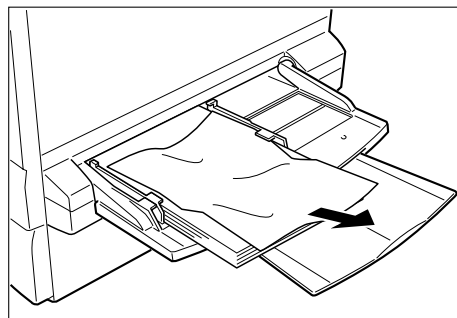
紙づまりには、プリンターの設置や用紙による原因が考えられます。用紙は、「3.1 用紙について」を参照して、適切なものを使用してください。

5.2 手差しトレイでの紙づまり

次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

処置手順

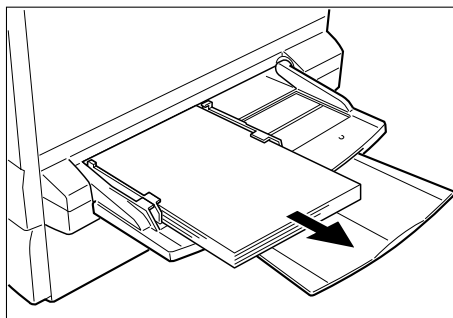
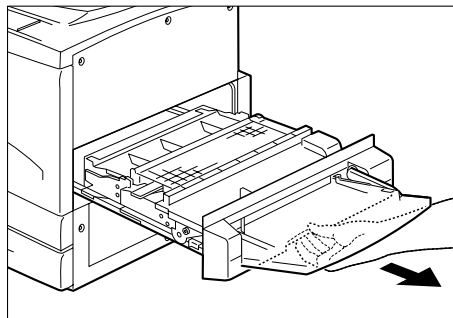
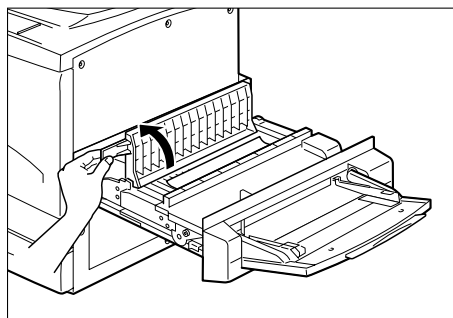
1 **手差しトレイから詰まっている用紙を取り除きます。**

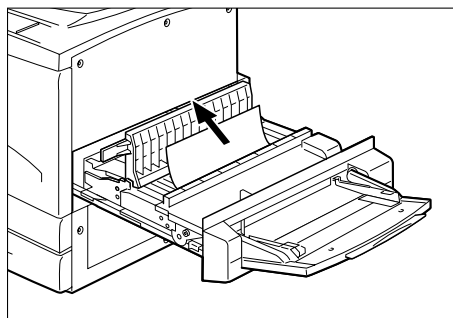
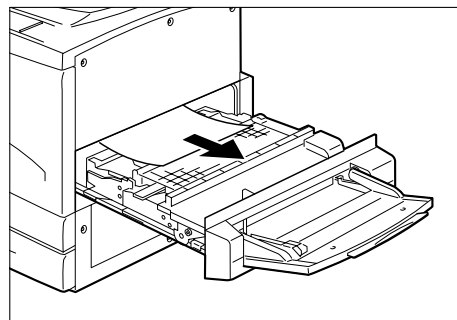
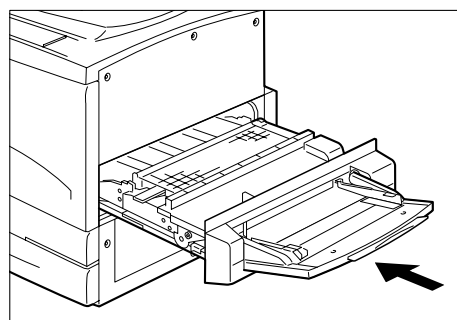
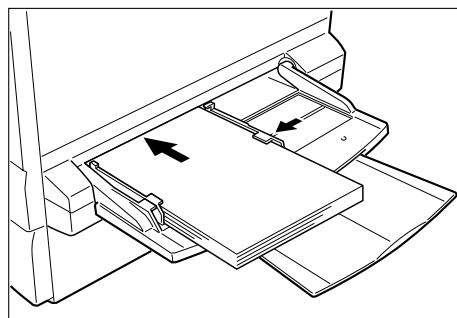
用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかどうかを確認してください。

2 **内部に用紙が残っている可能性があるので、次ページの「5.3 ユニット C での紙づまり」の操作を行ってください。**

5.3 ユニット C での紙づまり

次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

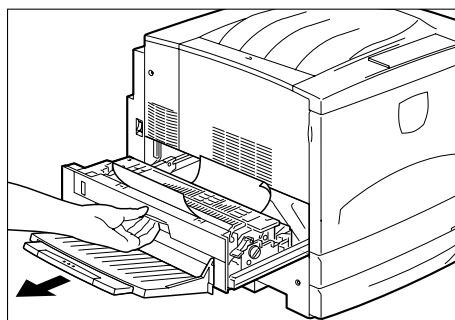
処置手順

1 **手差しトレイに用紙をセットしている場合は、用紙を取り除きます。**

2 **ユニット C を、止まるまでゆっくり引き出します。**

3 **取っ手を持ち上げて、カバーを開けます。**

4 **詰まっている用紙を引き出します。**

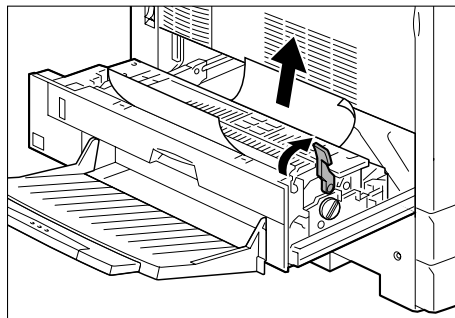
用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかどうかを確認してください。

5 カバーの中に用紙がない場合は、さらに奥をのぞいて、詰まっている用紙を取り除いてください。

6 カバーを閉じ､ユニットCをプリンターの奥までしっかり押し込みます。

7 手差しトレイに用紙をセットしていた場合は、用紙をセットし直します。

5.4 ユニット B での紙づまり

次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

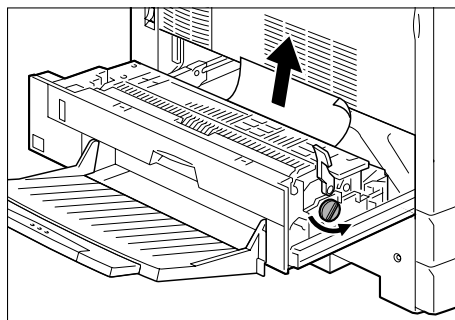
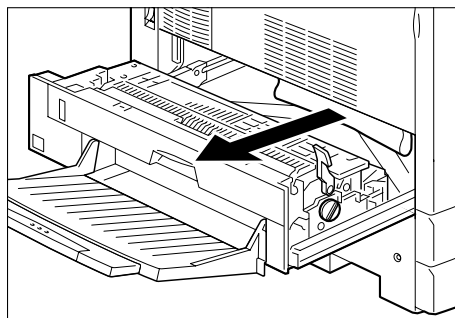
処置手順

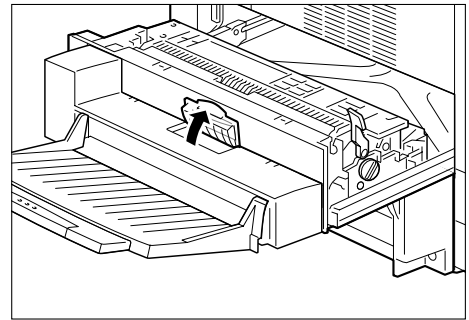
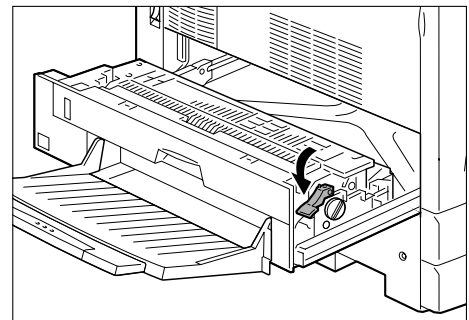
1 **ユニット B を、止まるまでゆっくり引き出します。**

2 **用紙が見えている場合は、ニップレバー (緑色のレバー) を起こし、詰まっている用紙を引き出します。**

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかどうかを確認してください。

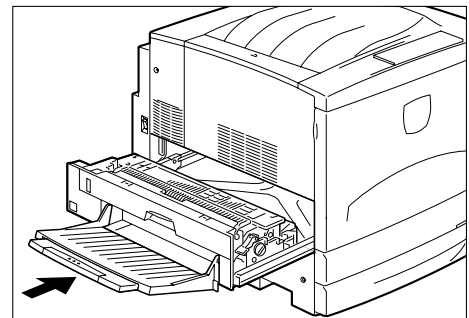
注記
フューザー (定着部) は高温になっています。直接触れると、やけどの原因になるおそれがあります。十分に注意してください。

3 **用紙が見えていない場合は、緑色のノブを矢印の方向に回し、用紙を矢印の方向に引き出します。**

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかどうかを確認してください。

注記
フューザー (定着部) は高温になっています。直接触れると、やけどの原因になるおそれがあります。十分に注意してください。

4 **さらに機械内部をのぞいて、詰まっている用紙を取り除いてください。**

5 **両面印刷モジュールを取り付けている場合は、図の透明なカバーを開けて、用紙が残っていないかどうかを確認してください。**

用紙が見つかった場合は、以降の操作は行わず、次ページの「カバーの中に用紙が見つかったときは」に進んでください。

6 **ニップレバーを元に戻します。**

7 **ユニット B を、プリンターの奥までしっかり押し込みます。**

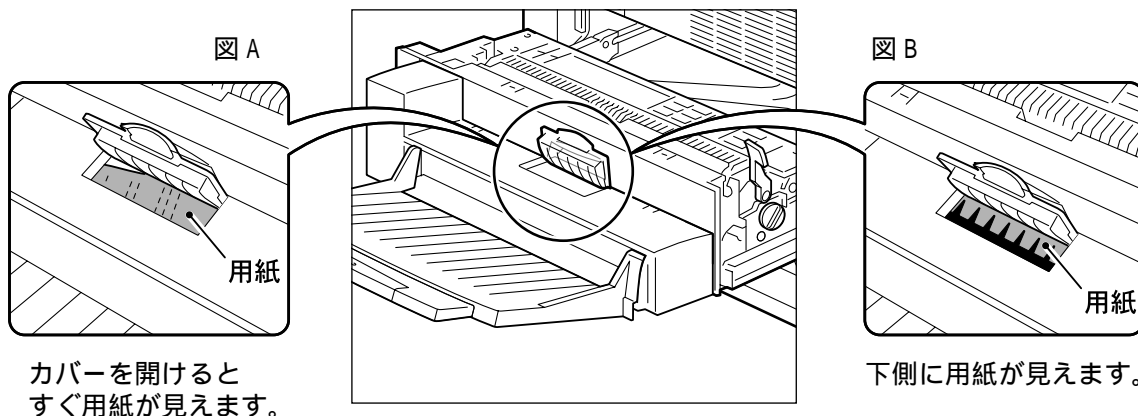
8 **用紙が見つからない場合は、「5.5 カバー A での紙づまり」の操作を行ってください。**

また、両面印刷モジュールを取り付けている場合は、カバー F 内に用紙が詰まっている可能性もあります。「5.6 カバー F での紙づまり」の操作も行ってください。

カバーの中に用紙が見つかったときは

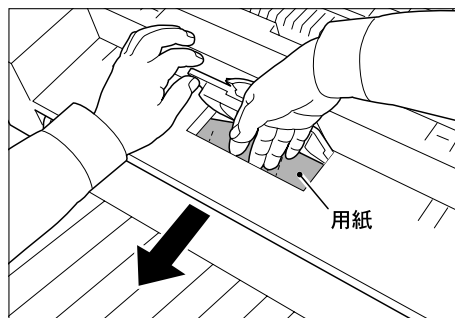
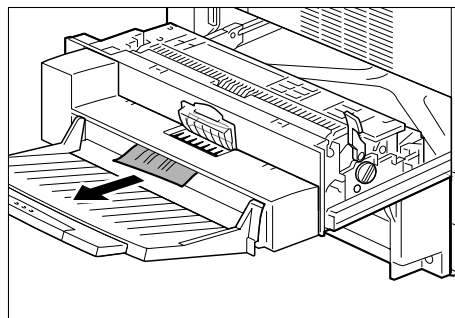
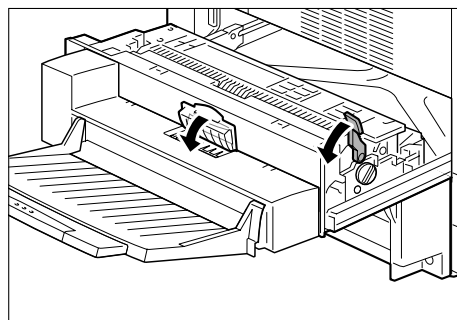
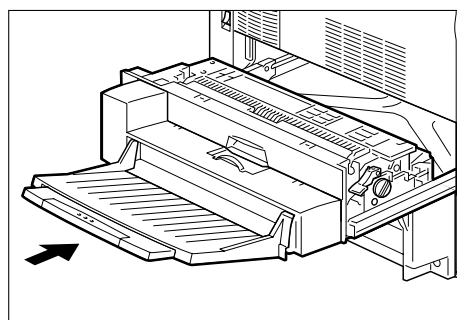
用紙が詰まっている場所に応じて、次の操作を行ってください。

- 図 A の状態で用紙がある場合→「はがきなどの小さい用紙を取り除く」(P.68)
- 図 B の状態で用紙がある場合→「ユニット B の下側の用紙を取り除く」(P.70)

カバーを開けると
すぐ用紙が見えます。

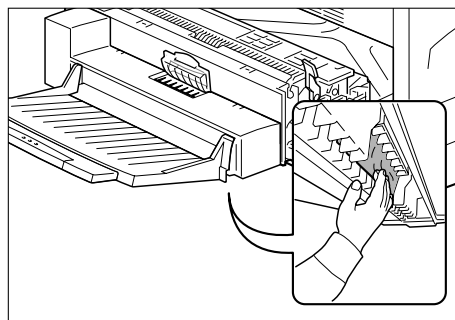
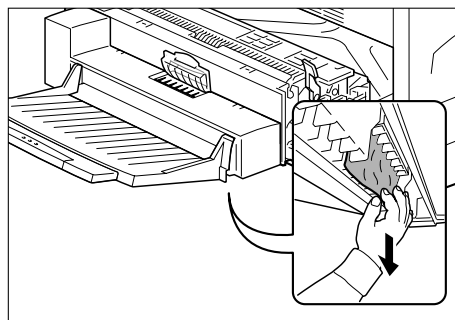
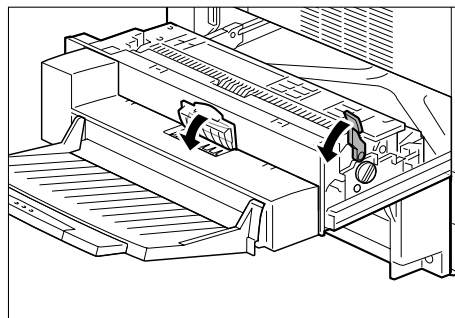
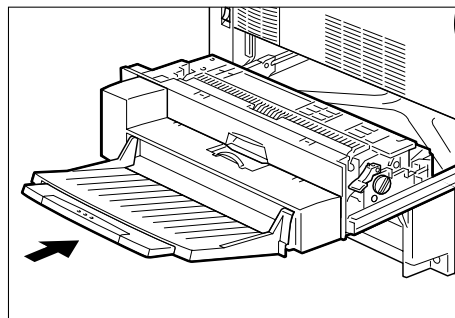
下側に用紙が見えます。

■はがきなどの小さい用紙を取り除く

処置手順

1 カバーを閉じないように軽く手で押さえながら、指で用紙を排出方向に掻き出します。

2 用紙を矢印の方向に引き出します。

3 **カバーとニップレバーを元に戻します。**

4 **ユニット B を、プリンターの奥までしっかり押し込みます。**

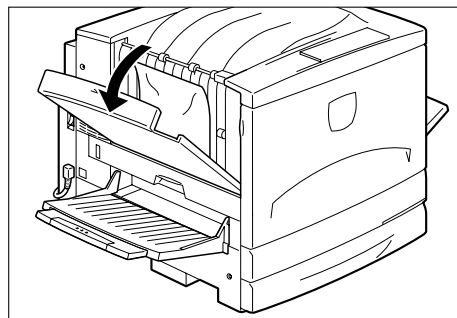
■ユニット B の下側の用紙を取り除く

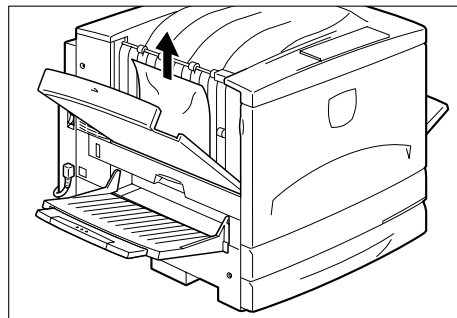
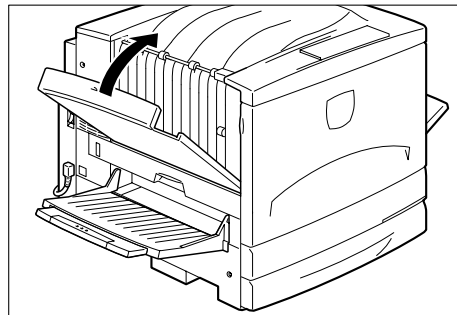
処置手順

1 カバーを開けたまま、ユニット B の下側に手を入れ、図の部分に用紙がないかどうかを確認します。

2 用紙を下へ引っ張り、取り除きます。

3 カバーとニップレバーを元に戻します。

4 ユニット B を、プリンターの奥までしっかり押し込みます。

5.5 カバー A での紙づまり

次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

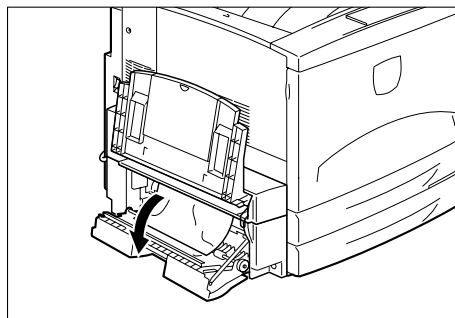
処置手順

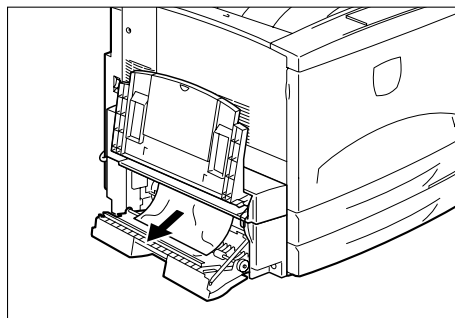
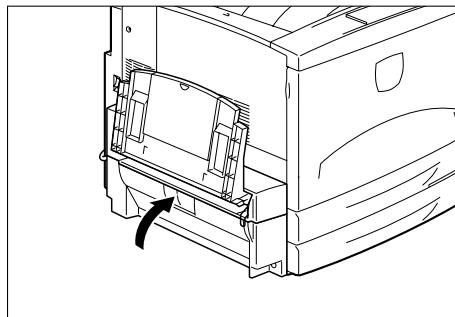
1 **カバー A を開けます。**

2 **詰まった用紙を取り除きます。**

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかどうかを確認してください。

3 **カバー A を閉じます。**

5.6 カバー F での紙づまり

次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

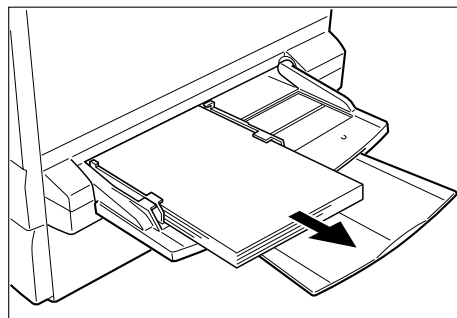
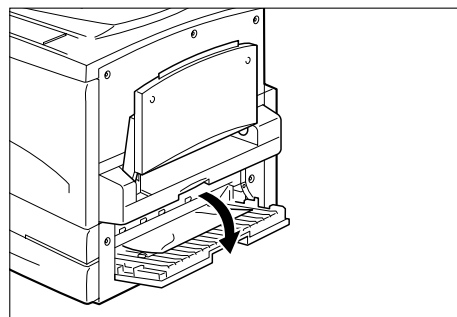
処置手順

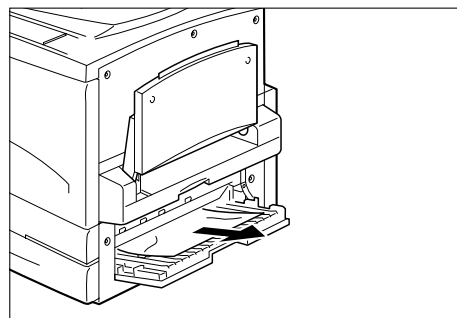
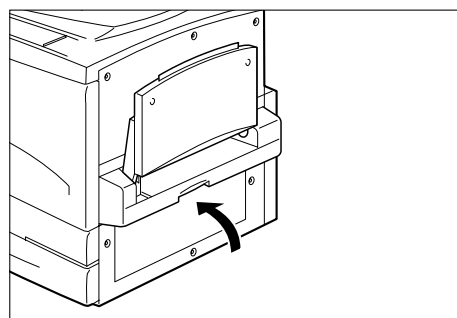
1 **カバー F を開けます。**

2 **詰まった用紙を取り除きます。**

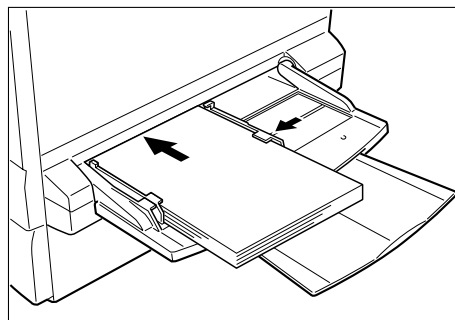
用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかどうかを確認してください。

3 **カバー F を閉じます。**

5.7 カバーDでの紙づまり

次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

処置手順

1　手差しトレイに用紙をセットしている場合は、用紙を取り除いてから、手差しトレイを折りたたみます。

2　カバーDを開けます。

3　詰まっている用紙を引き出します。

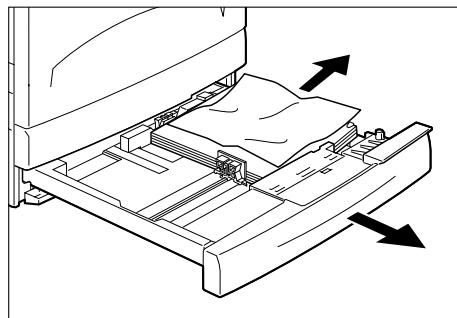
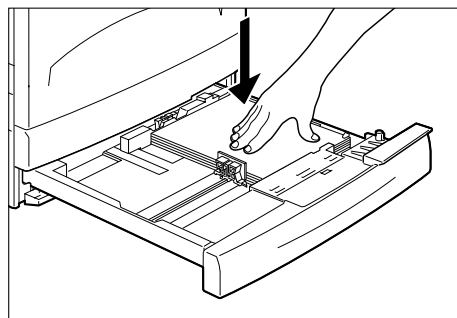
用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかどうかを確認してください。

4　カバーDを閉じます。

5 手差しトレイに用紙をセットしていた場合は、用紙をセットし直します。

6 用紙が見つからない場合は、用紙トレイの中に詰まっている場合があります。次のページの「5.8 用紙トレイでの紙づまり」の操作を行ってください。

5.8 用紙トレイでの紙づまり

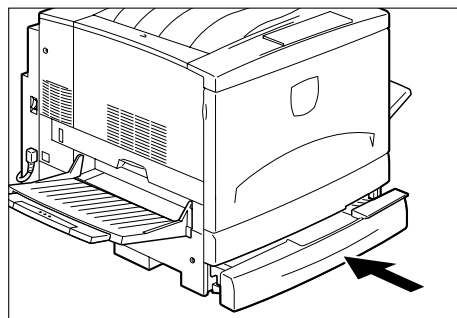
次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

処置手順

1 **用紙トレイを、止まるまでゆっくり引き出し、詰まっている用紙やシワになっている用紙を取り除きます。**

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかどうかを確認してください。

2 **用紙トレイの、金属の底板を手で下げて、上に浮き上がらないように固定します。**

3 **用紙トレイを、奥に突き当たるまでゆっくり押し込みます。**

注記

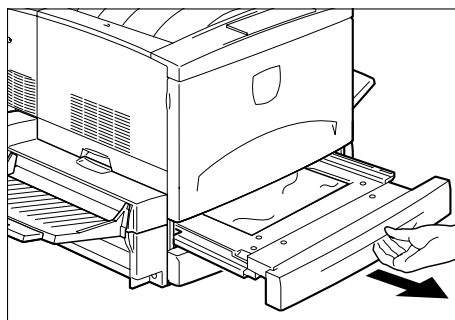
用紙トレイを、無理な力で勢いよく押し込みすぎないようにしてください。

5.9 両面ユニットでの紙づまり

カバーＦ とカバーＤ で用紙が詰まっていない場合は、両面ユニットの中を確認します。次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

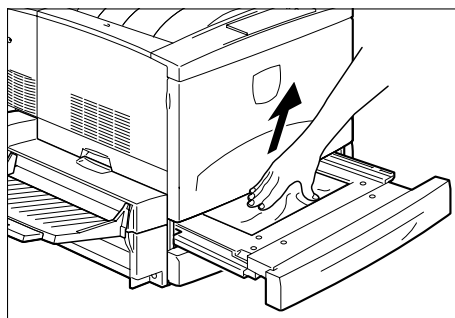
注記

両面ユニットを引き出す場合は、事前に必ずカバーＦ とカバーＤ を開け、用紙が詰まっていないことを確認してください。

処置手順

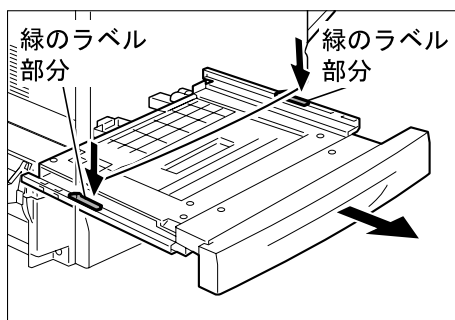
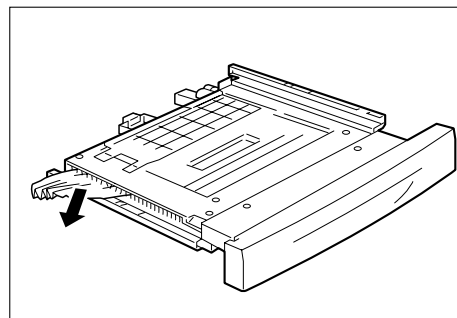
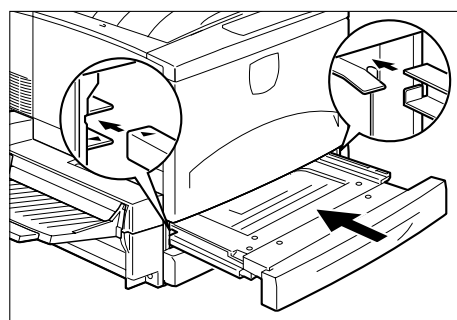
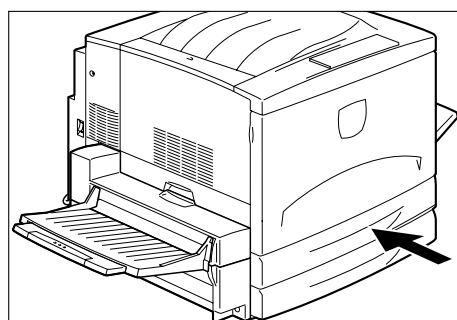
1 **両面ユニットを、止まるまでゆっくり引き出します。**

2 **詰まっている用紙やシワになっている用紙を、つまんで引き抜きます。**

両面ユニットの端に詰まった用紙があり、引き抜けない場合や用紙が破れた場合には、次に進んでください。

用紙を取り除けた場合は、手順6に進んでください。

3 **用紙が破れた場合は、両面ユニットの左右にある、緑のラベル部分を押しながら、両面ユニットを引き抜きます。**

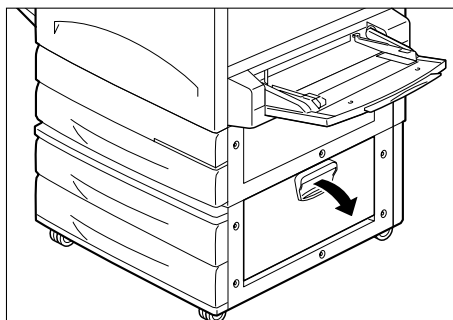
緑のラベル部分が押しにくいときは、両面ユニットを 5㎜ くらい奥に戻してから、緑のラベル部分を押し直してください。

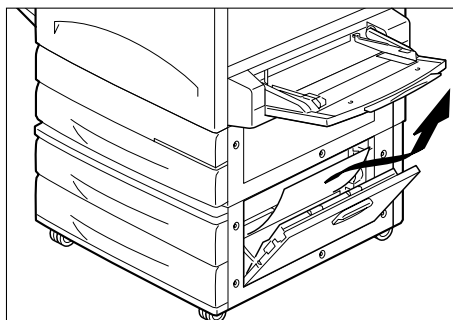
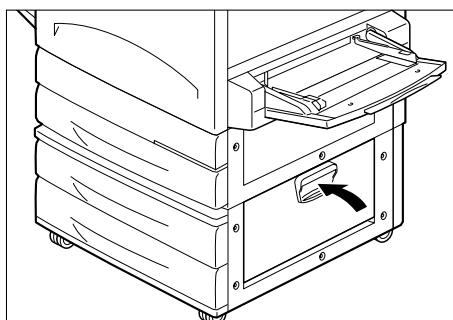
注記

両面ユニットを、落とさないように注意してください。

4 詰まっている用紙を取り除きます。

5 両面ユニットを両手で持ち、左右のガイドをプリンター本体のレールに合わせて、差し込みます。

6 両面ユニットを、奥に突き当たるまでゆっくり押し込みます。

5.10 トレイモジュールカバーE での紙づまり

次の手順で詰まった用紙を取り除いてください。ここでは、トレイモジュール (2 段) の例で説明します。

処置手順

1 **トレイモジュール右側面のカバー E を開けます。**

2 **詰まった用紙を取り除きます。**

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかどうかを確認してください。

3 **カバー E を閉じます。**

消耗品の交換と日常の取り扱い

6.1 トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジには、ブラック、イエロー、シアン、マゼンタの 4 種類があります。トナーカートリッジの交換を促すメッセージが表示されたら、新しいトナーカートリッジと交換してください。

注記
トナーカートリッジの交換を促すメッセージが表示されたら、早めに新しいカートリッジを用意し、交換してください。画像密度が高い文書を印刷するなど、使用条件によっては、このメッセージが表示されたあと、数枚から数十枚出力したところで機械が停止します。

参照
トナーカートリッジは消耗品です。消耗品については、「付録 A オプション品と消耗品の紹介」を参照してください。
また、消耗品の交換時期については、「付録 C 消耗品の寿命」を参照してください。

6.1.1 トナーカートリッジの取り扱い上の注意

⚠警告
使用済みのトナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

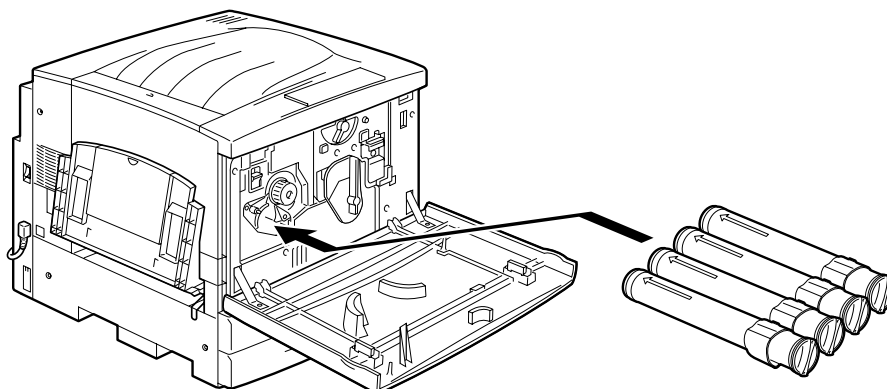
取り扱い上の注意

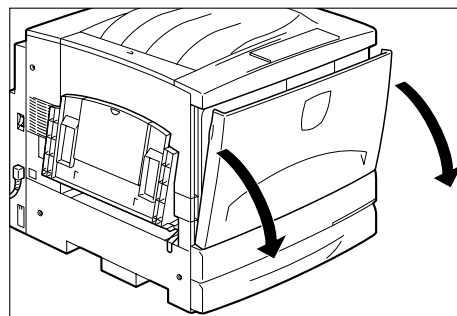
- **一度プリンターから取り外したトナーカートリッジは、再使用しないでください。画質不良やトナー汚れの原因になります。**
- **取り外したトナーカートリッジを振ったり、たたいたりしないでください。残ったトナーがこぼれることがあります。**
- **寒いところから暖かいところに移動した場合は、1 時間以上室温に慣らしてから使用してください (結露がなければ使用可能です)。**
- **トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときには、すぐに洗い流してください。**
- **弊社が推奨していないトナーカートリッジを使用した場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。このプリンターには、弊社が推奨するトナーカートリッジを使用してください。**

保管上の注意

- **直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。**
- **温度範囲 0 〜 35 ℃、湿度範囲 15 〜 80%RH(ただし、結露のないこと)**
- **高温多湿になる場所には置かないでください。**
- **CRT 画面、ディスククドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。**
- **幼児の手の届かないところに保管してください。**

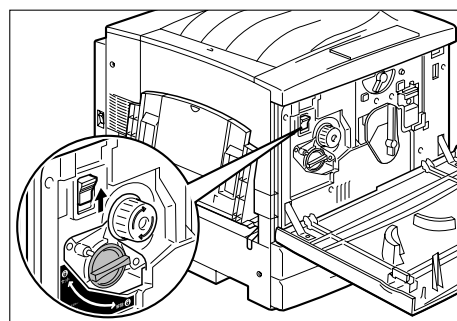
6.1.2 トナーカートリッジを交換する

手順は次のとおりです。

操作手順

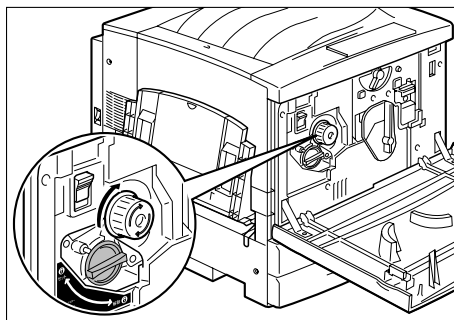
1 **フロントカバーを開けます。**

2 **交換したい色のトナーカートリッジが取り出し口にある場合は、手順 5 に進んでください。**

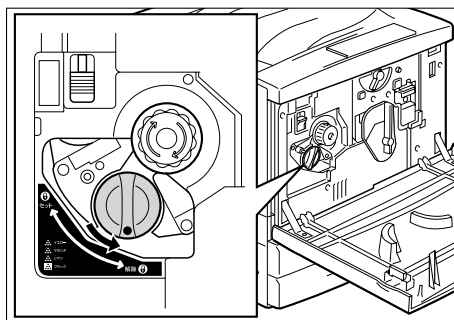
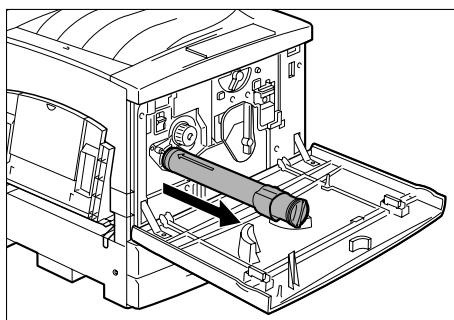
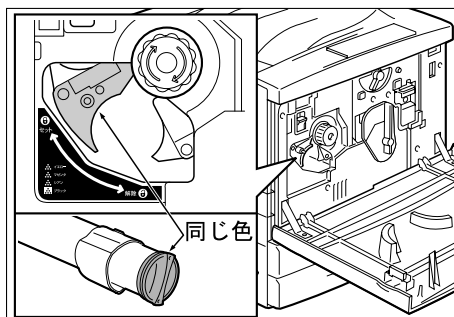
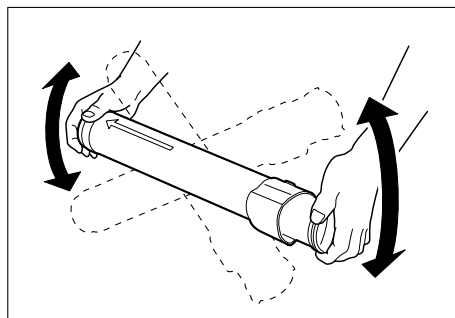
交換したい色のトナーカートリッジが取り出し口にない場合は、回転防止スイッチを「カチッ」と音がするまで押し上げ、手を離します。

注記

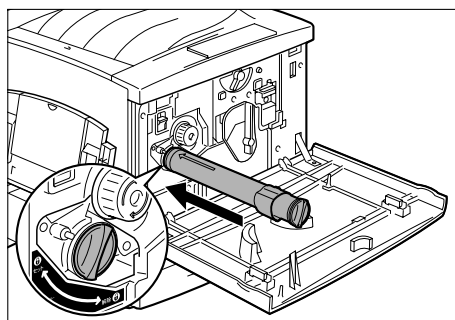
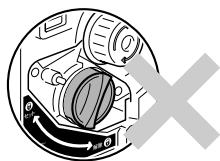
回転防止スイッチを押し上げたら、手を離してください。回転防止スイッチは、次の手順でノブを回すと自動的に下がるしくみになっています。

3 ノブを、図の矢印の方向に止まるまで回して、トナーカートリッジを移動させます。

補足

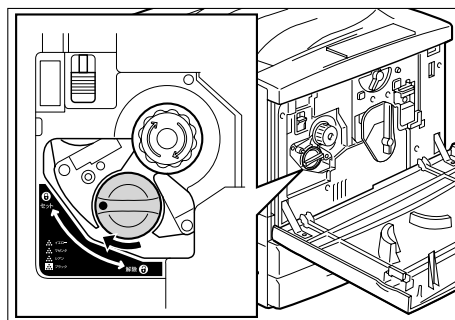
ノブを回すと、「カチッ」と音がして回転防止スイッチが下がります。

4 取り出したい色のトナーカートリッジが取り出し口にくるまで、手順2～3の操作を繰り返します。

5 取り出したい色のトナーカートリッジが取り出し口にきたら、トナーカートリッジを図の矢印の方向に回し、カートリッジ側の「●」印をプリンター側の「解除」( ) に合わせます。

6 トナーカートリッジを手前に引いて、取り出します。

7 同色の新しいトナーカートリッジを梱包箱から取り出します。

8 **図のように 7 ～ 8 回振り、中のトナーを均一にします。**

9 **トナーカートリッジの先端部の矢印を上にして、奥に突き当たるまでしっかり差し込みます。**

注記

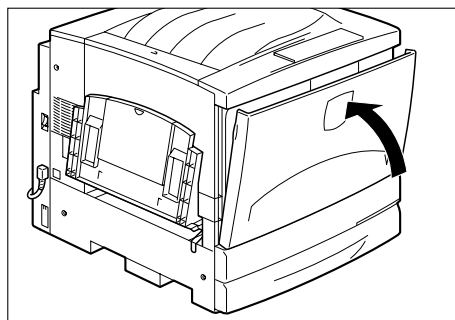
トナーカートリッジは、必ず突き当たるまで差し込んでください。しっかり差し込まないで操作すると、故障の原因になります。

10 **トナーカートリッジを押しながら図の矢印の方向に止まるまで回し、トナーカートリッジ側の「●」印をプリンター側の「セット」(🔒) に合わせます。**

注記

トナーカートリッジを最後までしっかり回さないと、トナーがこぼれることがあります。

11 **フロントカバーを閉じます。**

12 **交換後、不要になったトナーカートリッジは、空になった梱包箱に入れます。**

トナーカートリッジに同梱されているシートの内容に従って、弊社あてに返送してください。

⚠警告

使用済みのトナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。
粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

6.2 ドラムカートリッジの交換

ドラムカートリッジは、ドラム (感光体)、ドラムクリーナー、トナー回収カートリッジで構成されています。
ドラムカートリッジの交換を促すメッセージが表示されたら、新しいドラムカートリッジと交換してください。

補足
トナー回収カートリッジは、単体でも取り替えることができます。トナー回収カートリッジ単体を交換する手順は、「6.3.2 トナー回収カートリッジを交換する」を参照してください。

参照
ドラムカートリッジやトナー回収カートリッジは消耗品です。消耗品については、「付録A オプション品と消耗品の紹介」を参照してください。
また、消耗品の交換時期については、「付録C 消耗品の寿命」を参照してください。

6.2.1 ドラムカートリッジの取り扱い上の注意

⚠警告
使用済みのドラムカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

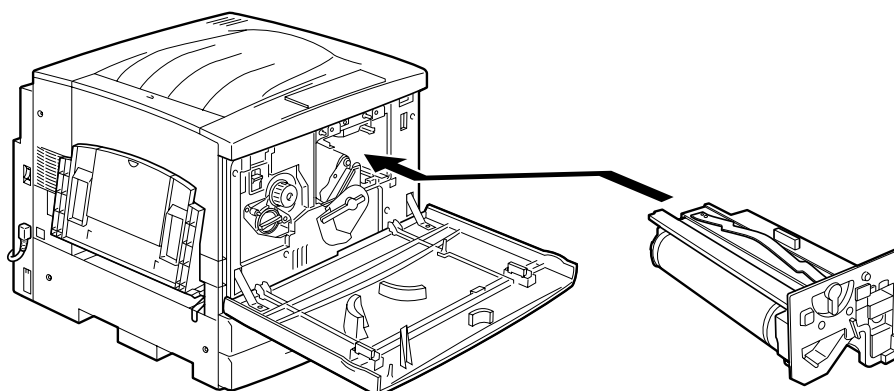
取り扱い上の注意

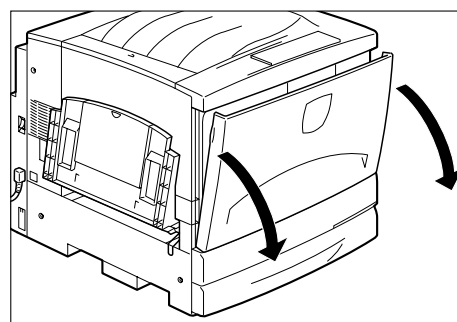
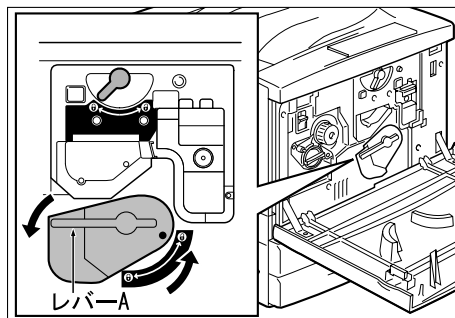
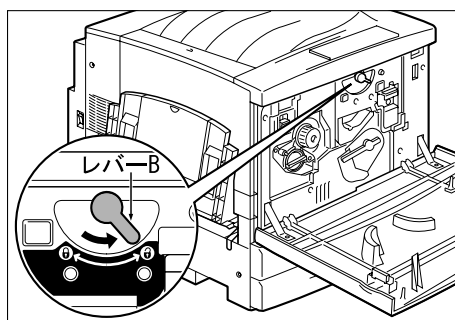
- **ドラムの表面(青色の部分)は手で触らないでください。ドラムの表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。ドラムの表面に傷や手の脂、汚れなどがつくと、印刷写りが悪くなります。**
- **ドラムカートリッジを直射日光に当てないでください。また、室内蛍光灯にもなるべく当てないようにしてください。印字が汚れたり、写らない箇所が発生します。**
- **ドラム面に傷が付かないように、ドラムカートリッジの交換作業は平らな机の上で行ってください。**
- **トナー回収カートリッジに回収したトナーは、再利用しないでください。**
- **トナーがいっぱいになって取り出したトナー回収カートリッジは、再度ドラムカートリッジ内に戻して使用しないでください。内部のトナーがこぼれるなど故障の原因になります。**
- **使用中のドラムカートリッジやトナー回収カートリッジを一時的に取り出して、傾けたり振ったりしないでください。内部のトナーがこぼれるなど故障の原因になります。**
- **弊社が推奨していないドラムカートリッジを使用した場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。このプリンターには、弊社が推奨するドラムカートリッジを使用してください。**
- **印刷画質を維持するために、ドラムカートリッジは水平にした状態で取り扱ってください。**

保管上の注意

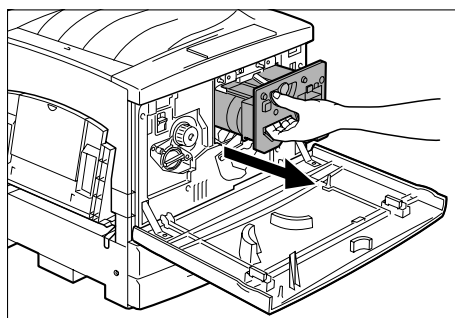
- 使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れ、保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
- 温度範囲 0 ～ 35 ℃、湿度範囲 15 ～ 80%RH(ただし、結露のないこと)
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。
- 水平にした状態で保管してください。

6.2.2 ドラムカートリッジを交換する

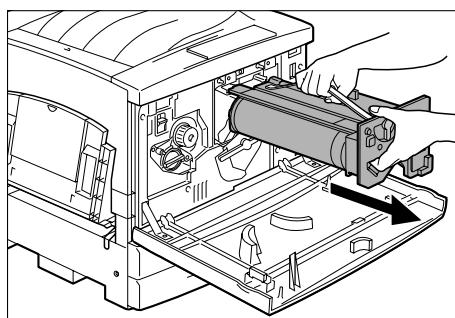
手順は次のとおりです。

操作手順

1 フロントカバーを開けます。

2 **オレンジ色のレバーA を図の矢印の方向に回し、「●」印を解除位置（🔓）に合わせます。**

3 **オレンジ色のレバーB を図の矢印の方向に回し、解除位置（🔓）に合わせます。**

4 **引き出し用の溝に手を入れ、ドラムカートリッジを手前にゆっくりと引き出します。**

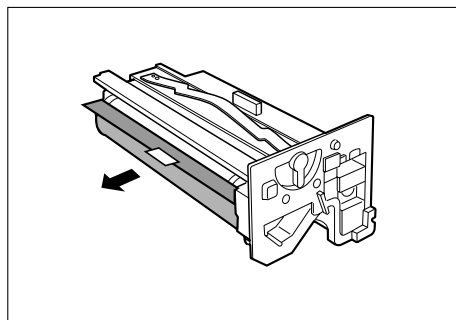
注記

ドラムカートリッジを引き出すとき、指が挟まれないように注意してください。

5 **上部の取っ手を持ち、さらにドラムカートリッジを手前に引いて、プリンターから取り出します。**

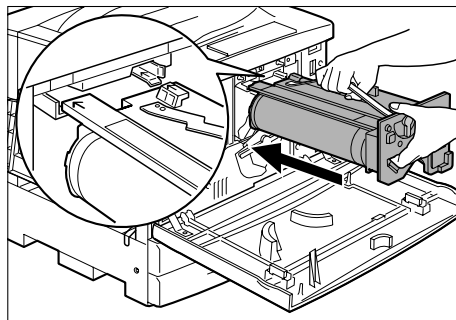
注記

ドラムカートリッジを落とさないように、必ず上部の取っ手を持ってください。

6 新しいドラムカートリッジを梱包箱から取り出し、カートリッジを覆っている保護シートを､､紙テープの部分をはがしてから取ります。

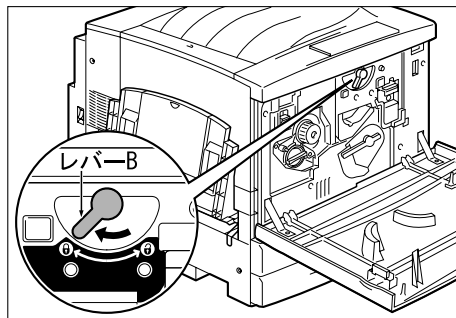
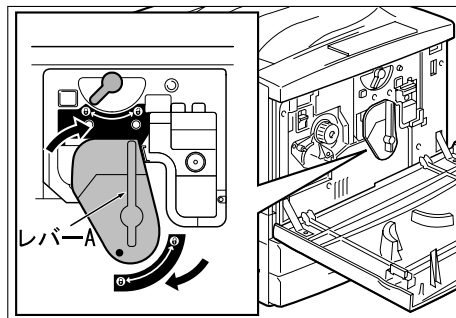
注記

- ドラムの表面(青色)は手で触らないでください。ドラムの表面に物をぶつけたり､こすったりしないでください。ドラムの表面に傷や手の脂、汚れなどがつくと、印刷写りが悪くなります。
- 保護シートは､ドラムカートリッジを水平にした状態で、はがしてください。

7 ドラムカートリッジの取っ手を持ち、左右のガイドをプリンター本体のレールに載せて、プリンターの奥までしっかり押し込みます。

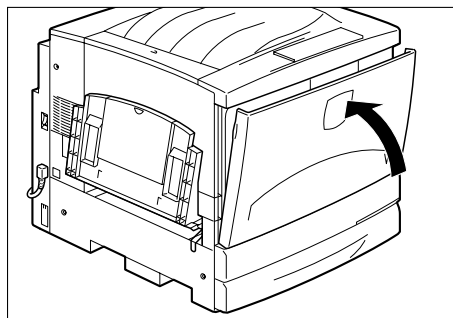
注記

- ドラムカートリッジのガイドがきちんとレールに載っていない状態で挿入すると､カートリッジの破損の原因になります。
- ドラムの表面(青色)がほかの部品に接触しないように注意してください。

8 レバーB を図の矢印の方向に回し､セット位置 ( ) に合わせます。

注記

ドラムカートリッジが奥まで押し込まれていないと、レバーは回りません。

9 レバーA を図の矢印の方向に回し､「●」印をセット位置 ( ) に合わせます。

10 フロントカバーを閉じます。

注記

レバーA、Bが正しいセット位置に合っていないと、フロントカバーを閉じることができません。フロントカバーを閉じることができない場合は、レバーA、Bがセット位置に合っているかどうかを確認してください。

11 交換後、不要になったドラムカートリッジは、空になった梱包箱に入れます。

ドラムカートリッジに同梱されているシートの内容に従って、弊社あてに返送してください。

⚠警告

使用済みのドラムカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。
粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

6.3 トナー回収カートリッジの交換

トナー回収カートリッジは、ドラムカートリッジに付属しているため、ドラムカートリッジ交換時には必ず新品と交換されますが、ドラムカートリッジの交換時期が来る前に、トナー回収カートリッジがトナーでいっぱいになった場合は、トナー回収カートリッジ単体で交換できます。トナー回収カートリッジの交換を促すメッセージが表示されたら、新しいトナー回収カートリッジと交換してください。

参照

トナー回収カートリッジは消耗品です。消耗品については、「付録A オプション品と消耗品の紹介」を参照してください。
また、消耗品の交換時期については、「付録C 消耗品の寿命」を参照してください。

6.3.1 トナー回収カートリッジの取り扱い上の注意

⚠警告

使用済みのトナー回収カートリッジを、絶対に火中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

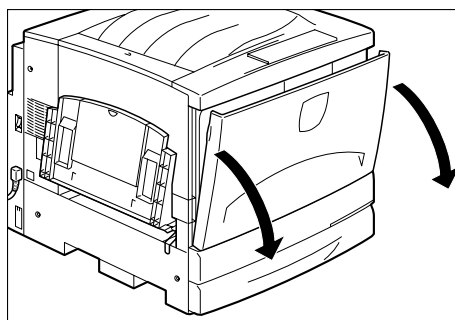
取り扱い上の注意

- **トナー回収カートリッジに回収したトナーは、再利用しないでください。**
- **トナーがいっぱいになって取り出したトナー回収カートリッジは、再度ドラムカートリッジ内に戻して使用しないでください。内部のトナーがこぼれるなど故障の原因になります。**
- **使用中のドラムカートリッジやトナー回収カートリッジを一時的に取り出して、傾けたり振ったりしないでください。内部のトナーがこぼれるなど故障の原因になります。**

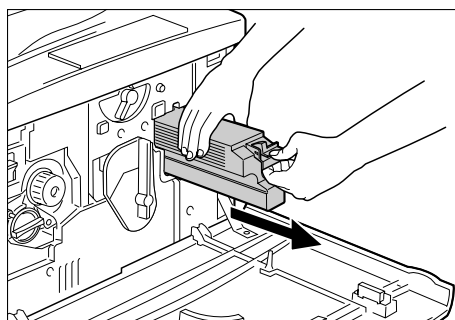
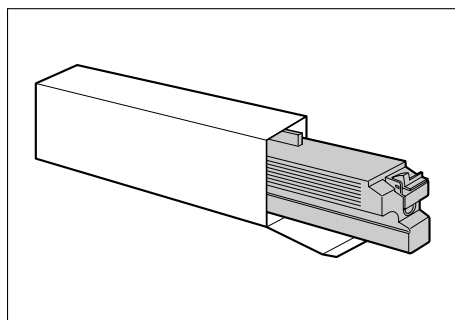
6.3.2 トナー回収カートリッジを交換する

手順は次のとおりです。

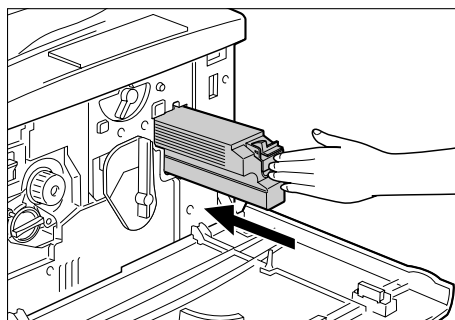
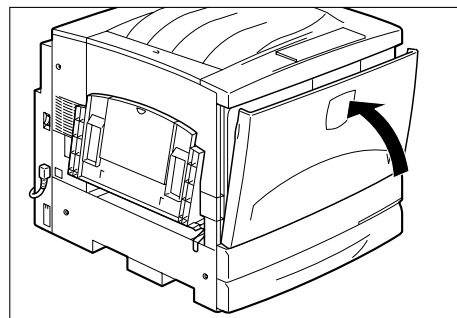
操作手順

1 **フロントカバーを開けます。**

2 **トナー回収カートリッジの取っ手をつまみながらゆっくりと手前に引き、プリンター本体から取り出します。**

注記

- 取っ手のつまみをしっかり押し下げてから抜いてください。
- ゆっくりと取り出さないと、トナーがこぼれます。

3 **新しいトナー回収カートリッジを梱包箱から取り出します。**

4 **トナー回収カートリッジを、「カチッ」と音がするまでプリンターの奥にしっかり押し込みます。**

注記

取っ手のつまみを押さえずに、押し込んでください。

5 フロントカバーを閉じます。

6 交換後、不要になったトナー回収カートリッジは、空になった梱包箱に入れます。

トナー回収カートリッジに同梱されているシートの内容に従って、弊社あてに返送してください。

> ⚠警告
> **使用済みのトナー回収カートリッジを、絶対に火中に投じないでください。**
> **粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。**

6.4 清掃について

プリンターを良好な状態に保ち、きれいな印刷ができるように、約 1 か月に 1 回、プリンター外部を清掃してください。

⚠注意

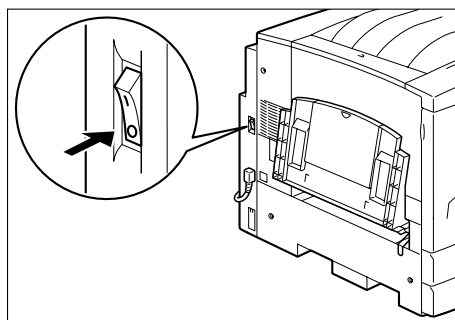
機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

清掃時の注意

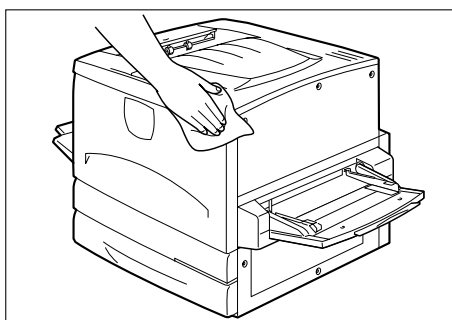
- 洗剤を直接プリンターに向けてスプレーしないでください。スプレー液が隙間から内部に入り込み、トラブルの原因になることがあります。また、中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。
- プリンター内部の部品には、絶対に注油しないでください。このプリンターには注油の必要はありません。
- このプリンターは、カバーやユニットを開けて内部を清掃する必要はありません。

プリンター外部の清掃

操作手順

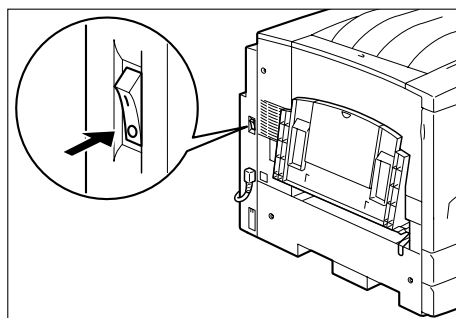
1 **プリンター本体左側面にある電源スイッチの「O」側を押して電源を切ります。**

2 **外部の汚れは、水でぬらしてよくしぼった柔らかい布でふきます。**

汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めた中性洗剤を少量含ませて、軽くふいてください。

3 **柔らかい布で水分をふき取ります。**

6.5 長期間使用しないときには

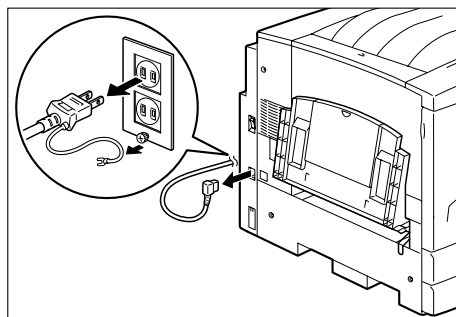
長期間、プリンターを使用しないときには、必ず次の作業を行ってください。

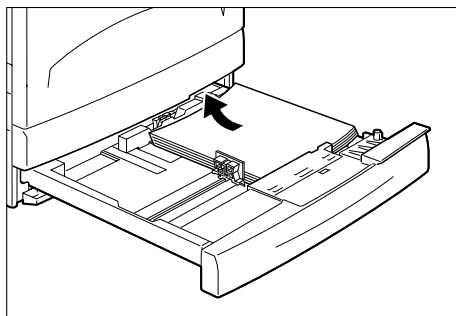
操作手順

1 **プリンター本体左側面にある電源スイッチの「O」側を押して電源を切ります。**

2 **電源コード、およびインターフェイスケーブルなど、すべての接続コードを外します。**

⚠警告

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

⚠注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

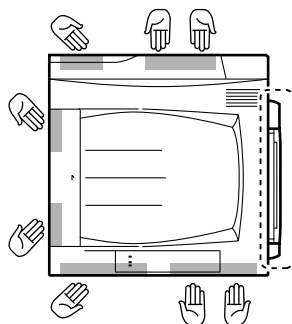
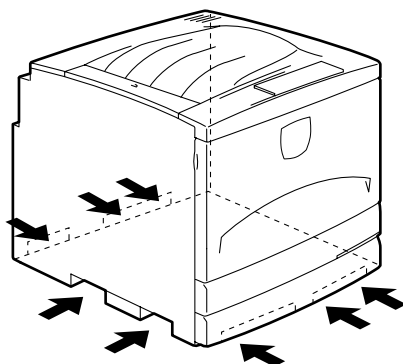
3 **用紙トレイから用紙を取り出し、湿気やホコリのない場所に保管します。**

6.6 プリンターを移動するときには

ここでは、プリンターをトラックで長距離運搬するなど、大きな振動を伴う場合の移動手順について説明します。

注記
このプリンターは重量物であるため、プリンターの持ち運びは重量物運搬取り扱い業者に、必ず依頼してください。

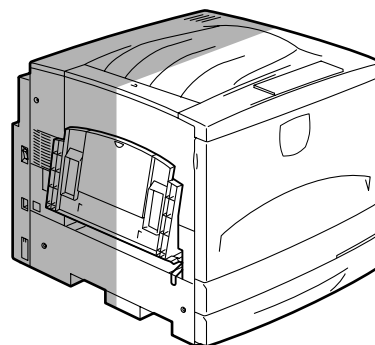
6.6.1 やむをえずプリンターを持ち運ぶときの注意

必ず 4 人以上で持ち運んでください

⚠注意
- プリンターの重さは、消耗品、用紙カセット（用紙を含む）がセットされている状態で 75.8kg です。このプリンターは重量物であるため、プリンターの持ち運びは重量物運搬取り扱い業者に、必ず依頼してください。やむをえずプリンターを持ち運ぶ場合は、必ず 4 人以上で持ち運んでください。
- やむをえずプリンターを持ち上げるときは、プリンター正面に向かって、前後両側と左側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。このくぼみ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。落下によるケガの原因となるおそれがあります。
- やむをえずプリンターを持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。

水平にして持ち運んでください

プリンターを前後、左右方向に 10 ° 以上傾けないでください。プリンター内部の消耗品がこぼれるなど故障の原因になります。

プリンターの重さについて

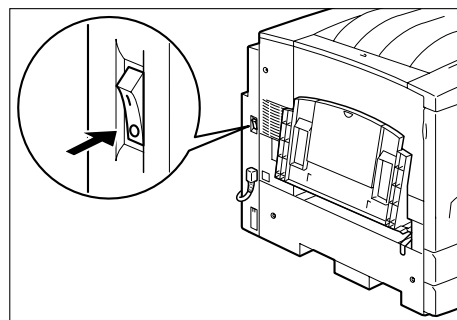
本プリンターは、フロントカバー側よりも背面側のほうが重くなっています。運搬時には、重さの違いに注意してください。

6.6.2 プリンターを移動する

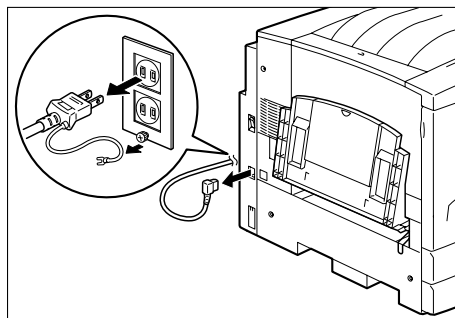
プリンターを梱包するためには、設置時に取り外したスペーサー B、C、D、E、F が必要です。保管しておいたスペーサーを準備したうえで、次の手順に従ってください。

注記

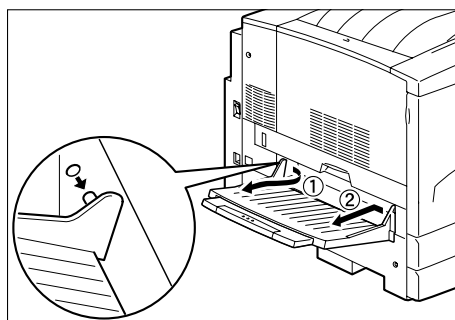
- 移動のとき、取り外したトナーカートリッジを再度取り付けることはしないでください。内部のトナーがこぼれるなど故障の原因になります。
- オプションのトレイモジュールや専用キャビネットを取り付けている場合は、プリンター本体から取り外して運搬してください。プリンター本体にしっかり固定されていない場合、落下によるケガの原因になります。移動する場合の取り外し、取り付けは、オプション品に付属の説明書を参照してください。なお、これらのオプション品は、重量物であるため、持ち運びは重量物運搬取り扱い業者に、必ず依頼してください。

操作手順

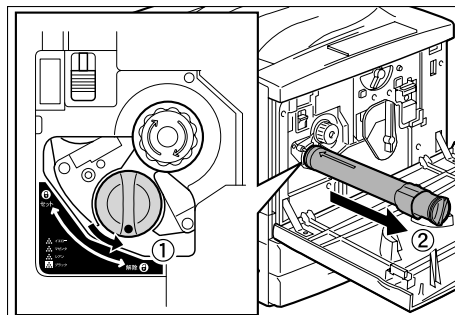
1 **プリンター本体左側面にある電源スイッチの「O」側を押して電源を切ります。**

2 電源コード、およびインターフェイスケーブルなど、すべての接続コードを外します。

> ⚠警告
> **電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。**
> ⚠注意
> **電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。**

3 サイドトレイを右に押しながら、左側の突起部をプリンター本体の穴から外します (①)。そのあと、右側の突起部をプリンター本体の穴から外します (②)。

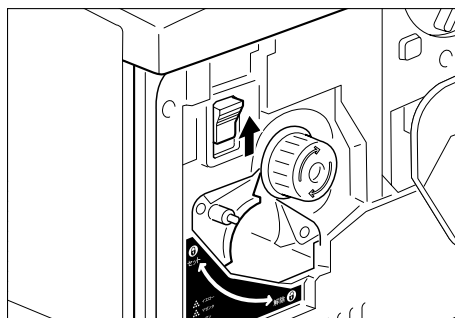
注記

(①) の操作をするときに、サイドトレイを曲げすぎないようにしてください。破損の原因になります。

4 フロントカバーを開け、トナーの取り出し口にあるトナーカートリッジを図の矢印の方向に回し、カートリッジ側の「●」印をプリンター側の「解除」( ) に合わせてから (①)、手前に引いて取り出します (②)。

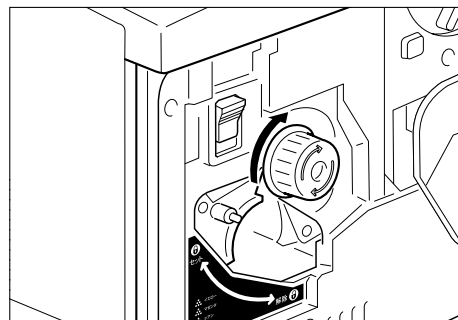
注記

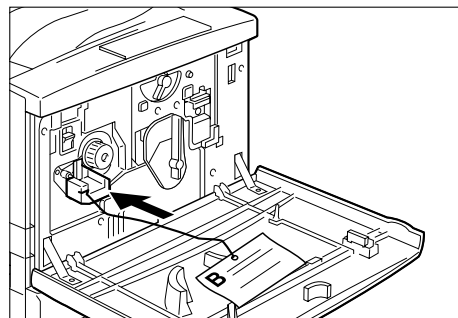
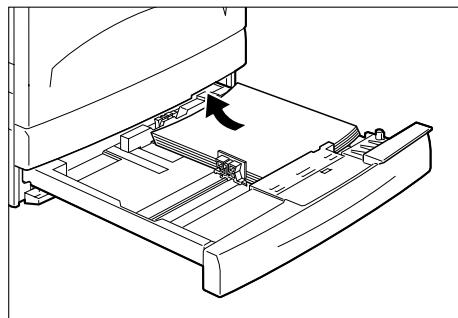
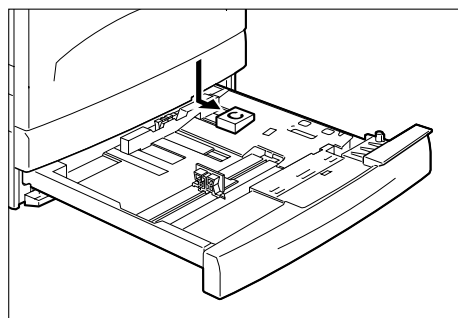
トナーカートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンター内部が汚れることがあります。

5 回転防止スイッチを「カチッ」と音がするまで上に押し上げ、手を離します。

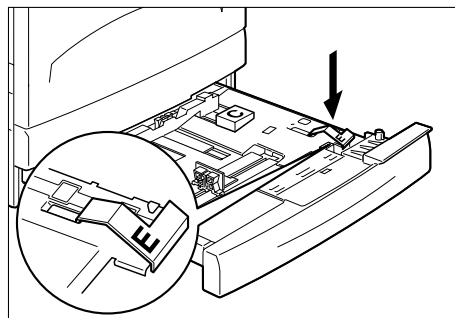
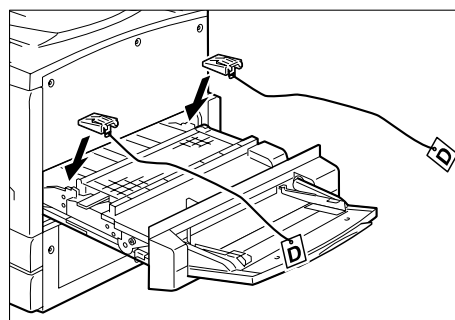
注記

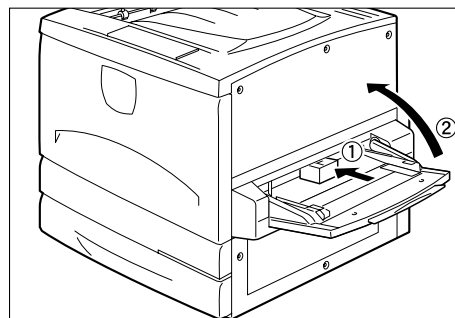
回転防止スイッチを押し上げたら、手を離してください。回転防止スイッチは、次の手順でノブを回すと自動的に下がるしくみになっています。

6 **ノブを矢印の方向に止まるまで回し、次のカートリッジを取り出し口に移動させます。そのあと、トナーカートリッジを取り出します。**

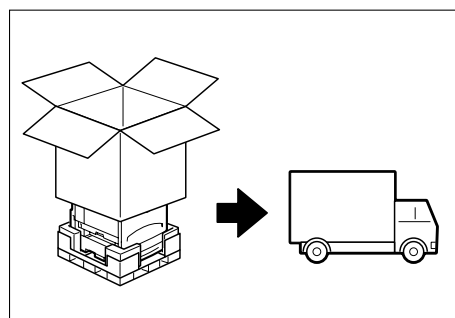
補足

ノブを回すと、「カチッ」と音がして回転防止スイッチが下がります。

7 **手順 5 ～ 6 の操作を繰り返し、トナーカートリッジを 4 本とも取り外します。**

8 **回転防止用スペーサー (B) をトナーの取り出し口に取り付け、フロントカバーを閉じます。**

9 **用紙トレイから用紙を取り出し、湿気やホコリのない場所に保管します。**

10 **図の位置にスペーサー (C) を取り付けます。**

11 **図の位置にスペーサー (E) を取り付けます。そのあと、用紙トレイをプリンターの奥までしっかり押し込みます。**

注記
用紙トレイを、無理な力で勢いよく押し込みすぎないようにしてください。

12 **ユニット C を止まるまでゆっくり引き出し、図の位置にスペーサー (D) を取り付けます。そのあと、ユニット C をプリンターの奥までしっかり押し込みます。**

13 **図の位置にスペーサー (F) を取り付け (①)、手差しトレイを折りたたみます (②)。**

移動のためのお客様の作業は、これで終了です。

14 **プリンターを傷つけないように梱包し、運搬してください。**

注記
このプリンターは重量物であるため、プリンターの持ち運びは、重量物運搬取り扱い業者に、必ず依頼してください。

6.6.3 プリンターの設置場所についての注意

移動先の設置場所は、プリンターを安全かつ快適にご利用いただくために、次の点に注意して決めてください。

次のような場所に設置してください

- **水平で安定した場所**
- **風とおしのよい場所**
- **温度 10 〜 32 ℃、湿度 15 〜 85%(結露がないこと)**
  温度が 32 ℃のときは湿度 65% 以下、湿度が 85% のときは温度 28 ℃以下でお使いください。

補足
冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めたり、温度や湿度の低いところから高いところにプリンターを移動したりすると、プリンター内部に水滴が付着し (結露)、印字品質が低下することがあります。結露が生じた場合には、1 時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。

電源コンセントは本システム専用にお使いください

電源コンセントは本システム専用にしてください。複写機やエアコンなど消費電力の大きな機器や電気的ノイズを発生する機器と同じコンセントから電源を取ると、電圧降下によるコンピューターの誤作動、データ消失のおそれがあります。

⚠警告
電源プラグは、定格電圧 100V で、定格電流 15A 以上のコンセントに差し込んでください。なお、本機の定格電源は、プリンターが 100V，11A、プロセッサーが 100V，2A、そしてディスプレイが 100V，1.5A となっております。

プリンター、プロセッサー、ディスプレイを同時にテーブルタップでご使用になれます。その場合、それぞれの電源プラグは、定格が 125V,15A で最大 1,500W までのテーブルタップに差し込んでください。また、テーブルタップには、プリンター、プロセッサーおよびディスプレイ以外の機器を接続しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

次のような場所への設置は避けてください

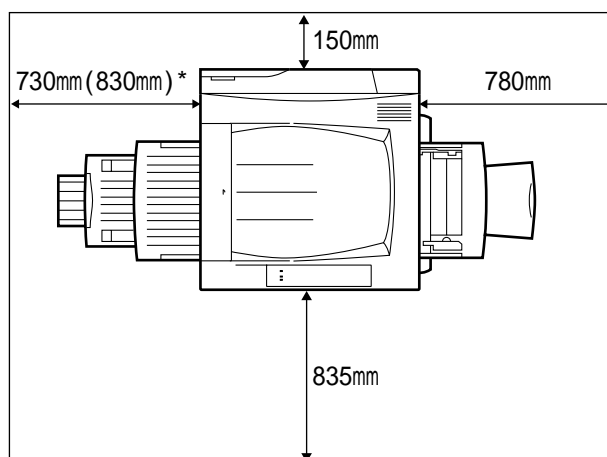
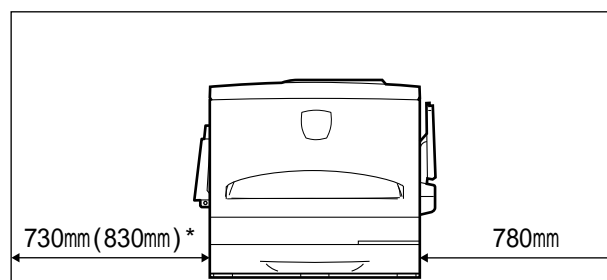
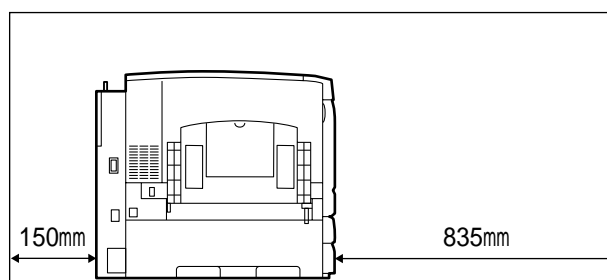
- 直射日光の当たる場所
- 冷暖房器具に近い場所
- 風が直接当たる場所
- 振動のある場所
- ホコリやチリの多い場所
- 火気に近い場所
- 水気のある場所
- 磁力の影響がある場所
- 温度 / 湿度の変化が激しい場所

超音波加湿器をご使用になる場合は

超音波加湿器に水道水や井戸水を使用すると、水中の不純物が大気中に放出され、プリンターの内部に付着して印刷画質低下の原因になります。超音波加湿器をご使用になる場合は、不純物を含まない水を使用してください。

下図の設置スペースを確保してください

> ⚠注意
> **プリンターの側面および背面には通気口があります。プリンターは壁から150㎜以上離して設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、プリンターの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンターを正しく使用し、プリンターの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。**

■上面図

■正面図

■側面図

*（ ）内は、オプションの両面印刷モジュールを取り付けた場合です。

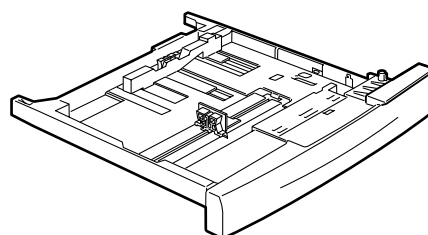
付　録

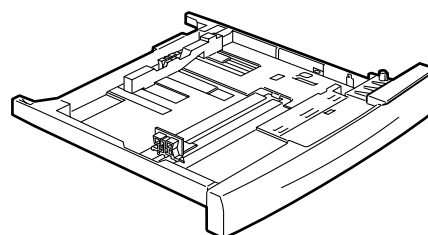
A　オプション品と消耗品の紹介

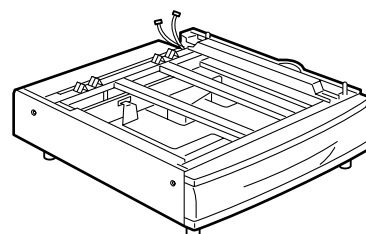
本プリンターでは、以下のようなオプション品と消耗品を用意しています。商品のご注文は、本プリンターを購入した販売店にご連絡ください。

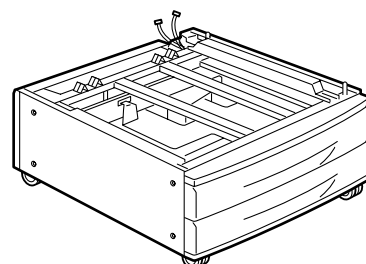
A.1　オプション品

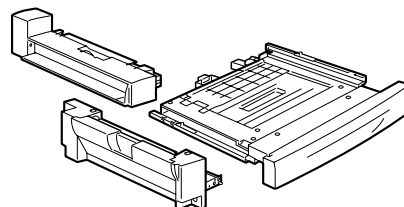
250 枚ユニバーサルトレイ

プリンターに標準で付いている 250 枚ユニバーサルトレイと同じものです。用紙トレイだけで、購入できます。
標準の用紙トレイと交換する方法については、「3.3 トレイ 1 の取り外し / 取り付け」を参照してください。

特 A3 トレイ

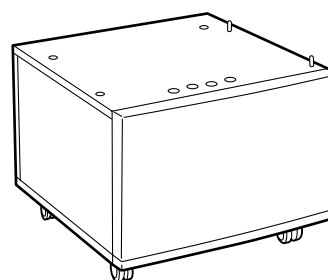
プリンターに標準のトレイ1と入れ替えて利用できます。このトレイには、12 × 18" から特 A3 サイズ (328 × 435㎜) の用紙を最大 250 枚までセットできます。
標準の用紙トレイと交換する方法については、「3.3 トレイ 1 の取り外し / 取り付け」を参照してください。

トレイモジュール (1 段)

1 段のオプショントレイです。トレイには、用紙 (標準紙の場合) を 500 枚セットできます。プリンター本体に取り付けて、トレイ 2 として利用できます。
取り付け方については、オプション品に付属の説明書を参照してください。

トレイモジュール (2 段)

用紙トレイが2段組みになったオプショントレイです。それぞれのトレイに用紙 (標準紙の場合) を 500 枚ずつ、最大 1,000 枚までセットできます。プリンター本体に取り付けて、トレイ 2、トレイ 3 として利用できます。
取り付け方については、オプション品に付属の説明書を参照してください。

両面印刷モジュール

両面印刷モジュールを取り付けると、複数ページの文書を用紙の両面に印刷できます。取り付け方については、オプション品に付属の説明書を参照してください。

専用キャビネット

プリンター本体をキャビネットの上に置いて使用できます。取り付け方については、オプション品に付属の説明書を参照してください。

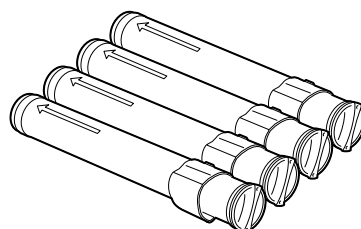
注記
オプションのトレイモジュール (1段)/(2段) を取り付けている場合、キャビネットの上に置くことはできません。

転倒防止キット

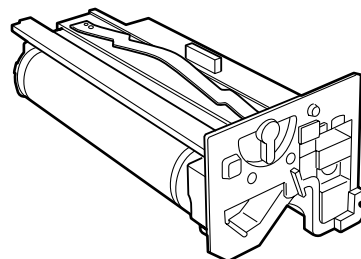
転倒を防止するために、プリンターに取り付けることができます。

付録

A.2　消耗品

トナーカートリッジ

ブラック、イエロー、シアン、マゼンタの4種類があります。取り付け方については、「6.1.2 トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

ドラムカートリッジ

ドラムカートリッジは、感光体、ドラムクリーナー、トナー回収カートリッジで構成されています。
取り付け方については、「6.2.2 ドラムカートリッジを交換する」を参照してください。

トナー回収カートリッジ

トナー回収カートリッジは、ドラムカートリッジに付属しているので、ドラムカートリッジを交換すれば必ず新品と交換されますが、単体でも交換できます。
取り付け方については、「6.3.2 トナー回収カートリッジを交換する」を参照してください。

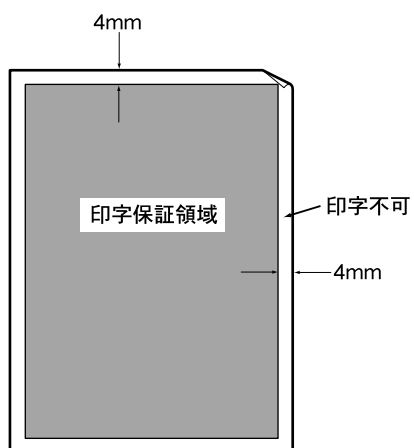
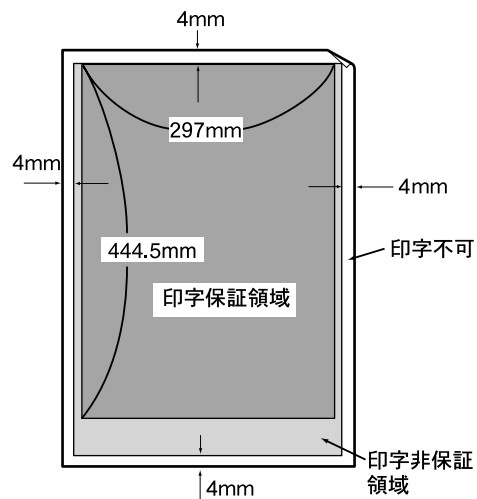
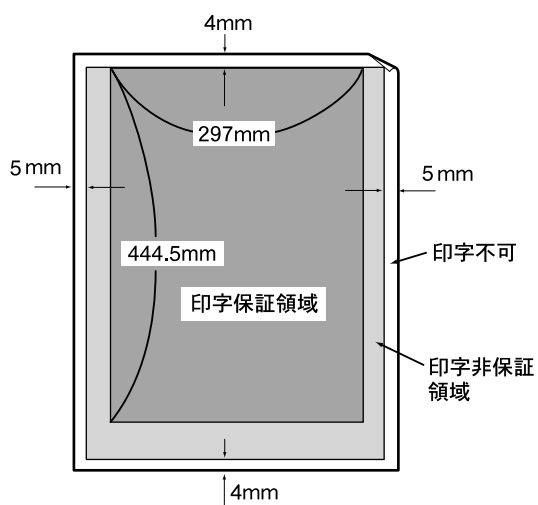
B 主な仕様

プリンターの仕様

項目		仕様
形式		デスクトップタイプ
プリント方式		レーザーゼログラフィ方式
解像度		23.6 ドット /㎜（600dpi）
ウォームアップタイム		電源投入後、330 秒以内（温度 22 ℃、湿度 55%）
プリント速度 (*1)	カラー	8 枚 / 分 (A4 ﾖｺで、同一原稿を連続印刷した場合)
	モノクロ	35 枚 / 分 (A4 ﾖｺで、同一原稿を連続印刷した場合)
用紙サイズ		A5、B5、A4、B4、A3、8.5 × 11"(レター)、8.5 × 13" 8.5 × 14"(リーガル)、11 × 17"、12 × 18"、 SRA3、13 × 18"、328 × 453㎜、はがき、往復はがき、4 連はがき、 カスタムサイズ (幅 :90 〜 330.2㎜、長さ :139.7 〜 457.2㎜)
給紙方式		自動給紙方式および手差し給紙方式
給紙容量 (標準紙)	給紙トレイ	標準：(トレイ 1）250 枚 オプション： 特 A3 トレイ (トレイ 1）250 枚、 トレイモジュール (2 段)(トレイ 2、3）500 枚× 2、 トレイモジュール (1 段)(トレイ 2）500 枚
	手差しトレイ	150 枚
排紙方式	センタートレイ	フェイスダウン方式
	サイドトレイ	フェイスアップ方式
排紙容量	センタートレイ	250 枚 (B5 以上、普通紙、ラベル紙、質量 98g/㎡ 以下)
	サイドトレイ	150 枚 (A4 以下)、50 枚 (A4 を超える場合)
稼動音		稼動時：6.8B 以下、待機時：5.0B 以下
使用電源		100V ± 10%(90 〜 110V)、50 ± 3Hz/60 ± 3Hz
消費電力		最大：1,050W 以下、低電力モード (節電モード 2) 時：21W 以下
環境条件		温度：10 〜 32 ℃（画質保証領域） 湿度：15 〜 85%（ただし結露のないこと）
機械の大きさ / 質量 (用紙、オプションを除く)		大きさ：650(W)(*) × 647(D) × 556(H)㎜ 質量：69.6kg (*) 手差しトレイ、サイドトレイを折りたたんだ状態

(*1) A4 ヨコ同一原稿連続プリント時。画質調整ならびに、用紙の種類およびプリント条件によって印字速度が低下する場合があります。

印字保証領域

A3 以下の用紙の場合

12 × 18" と 328 × 453㎜ の用紙の場合

12 × 18" よりも大きい用紙の場合

- 「印字保証領域」とは、本プリンターとして品質保証している印字領域です。
- 「印字不可」とは、印字できない領域です。
- 「印字非保証領域」とは、印字はできるが、忠実に色を再現するところまでは保証していない領域です。

消耗品の寿命

消耗品の寿命（印字可能ページ数）

消耗品名	印刷可能ページ数 (*)
ブラックトナーカートリッジ	約 5,500 ページ
イエロートナーカートリッジ	約 6,000 ページ
マゼンタトナーカートリッジ	約 6,000 ページ
シアントナーカートリッジ	約 6,000 ページ
ドラムカートリッジ （トナー回収カートリッジを含む）	約 13,500 ページ

(*) A4 ヨコサイズ、普通紙で 5% 印字比率連続印刷時。なお、実際の交換サイクルは、印刷条件や原稿の内容によって異なります。
また、本体の電源の入 / 切に伴う初期化動作やプリント品質維持のための調整動作等により枚数は異なります。
あくまでも目安としてお考えください。

D 注意 / 制限事項

本プリンターを使用して印刷するうえでの、注意 / 制限事項について説明します。

項目	説明
低温で長時間 (一昼夜など) おかれたあとで印刷すると、出力した数枚にしみのようなものが発生する	電源を入れ、15 分ほど待って機械が十分温まってから印刷してください。 または、開封直後の新しい用紙に印刷してください。
うら面 (両面印刷時) の塗りつぶし部分がもやもやした状態になる	使用している用紙によって、低温環境で印刷した場合、このような症状が発生することがあります。 J 紙を使用してください。
ハーフトーンの中に同系色の濃い色があると、その色の周りが正しく印刷されない	プリンタードライバーなどで原稿タイプをグラフに設定すると、正しく印刷される場合があります。
文字などの一部に濃度の薄い部分がでることがある	J 紙などの上質な用紙を使用すると、目立たなくなることがあります。
特 A3 サイズの用紙に印刷した場合、用紙の端が汚れる	印字保証領域外に多くの印字を行うと、用紙の端が汚れたようになることがあります。
用紙の先端まで高密度の画像を印刷しようとすると、紙づまりが発生する	用紙の先端に、確実に 4㎜ 以上の余白ができるように、余白を調整してください。
トナーカートリッジの交換を促すメッセージが表示されたあと、すぐに機械が停止する	トナーカートリッジの交換を促すメッセージが表示されたら、早めに新しいカートリッジを用意し、交換してください。画像密度が高い文書を印刷するなど、使用条件によっては、このメッセージが表示されたあと、数枚から数十枚出力したところで機械が停止します。
画像密度が高い白黒印字が続いた場合、印刷終了後も機械がしばらく動作する	トナーの量を調整しています。 故障ではありません。しばらくお待ちください。
新しいトナーカートリッジに交換後、しばらく機械が動作して印字できない	
プリントできる状態のときに、約 1 分に 1 回、短い小さな動作音がする	フューザーが回転している音です。故障ではありません。
1 日に 1000 枚以上印刷すると、急に印字濃度が下がる	1000 枚以上の印刷は、機械の仕様外です。1 日に印刷する枚数は、最大 1,000 枚にしてください。

索　引

記号・英数

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

マニュアルコメント用紙

本書をより使いやすいものとするために、皆様からの貴重なご意見（説明不足、間違い、誤字、誤植、ご要望など）をお待ちいたしております。ご記入に際しましては、マニュアルに関することのみ具体的にご指摘くださるようお願いいたします。

マニュアルの名称	DocuPrint CG835　取扱説明書 (プリンター編)	管理 No	DE3065J1-1
ご芳名		貴社名	
所属部門		電話番号	[内線]
所在地			

ページ	行	内容へのご指摘／ご要望

富士ゼロックス記入欄		
記事	受付 No.	受付担当印

1 版

[切り取り線]

[折り込み線]

富士ゼロックス（株）社内メール扱い

［送付先］
HID 開発部
マニュアルデザイン グループ（KSP）行

担当社員

事業部　営業所　課　係

氏名

[折り込み線]

[切り取り線]

- ご記入くださいましたら点線の部分で折り込みホチキスなどでとめたうえ、お買い求めの販売店にお渡しください。
- このままで郵便物として投函なさらないようにご注意ください。

DocuPrint CG835 取扱説明書（プリンター編）

著作者 ― 富士ゼロックス株式会社
発行者 ― 富士ゼロックス株式会社
ドキュメント プロダクト カンパニー
ヒューマンインターフェイスデザイン開発部

発行年月―2002 年 11 月 第 1 版 第 1 刷

(帳票 No:DE3065J1-1)
Printed in China

●この商品の**保守（修理）、操作**のお問い合わせ、および**消耗品**のご購入については、
商品に貼られている**保守サポートの問い合わせ先シール**のあて先にお問い合わせください。

商品に問い合わせ先シールが貼られていない場合は、富士ゼロックスプリンティングシステムズプリンターサポートデスクにお問い合わせください。(各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウェアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。)

フリーダイヤル　フジゼロックス
0120-66-2209　FAX : 03-3342-1552

フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、祝日を除く 9 時〜 12 時、13 時〜 17 時 30 分、東京でお受けします。
ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご使用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。
表記の窓口は日本国内のお客様に限らせていただきます。

●富士ゼロックス、および富士ゼロックスプリンティングシステムズに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターにご連絡ください。

フリーダイヤル
0120-27-4100 フリーダイヤル受付時間：土曜、日曜、祝日を除く 9 時〜 12 時、13 時〜 17 時、東京でお受けします。ただし、通話地域制限がある内線電話機、および携帯電話機からはご利用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。

●インターネットホームページで富士ゼロックスプリンティングシステムズの商品全般に関する情報、最新ソフトウェア等を提供しています。

http://www.fxpsc.co.jp

この取扱説明書は、リサイクルに配慮して製本されています。不要となった際には回収、リサイクルに出しましょう。
この説明書は再生紙を使用しております。

2002 年　11月　1 版　　部番： 80P8167　　帳票番号：DE3065J1-1